大正六年九月十四日　第三種郵便物認可・昭和八年三月二十五日　印刷納本・昭和八年四月一日發行　（毎月一回一日發行）

建築と社會

住宅號

第十六輯
第四號

日本建築協會

昭和八年
四月一日

OHNO SHUTTER PATENTE

日米特許一二個・實用新案登録四六個併用

大野式防火捲上ケ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式シヤッター

大野式ルーブルシヤッター

大野式工場用軸承

大野式轉子入軸筐

大野式轉子入戸車

大野式廻轉軸抵抗測定機

各種防火扉

日英米佛特許三一個・實用新案五九個併用

特許不二サッシ

受托營業

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田國町二番地・電話三田(45)三七三七 同三七三八

取付出張員駐在所・大阪市北区上福島中二・電話福島(45)五八八

會　　告

創立滿十五年記念事業
西部日本見學擧行

別途詳細御通知致しました通記念事業中見學として先づ西部日本の見學を下記概要により擧行（晴雨不論）致します奮つて御參加あらんことを希ひます

行　程　4月28日（金）午後5時30分大阪驛集合（同6時半出發）
同　29日（天長節）八幡製鐵所、東洋陶器株式會社見學
同　30日（日）別府温泉地帶見學
5月　1日（月）午前8時5分汽船にて大阪歸着

會　費　金20圓

申込締切　4月16日（日）

昭和八年度春季大會擧行

是亦別途詳細御通知致しました通春季大會を下記概要により擧行（晴雨不論）致します奮つて御參加あらんことを希ひます

目的地　史蹟名勝古建築に富む吉野山

行　程　4月15日（土）午後1時半大鐵阿倍野橋驛集合（1時55分出發）
同　16日（日）歸途隨意

旅　館　吉野山の中心地にしてナカ及カミの千本を一眸に收め谿をへだてゝ如意輪堂を眺め得らるゝサクラ花壇

會　費　金3圓50錢

申込締切　4月12日（水）

昭和8年4月

社團法人 **日本建築協會**

會　　告

創立滿十五年記念事業第二期計畫に就て

我日本建築協會は創立滿十五年記念事業として昨秋來綠ヶ丘保健住宅博覽會、大美野田園都市住宅博覽會、住み良い家の展覽會、通俗建築大講演會、建築巡回講演會、記念祝賀大會其他見學に出版に大々的各種事業を遂行し何れも幸に多大の御同情を以て好成績を得ました段は本會の最も欣幸とし、多謝する次第であります。

就ては豫て御披露致しました通新春と共に引續き記念事業第二期計畫として下記の通開催の豫定であります冀くは大方各位の熱心なる御賛助と懇切なる御後援に依り最も有意義に有終の美を修めんことを熱望するものであります。

1. 阪和沿線上野芝に於ける住宅博覽會開催
2. 京阪沿線千里山に於ける住宅博覽會開催
3. 建築巡回講演會の開催
4. 東京. 滿洲其の他の見學旅行
5. 圖　書　の　出　版
6. 建築會館建設の企畫

昭和8年4月

社團法人 日本建築協會

日本建築協會
創立滿十五年 記念出版

續住宅圖案集

本書は本會創立滿十五年記念出版の第三次として刊行するものである。

内容は本會が曩きに記念事業として懸賞募集した「阪和上之芝住宅設計當選圖案」と同じく本會募集に係る綠ケ丘・大美野・實際に建つる住宅・阪和上之芝　及　米法に依る小住宅の五圖案中の優秀なる「豪所設計圖」へ加ふるに　阪急が婦人室・子供室を主として募集した「東豐中住宅設計當選圖案」を一冊に盛つたものである。本書編纂に當りては各出版委員が學者的良心を以つて全幅の努力を拂つたもので必ずや大方人士の御期待に副ふものと確く信じ是非一本をお薦めする次第である。

四六倍版　上質印刷紙
裝幀美麗　上製箱入

定價1圓　送料10錢

日本建築協會刊行

大阪・北區・朝日ビル
振替口座大阪 39975

賣捌　丸善本支店
柳々堂書店

日本建築協會
創立滿十五年 記念出版

大阪市地質調査圖表

本會創立滿十五年記念出版の第二次として「大阪市地質調査圖表」を發刊することゝした。
本書は本會常設の災害强度委員會が數年に亘つて苦心調査蒐集した資料を輯錄して一本に纏めたもので、他に同種の刊行物なく洵に斯界に於ける驚異的出版である。この出版に際して本會としては凡ゆる點に於て多大の犧牲を拂つたものであるが、しかも尚上梓したる所以のものは、土木建築關係者が計畫に當り常に必要缺くべからざるものであり、又容易に所要のものを調査し得ると云ふ實に簡便にして、斯界にとり稗益尠からざるものと信じたからである。
世の土木建築に關係ある諸賢へこの權威ある寶典を御薦めする次第である。

四六倍版　上質印刷紙
上製箱入　クロース裝幀
定價3·50圓　送料12錢

日本建築協會刊行
大阪・北區・朝日ビル
振替口座大阪 39975
賣捌 丸善本支店
柳々堂書店

建築と社會

第16輯第4號昭和8年4月發行

住宅號

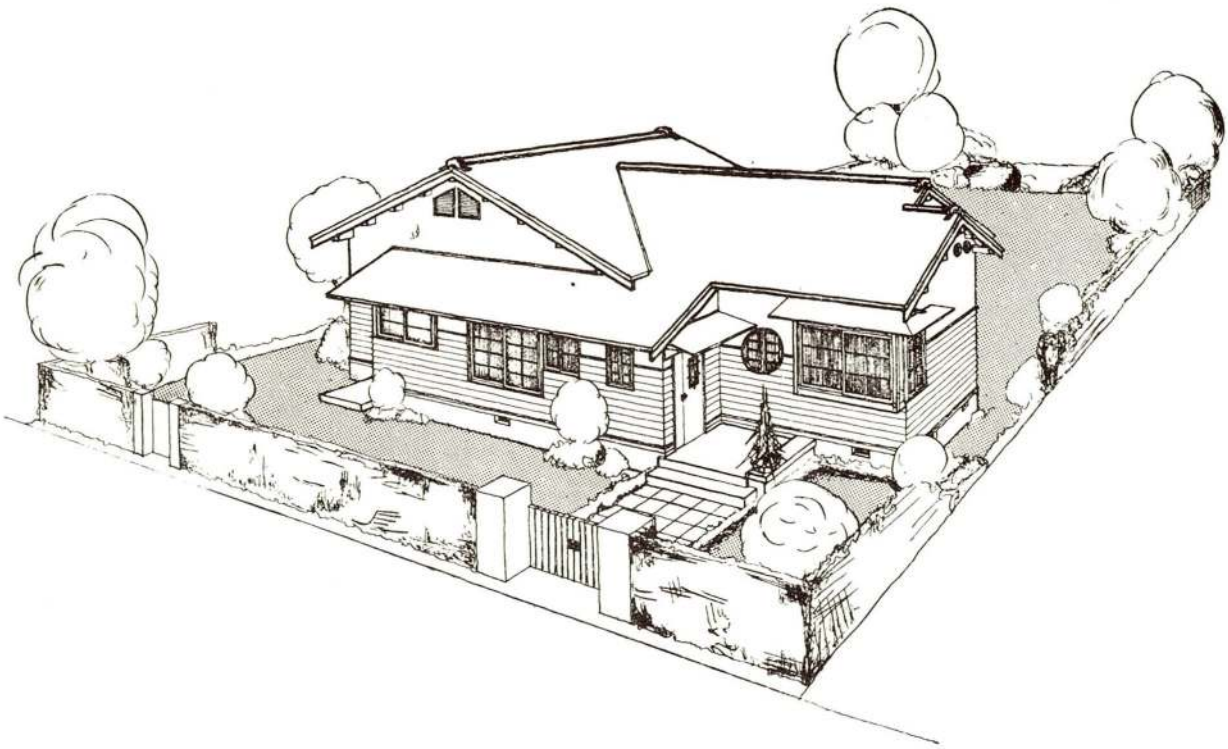
目次

住宅地經營に就て……松本儀八（37）
小住宅對策提唱……清水榮二（43）
住宅經營地の種々相……矢田鐵藏（46）
土地經營者の觀たる住宅……篠原正雄（48）
土地經營に於ける分讓住宅地の一現勢……今井英雄（51）
住宅及土地經營に關する座談會……（63）

小住宅プランの研究……岡田孝男（54）

阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案……（2）
同審査概評……（16）
住宅寫眞集……（17）

國際最新建築……（73）
談話室……（81）
會報……（83）

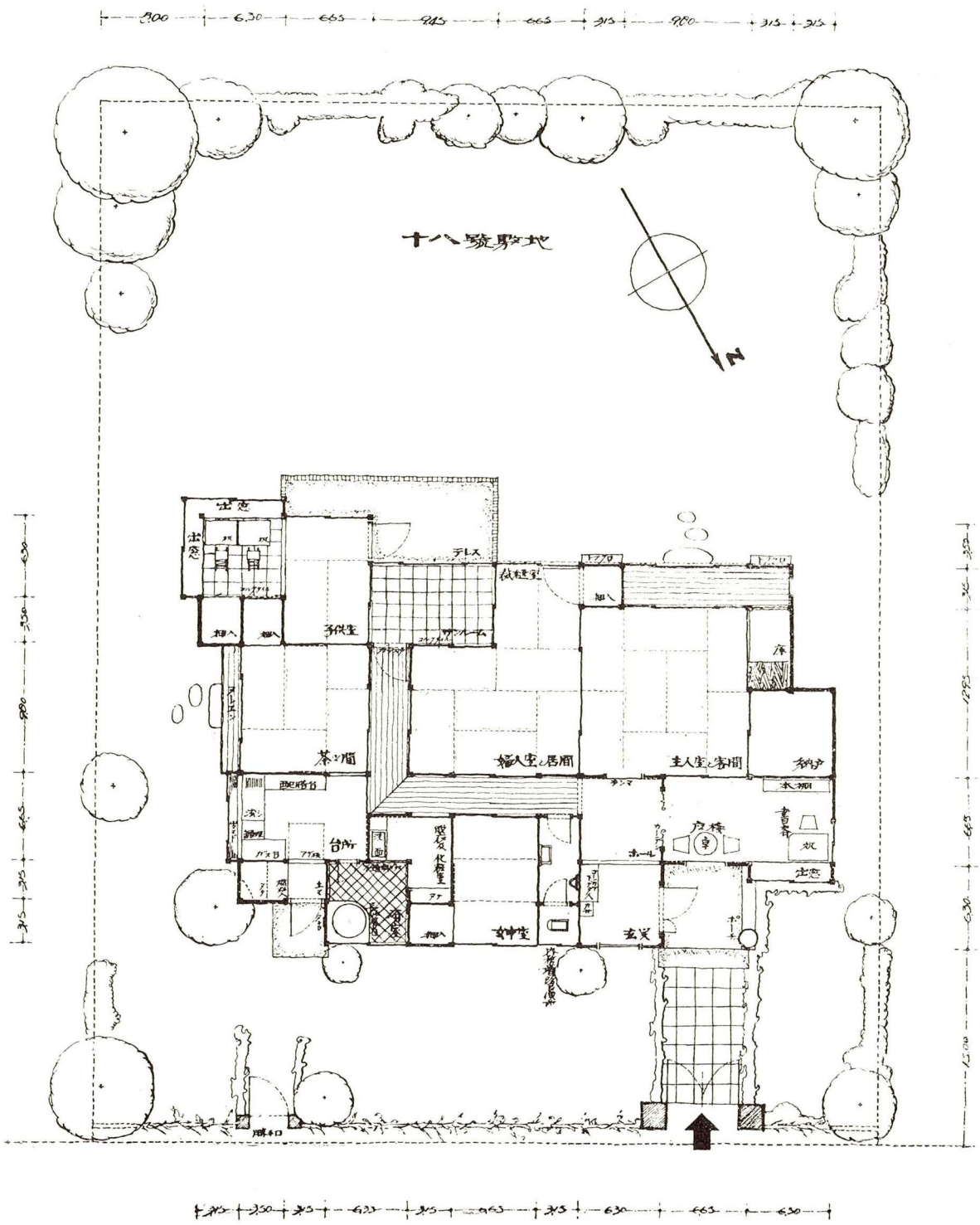


敷　地　指定第18號地 132.50坪
(間口 10K 奥行13.25K)

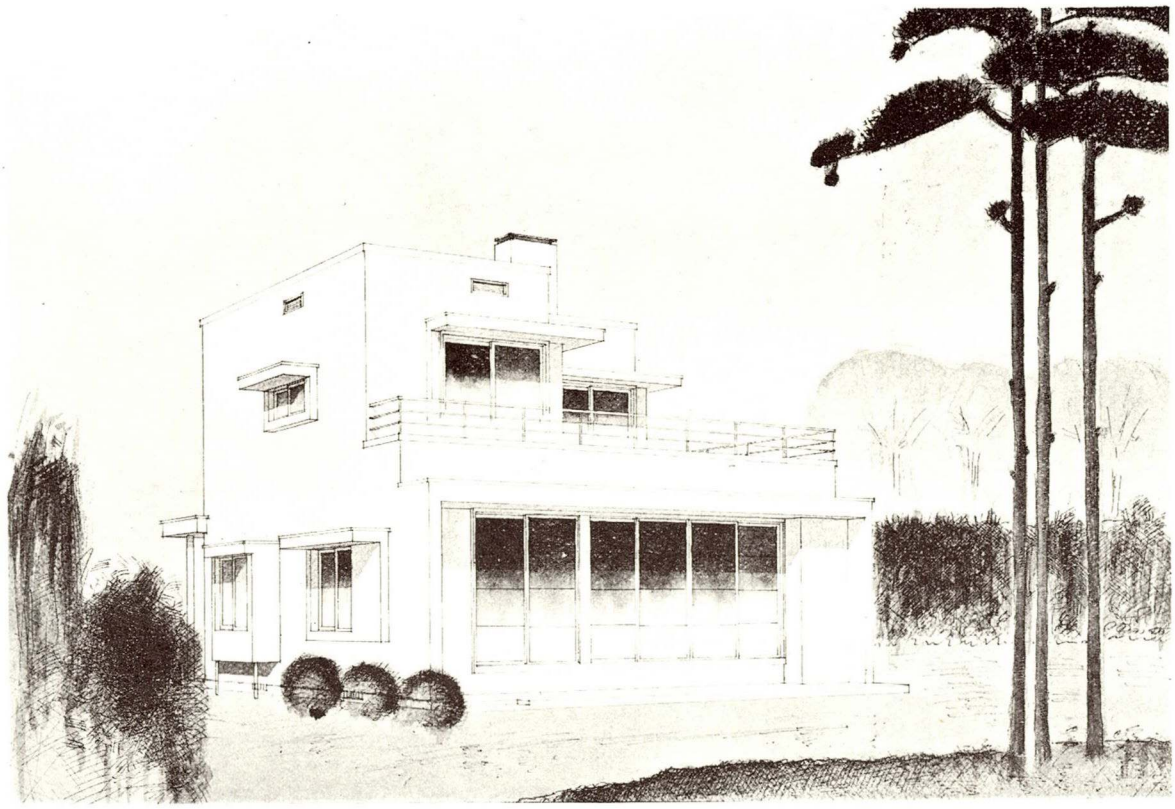
建　坪　約29.75坪（但し疊2帖の大きさを以て約1坪とす）

建築費　2500圓 家族5人

構　造　木造瓦葺洋風平家建、基礎粟石地形を爲し混凝土打土臺ボールト締、外部大壁塗の菱型ラス張り、スタツコ、モルタル塗り内部及各間仕切眞壁塗り床は凡て板張り、大部分疊敷き、サンルーム及子供勉强室コルクタイル張り、土間混凝土叩きを施し、各室竿緣天井を設く



阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案　　1 等　　村瀬鑛一君　　3 IV



敷　地　指定第8號地 75.67坪
建　物　1階 61.0平方米　　2階 35.0平方米
　　延　96.0平方米　（29.04坪）
　　外にポーチ 3.0 平方米敷地に對する比4.1:1疊2枚を以て1坪と見做せば 24.0坪
家　族　夫婦 小供2人程度

構　造　構造別圖の如く柱5吋又は4吋半角四つ割り程度を４本組合せ之に貫及び梁を挿みてボールト締めとし略２米間隔に配置構造の合理化を圖る

外　装　中貫二つ割り程度を胴縁とし分厚のルーフイングを下地に石綿スレートをビス止めとし表面白セメントスプレイ仕上とす、腰タイル貼り、屋根は詳細別圖の如く防水槽施工の上モルタル仕上とす

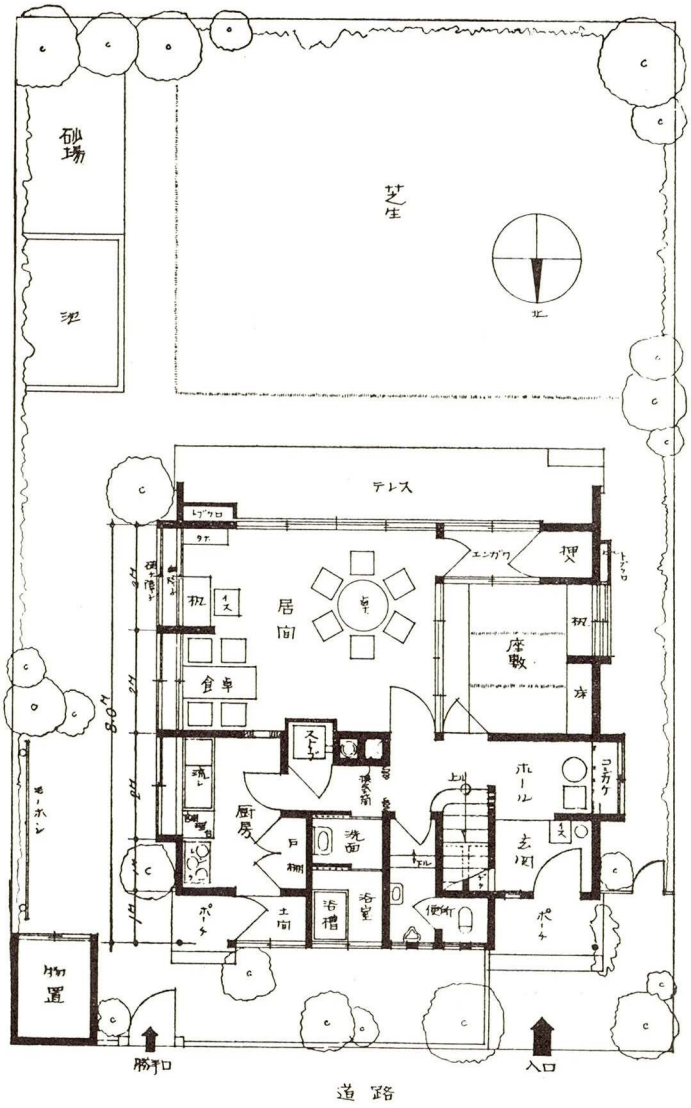
内　部　床、梁兼用の根太上に米松吋板の野床を張り、更に椽甲板を張る、一部はコルキ貼り及疊敷きとす、ポーチ玄關、浴室等はタイル貼り、壁、中貫二つ割程度のものを胴縁にルーフイング貼り、フジテツキス厚 1/2″を眞鍮釘止めとし一部は壁紙及板貼りペンキ仕上とす、天井梁下端に野縁直打ちフジテツキス貼り一部は板貼りとす

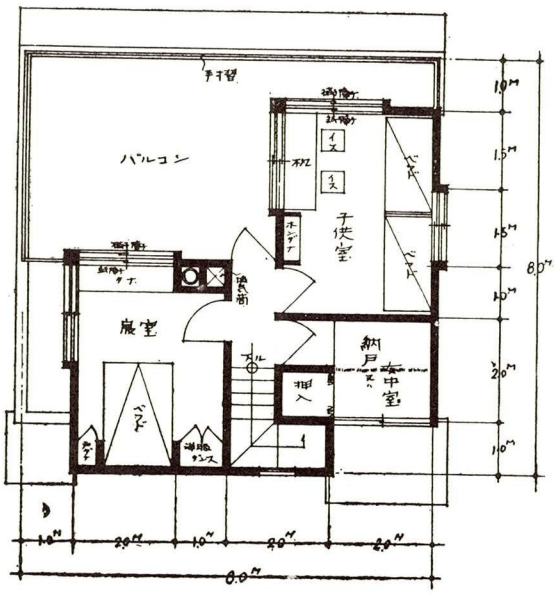
プランに就て　住居の合理化を圖る爲め可なり大きな居間をとり、一隅には食卓を置き食堂を兼ね又一方には現今の生活様式をも考慮して小なる疊敷きを設くホールイングルは簡單なる應接にも使用し得、２階には寢室と子供室とを設けて育成と監督に便ならしむ

設　備　暖房、温水、暖房としてニューラジオボイラーを設置し居間側はレジスターにて蔽ふ直接放熱とす、寢室及小供室等はラジエーターを設く、温湯は浴室及臺所にも供給す

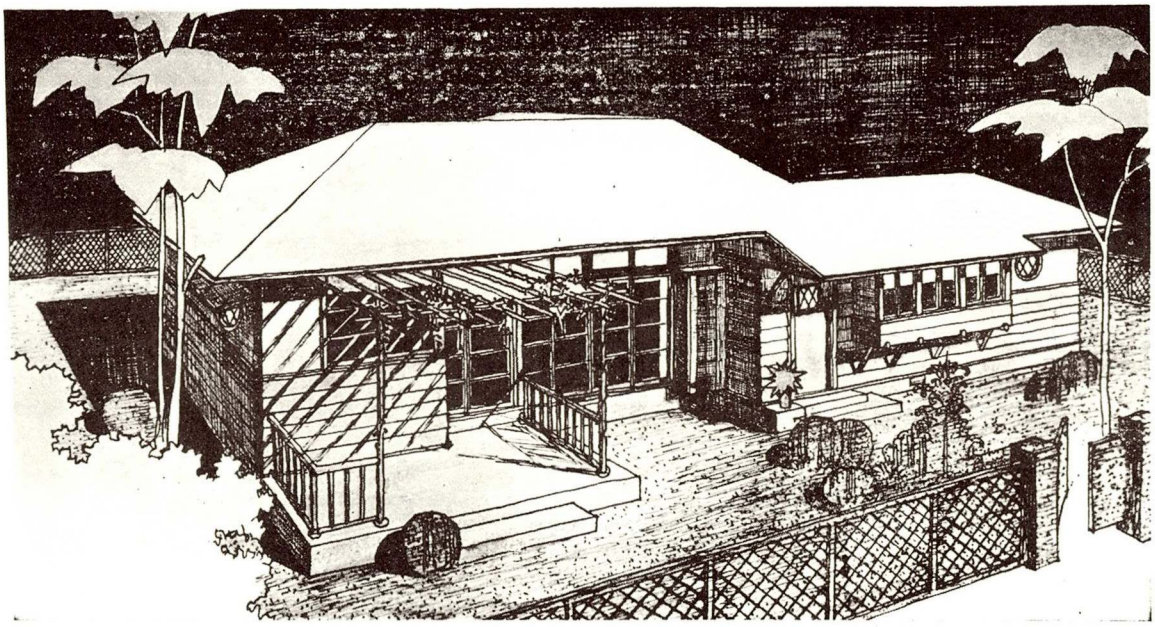
防　濕　床下の砂利層及び接氣孔の設備に依る

防　暑　外壁の特殊構造に依り又屋根裏天井裏に設けたる開閉自在の換氣窓及煙突と併行せる換氣塔を設けて暑氣の緩和を圖る



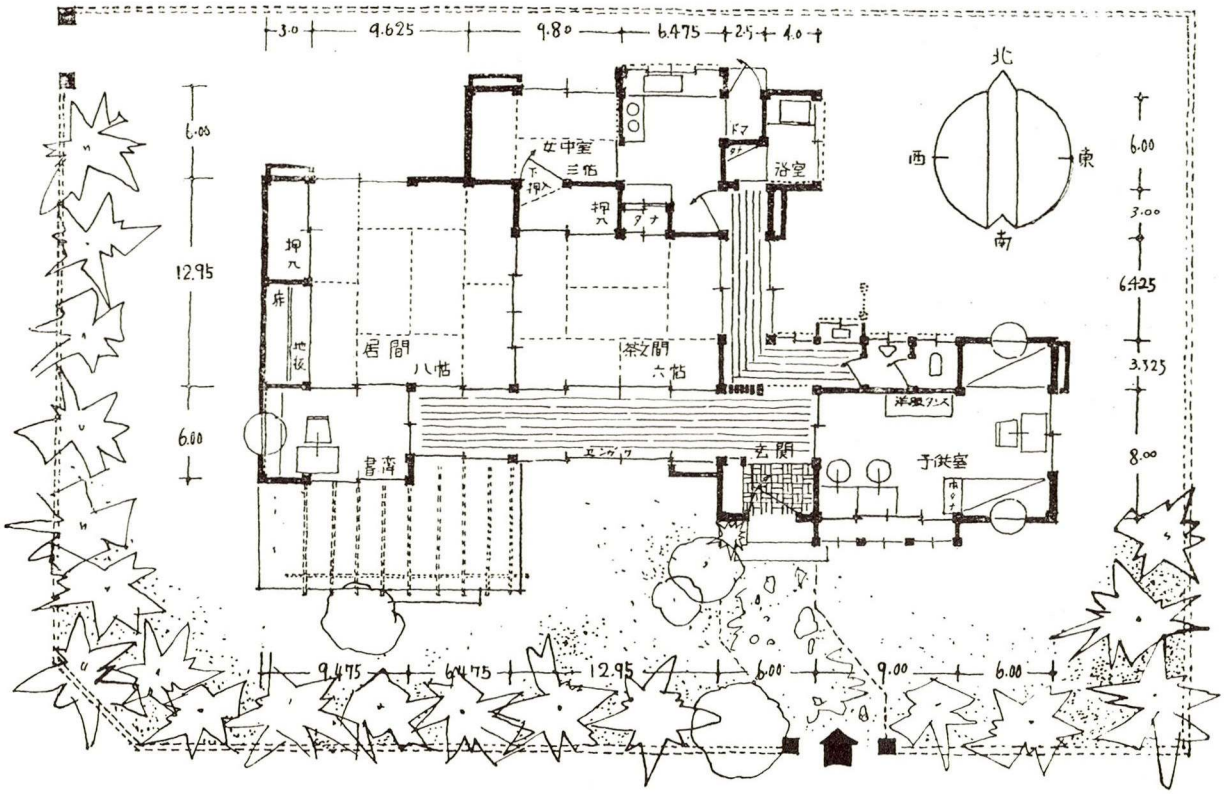


阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案　　2 等　　久保田健祿君　　5 IV



敷　地　指定第6號地 93.72坪
建　坪　23.4坪
建築費　2,340圓

構　造　木造洋風平家建、粟石地形土臺廻りコンクリート打ち和小屋
外　部　鐵網張りの上モルタル塗色漆喰仕上、腰廻り下見板防腐劑塗り
内　部　全部直壁、和室砂壁、竿緣天井廊下、浴室、便所、子供室、書齋等は押へ塗り、仕上木部ラック及ペンキ塗
屋　根　土居葺きの上4寸勾配平安瓦葺
床　　洋室、楢及米松板張り和室疊敷其他タイル床等
浴　槽　巴風呂檜材
便　所　大正式


3.0
9.625
9.80
6.475
2.5
1.0
北
西
東
南
6.00
12.95
6.00
女中室
三帖
下押入
押入
タナ
浴室
ドア
押入
床
地板
居間
八帖
茶の間
六帖
縁ガワ
書斎
玄関
洋風フンイ
予供室
ホール
6.00
3.00
6.425
3.325
8.00
9.475
6.475
12.95
6.00
9.00
6.00

敷地　指定第7號地 96坪
建坪　1階22坪57 2階6坪25
　延28.82坪 但し疊坪とす
家族　夫婦子供2人女中1人
1階軒高 11.5尺2階軒高21尺

屋根　4寸勾配、和風引掛桟瓦庇亜鉛引鐵板葺き

外壁　杉竪板張り、一部横板張り目打ち止め、上部白色セメント、粗面仕上げ

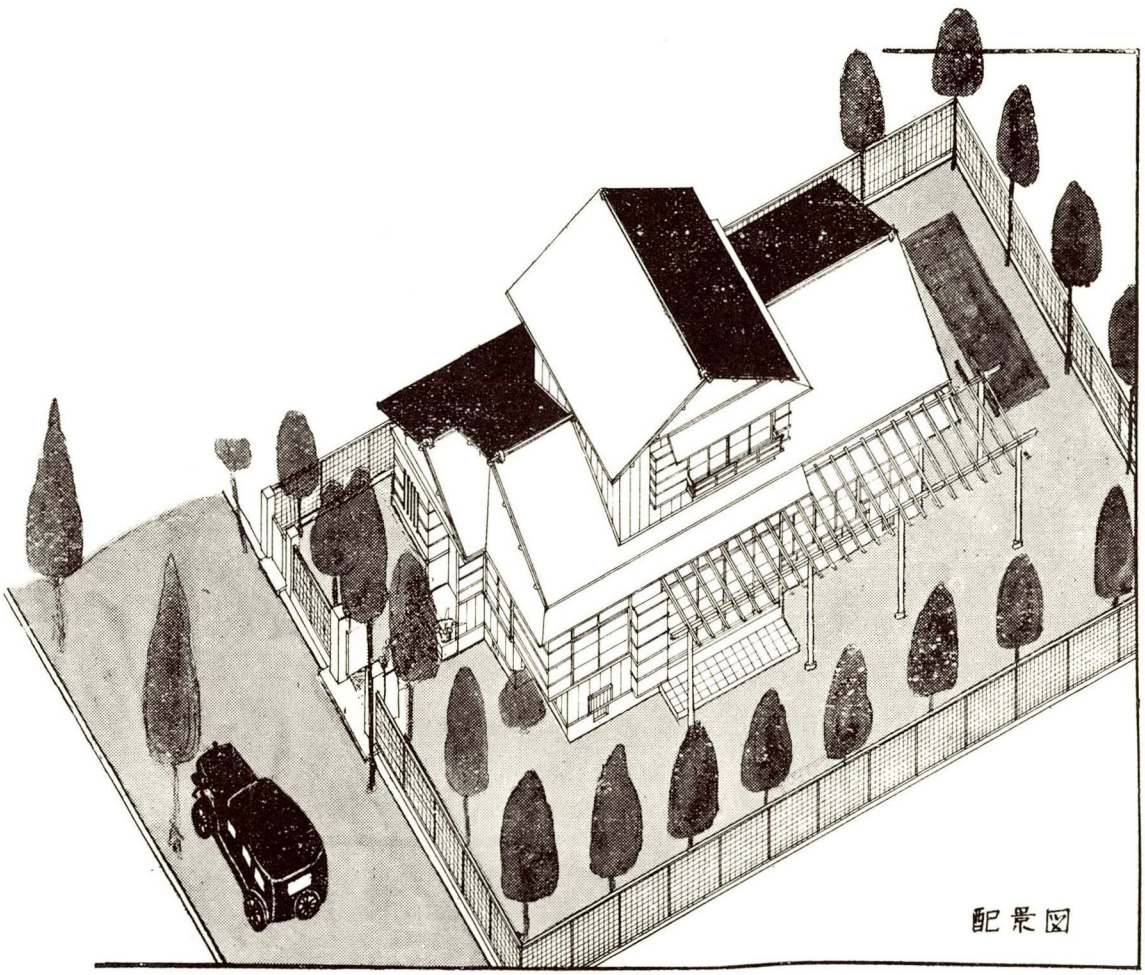
内壁　浴室腰及臺所一部タイル張り、洗面所腰板張り、其他眞壁仕上

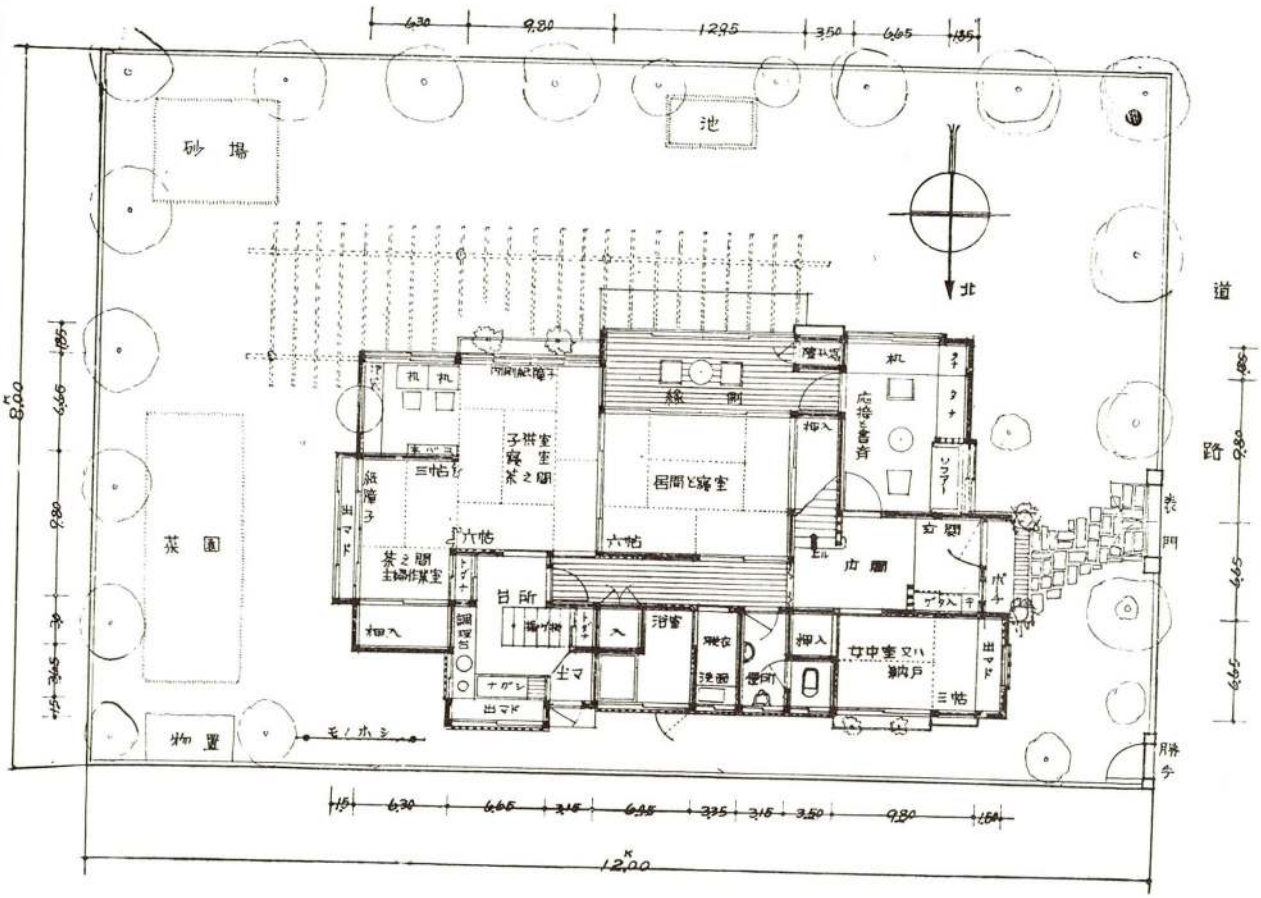
天井　應接室テックス張り、浴室シーリングメタル張り、其の他竿緣天井但し臺所、脫衣洗面所及び便所打上天井板張り

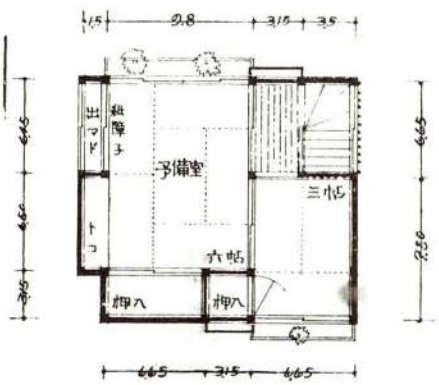
柱　日本栂及杉3寸5分角使用

床　座敷タヽミ敷、浴室タイル張り、土間モルタル、其の他板張り

便所　大正便所







阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案　　3等2席　　金子春夫君　　9 IV

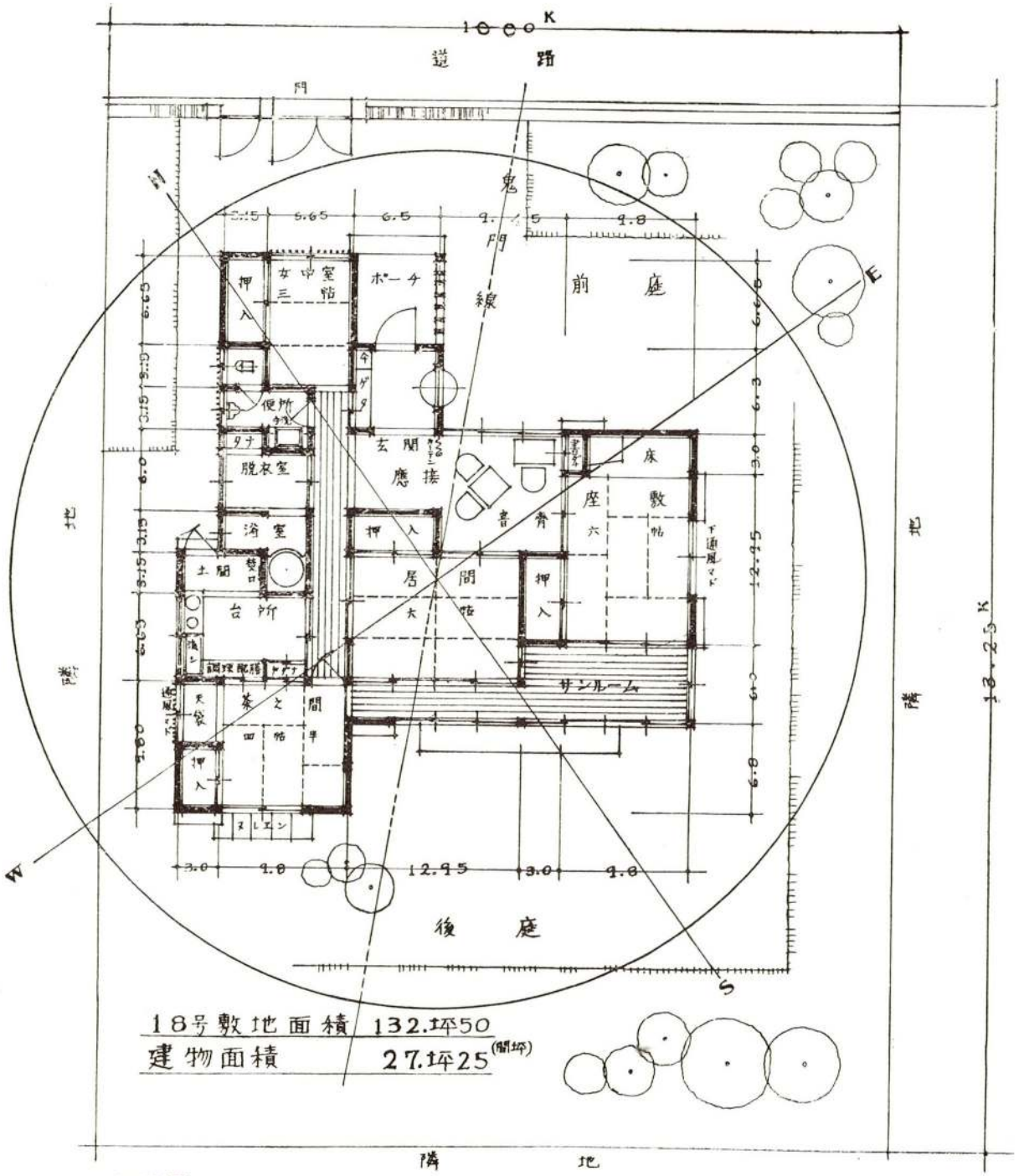


敷　地　指定第18號地 132 50坪
建　坪　27.25坪
家　族　夫婦、小供1人、女中1人

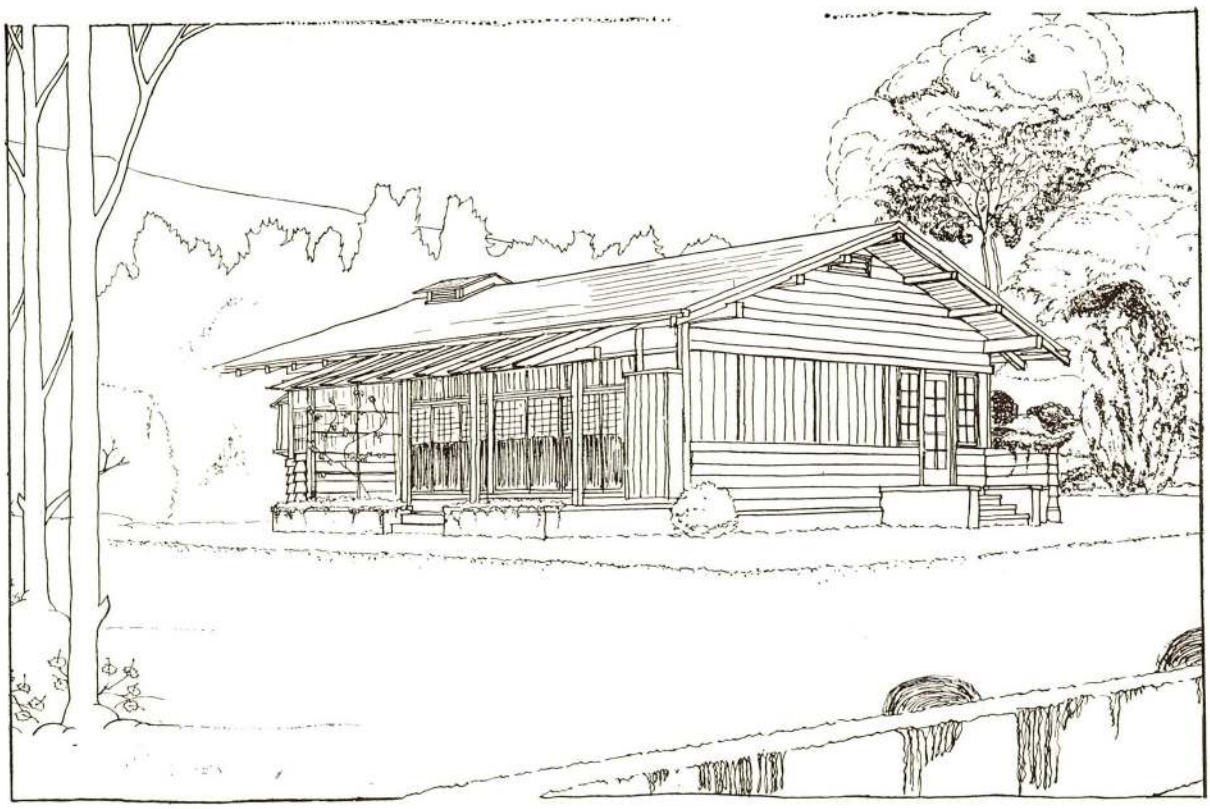
外　觀　基礎コンクリート打上げ、土臺埋込ボールト締め、セメントモルタル仕上げ、外壁上部大壁セメント色モルタル仕上げ、以下縦板張り、木部ペイント塗り、屋根洋瓦葺勾配4寸

內　部　應接(書齋)居間、壁、天井、フジテックス張り、浴室、臺所廻り壁板張り、他は並日本式

其　他　特に玄關の間を仕切る事をやめて書齋を應接に兼用せしめた、茶の間もちよいとよい居間ではありませんか、茶の間と座敷の通風窓とは格子裏に金網を張り夏の涼風を入れ開放して安眠することが出來、壁面の通風を多くする樣特に考慮した


道路
門
鬼門線
前庭
後庭
玄関
応接
居間
座敷
床
押入
女中室
三帖
ポーチ
便所
タナ
脱衣室
浴室
土間
勝口
台所
調理配膳
茶之間
四帖半
天袋
サンルーム
喜青
下通風マド
隣地
隣地
隣地
K
S
E
W
18.25K
18号敷地面積 132.坪50
建物面積 27.坪25(間坪)

平面圖



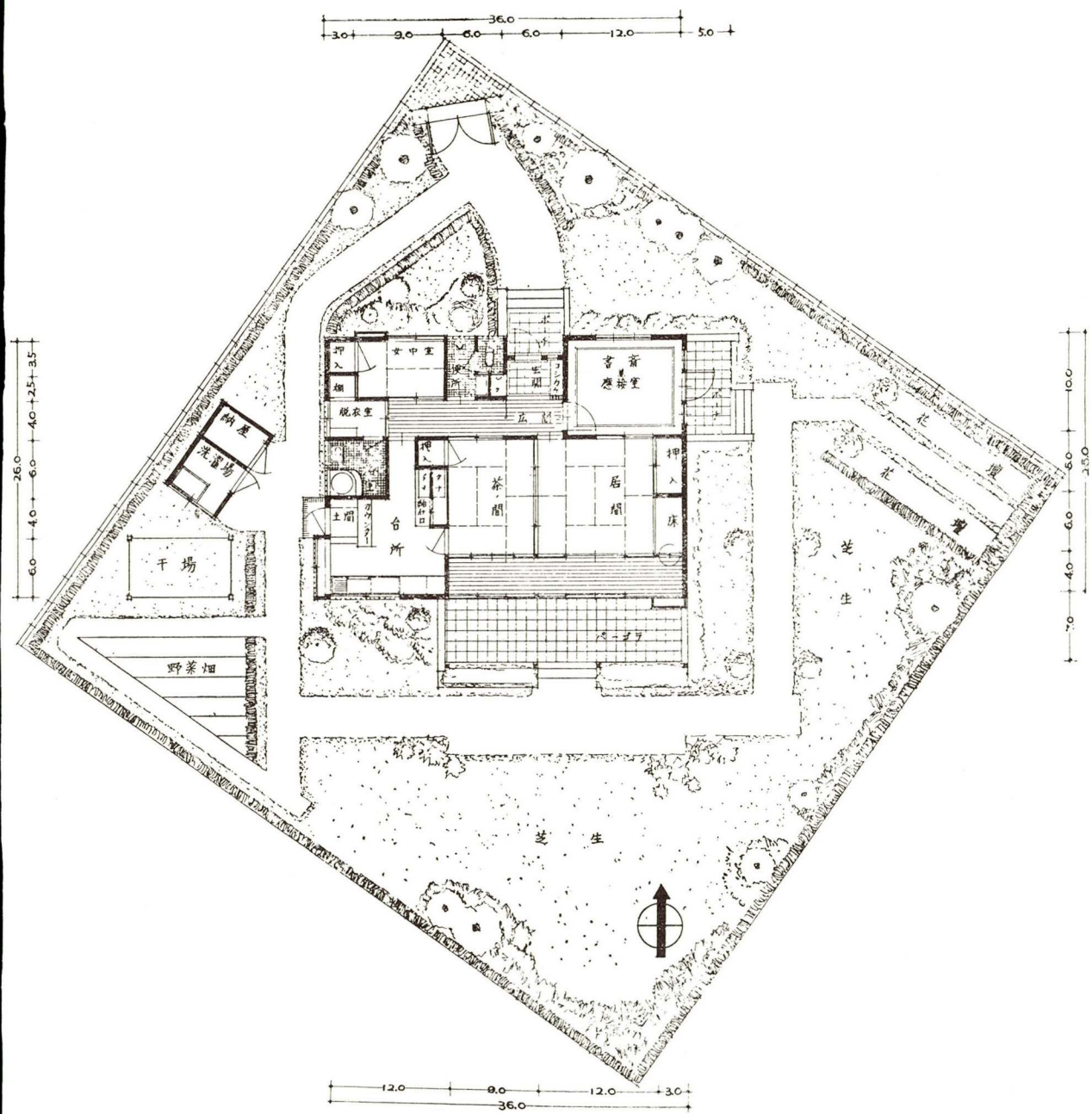
敷　地　指定第14號地 160坪
(112.8 K×12.5 K)
建　坪　26坪
建築費　2,000圓～2.300圓

構　造　木造瓦葺平家建、割栗地形、土臺廻りコンクリート打ち、和小屋造

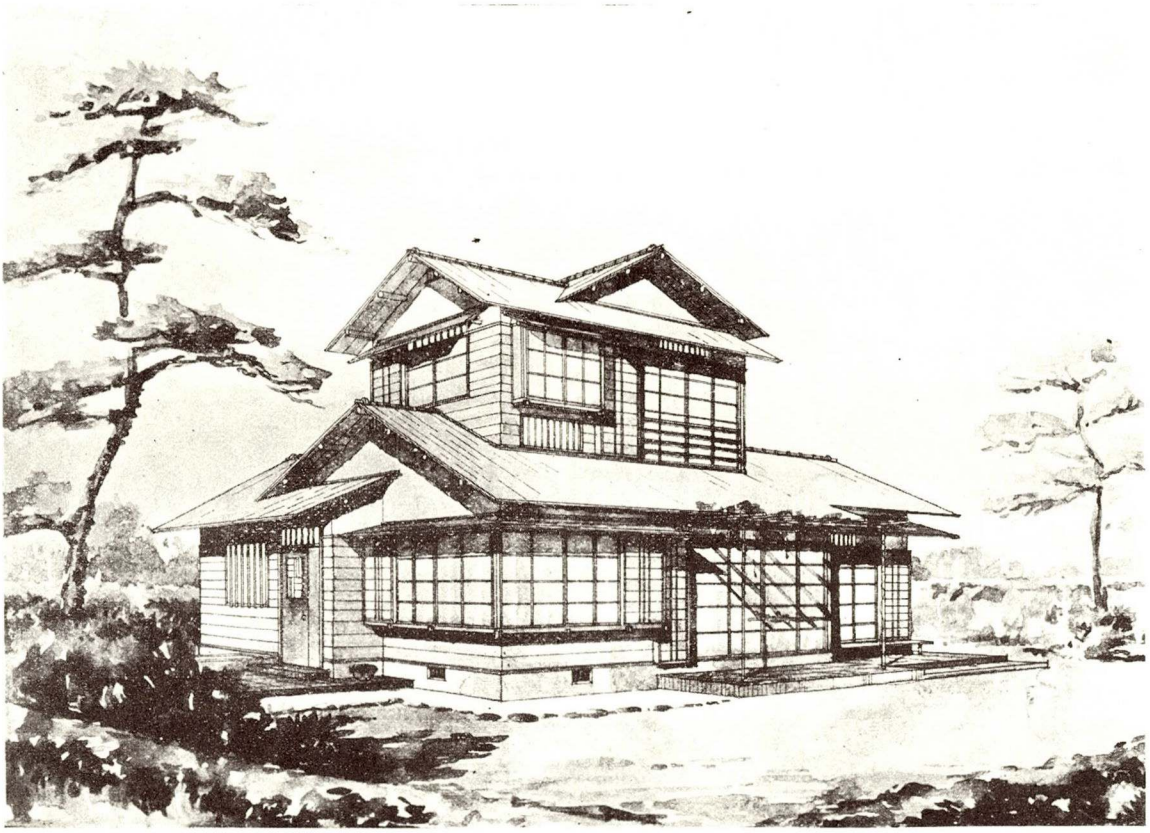
間取りのモチーフ　施工を容易ならしめるため且つは簡素を欣ぶ近代人の意識を迎ふるため矩形の平面を採りて間取りの單純化を計りました
健康的な家庭生活を第一義とし從つて仕事室群に屬する各室面積の無理な節約を避け殊に家政者日常のオフイスであるべき臺所はなるだけ裕かにとりました

様　式　外觀にバンガロー風を加味せる折衷式

外　部　腰及び妻は米松下見板張り、中部は柱表し竪羽目張り、何れも防腐劑塗り粗板使用、布コンクリート、見え掛りは人造石仕上、屋根褐色、フレンチ瓦葺、3.5寸勾配、書齋窓 Whiteo Casement 使用



阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案　　佳作2席　　喜多村義雄君　　13 IV



敷　地　指定第1號地（86.50坪）
建　坪　1階 22.50坪 2階 7.50坪
　　延坪 30坪

構　造　割栗地形、コンクリート打廻し和小屋造り

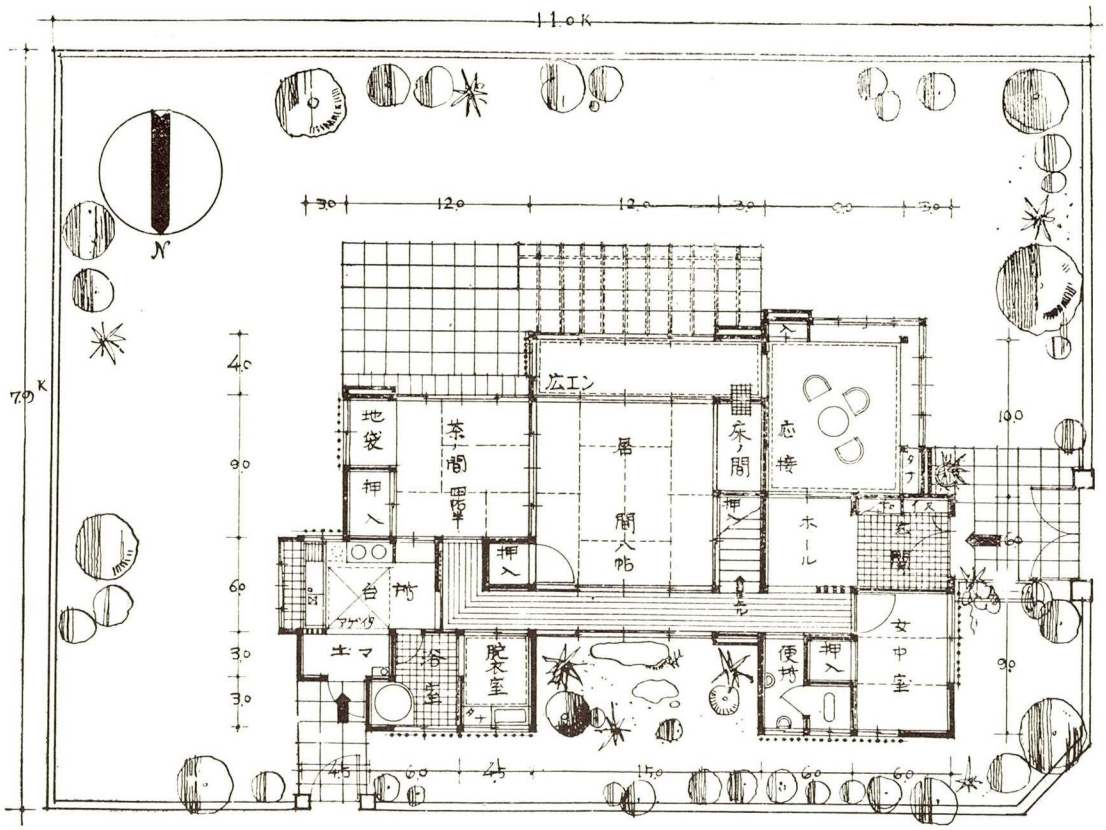
外　部　羽目板張り、漆喰塗り、木部オイルステン、屋根日本瓦

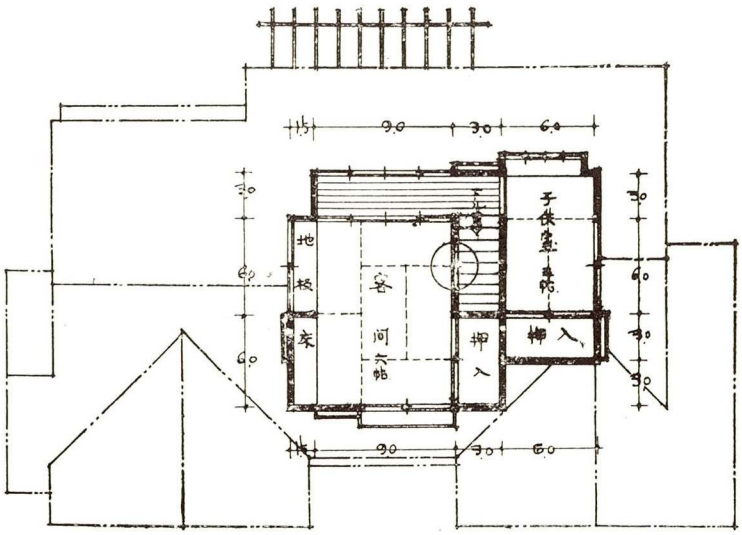
内　部　眞壁、漆喰及砂壁造り、天井枠椽及セロテツクス張り、床板張り及疊敷き幷にタイル張り

臺　所　厨房棚等取付け

浴　室　長州風呂

便　所　内務省改良便所





阪和上野芝住宅懸賞設計當選圖案　　佳作3席　　高木貞一君　　15IV

阪和上野芝住宅設計圖案審査概評

審査員
池田　實　　石川純一郎　　今林彦太郎　　武田　五一　　竹腰　健造　　富士岡重一
安井　武雄　　（審査會缺席）石本喜久治　　鳥井　信

この度の懸賞募集は應募期間が年末、年頭の間にあつたに拘らず多數の應募圖案が集まつた。しかもその應募者の分布は內地は勿論、遠くは朝鮮滿洲、臺灣等に亘つてゐた。これは本會の募集趣旨が各方面に徹底した結果によるもので審査員の最も欣快に思つた所である。

本會滿 15 年記念で募集した住宅懸賞はこれと共に 4 回であつたが特に今回のそれは前 3 回のよりもその量に於て、質に於て進歩の跡歴然たるものがあつた。

審査の方針として新味のある型、特徴のあるものを目標とした、唯單に大體纏まつたといふ案よりも、寧ろ今少し手を入れゝば大變面白いものになり得るものを擧げた。

不相變平屋建が 2 階建に比して多かつた、2 階建の方を多少重貭目に採點して置いた。

平面立面共に努力の跡が明らかに見える、加ふる製圖法は皆頗る巧妙である。然し透視圖に拙劣なものゝ多かつたのは如何なる理由に基くものかどうしたものか今一層の精進を望んで止まない。

審査は 2 日間に亘り頗る愼重に行つた。應募總數 111 案の中から先づ 58 案を選んだ。次に 35 案を抽き更らに 21 案を得た、最後にこれら優秀案の中から 14 案を採りこれに順位を附けた。今度の應募案は總體優秀なものが多く審査に當りてその取捨選擇には隨分惱まされた、それだけ選に洩れた人々には誠に同情に耐へない。また前 3 回の懸賞よりも佳作數の增へたのも全くこの理由からで如何に優劣の差が僅少であつたかと肯づけるわけである。

1　等

在來の懸賞によく見受ける型を逸脫したる變つた作品である。建物と敷地との關係もよく纏り、部屋の大さ配置も妥當である。特に小供室、女中室の位置、方位にも申分がない、また主人室に納戸をとつたのもよい、しかし難を云へばサンルームと婦人室との取合せと、婦人室にある押入の位置とには一考の餘地があるまいか、納戸に高窓をとり、臺所の開戸は引戸に直したならば一層宜からう。

エレベーションも秀いでてゐる、屋根の變化も相當面白くこなされてゐる、製圖法も特に巧みである。種々の點より考慮して首座に推すに躊躇しない作品である。

2　等

この作品は全く常套を脫して而も優秀な作である透視圖は殊に優れてゐる。プランに於て外觀に於て悉く異彩を放つてゐる。

構造はトロツケンバウの新工法に依つてなされてあるが小さなメンバーを組立てる工法では案者の考へる如く必ずしも實際は經濟的になり得るやは疑問であるが狙ひどこに敬意を表する。

3 等 1 席

明朗な如何にも伸び伸びした作品である。プランも良い。玄關から裏へ廊下を通じて臺所、浴室便所の連絡がこの平面のヤマであらうが成功してゐる、總ての部屋も氣持よく配置されてある。子供本位の家族的に徹底したる點等特に推稱したい南側に道路がある爲、入口が南面して平面作製に困難があつたであらうが、それを甘く利用した點が認められる。天井裏をも少しゆつたりして欲しかつた。

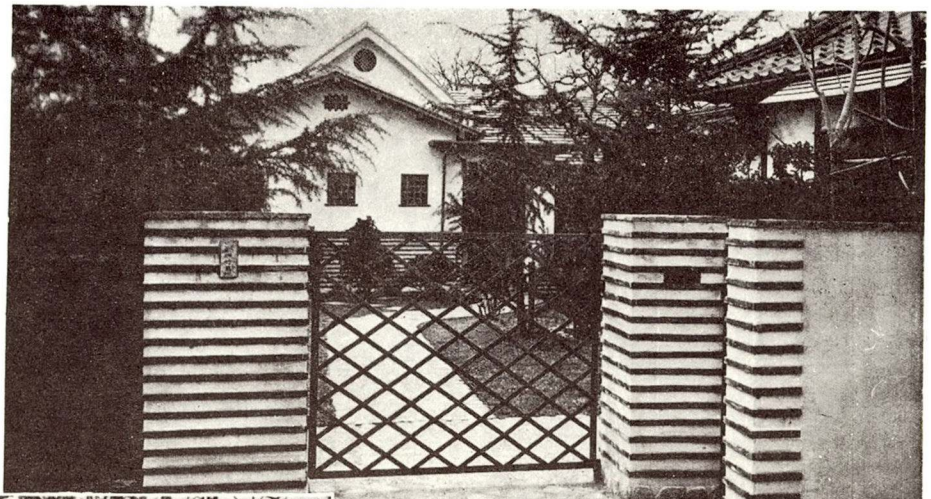
この作品も在來の懸賞型を破つたもので、實際に建つて見たい欲望は必ずしも吾々ばかりではなからう。

3 等 2 席

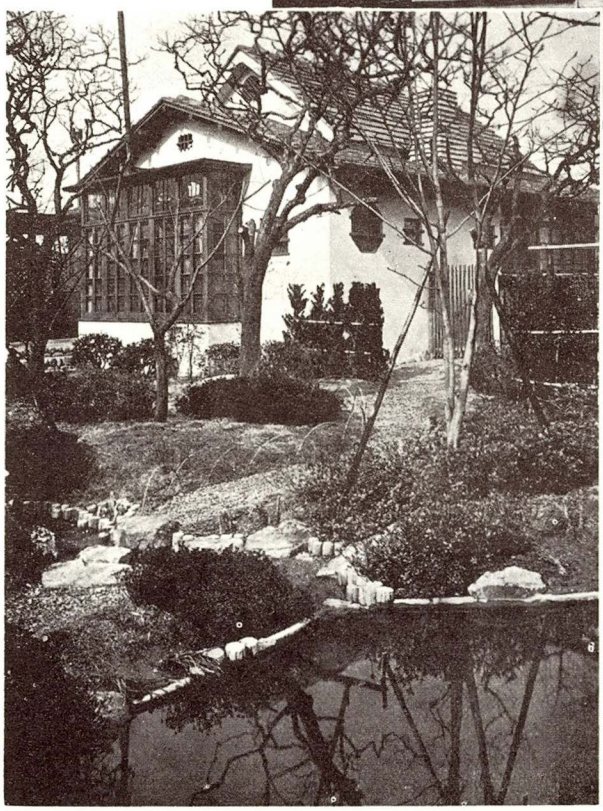
プラン、製圖法ともに良い。臺所、食堂、茶の間の各取合せも成功してゐる。只この作品は在來よくある型で嶄新なる點は求め難いが無難に纏めた案者の腕を賞讃したい。外廻りの建具が二重になつてゐることも注意されてゐる。製圖法も秀れてゐる。

佳　作

佳作の概評略す。

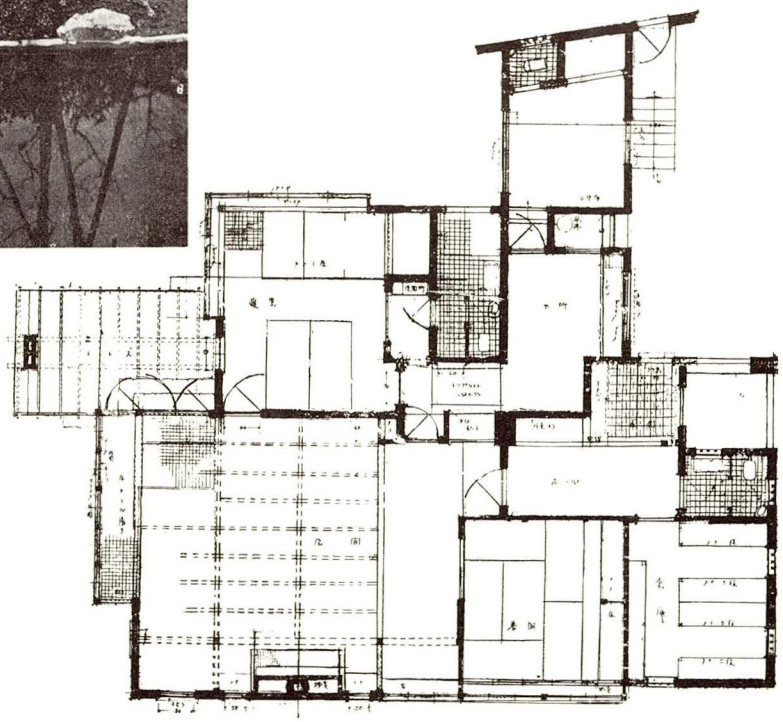


庭園よりの外觀





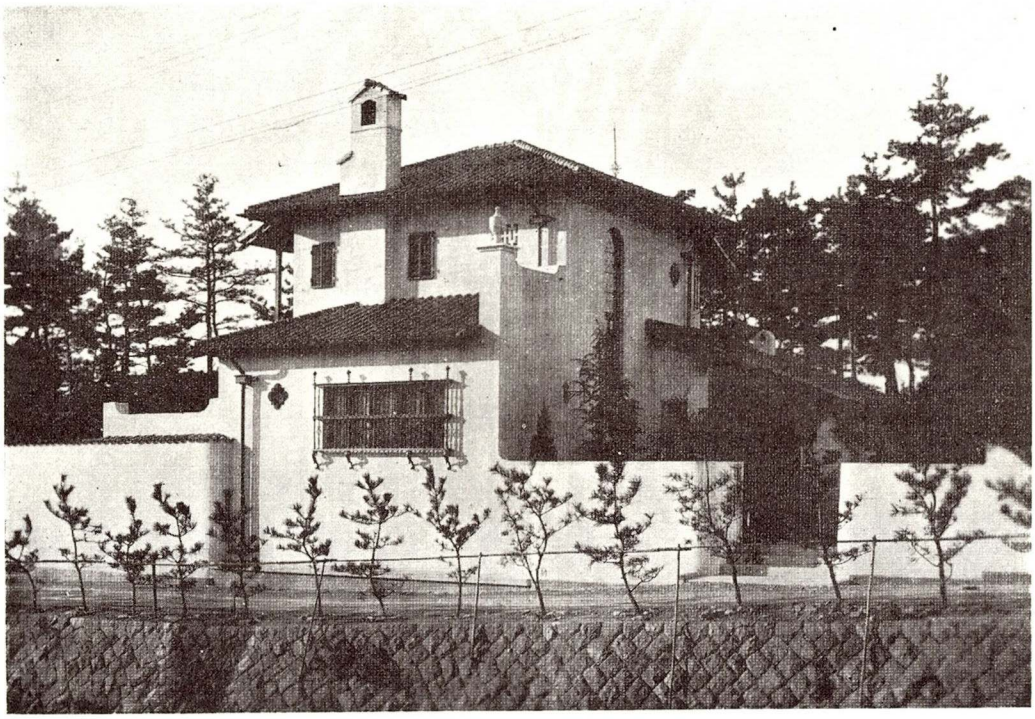
玄　　關



K・T氏邸（阪急沿線　曾根）

設計施工　大林組住宅部

藁屋根造を想出させる
田舍趣味的外觀……
內部は支那家風の椅子式
木造洋風平家建 44 坪



正面外観

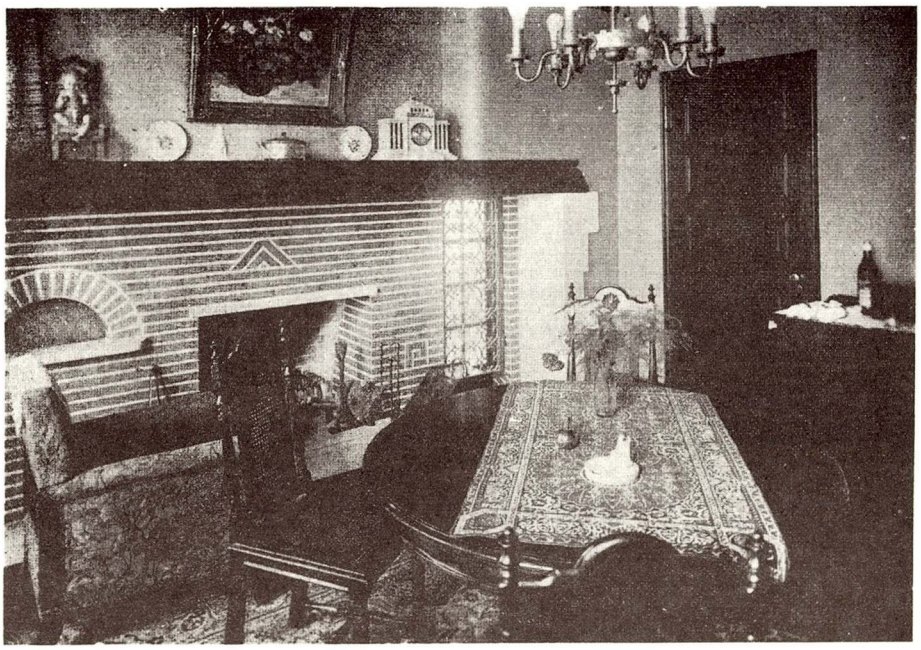
玄關ポーチ



U・K氏邸　（阪神沿線　魚崎）

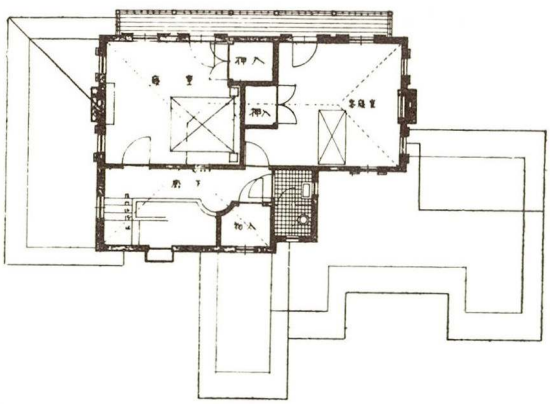
設計施工　大林組住宅部

建物の位置としてはりがましい阪神國道の道ばたでなるべく温和し味のあるスパニツシュの外観を捉へた家。

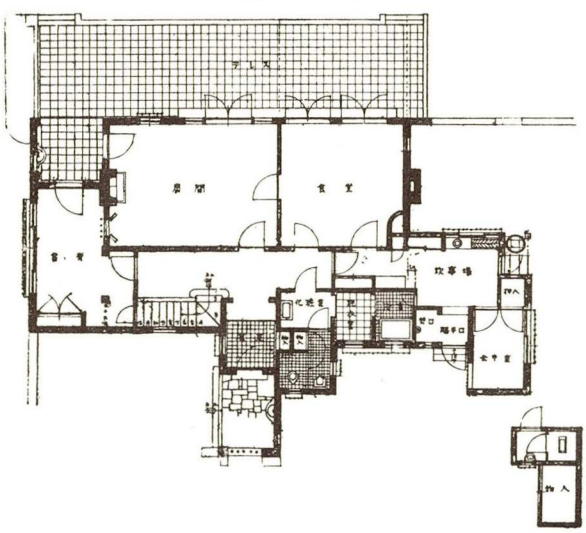


食　　堂

2階平面圖

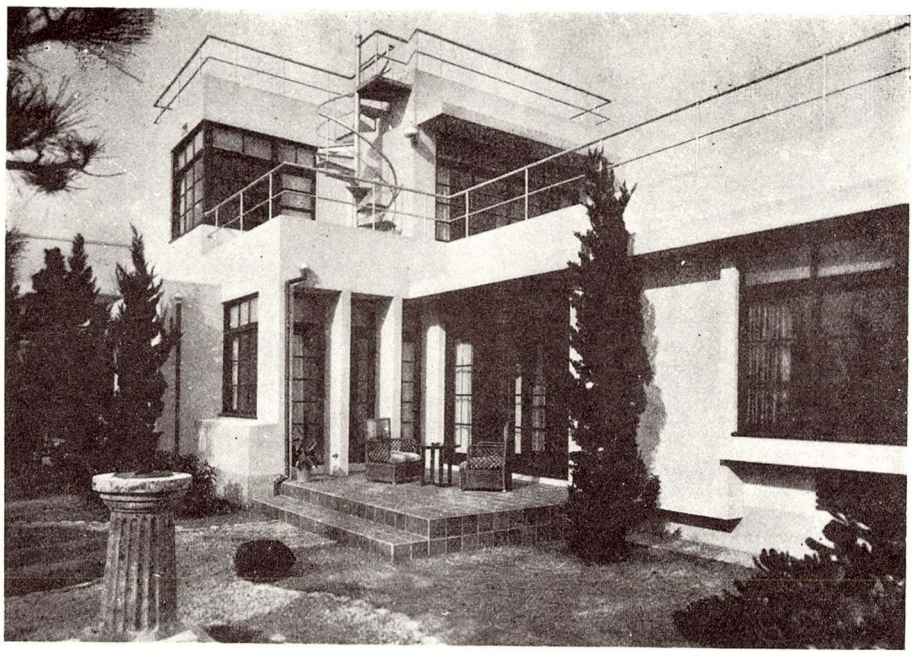


1階平面圖



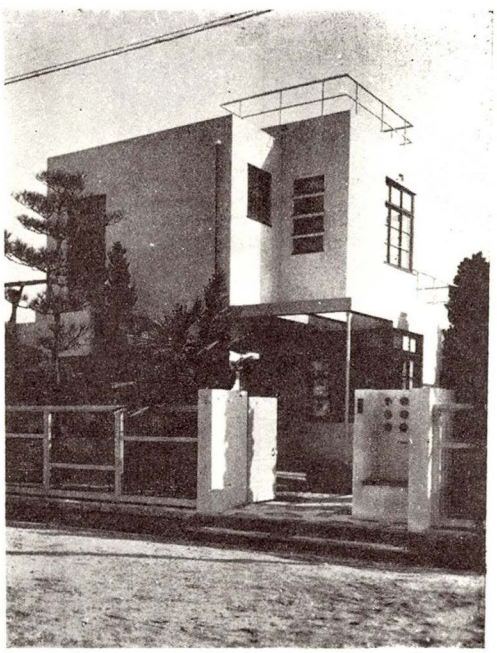
室内もあまりにデコデコせないスマートな構へとし度いと云ふ趣旨で……

木造洋風2階建、1階35坪、2階21坪

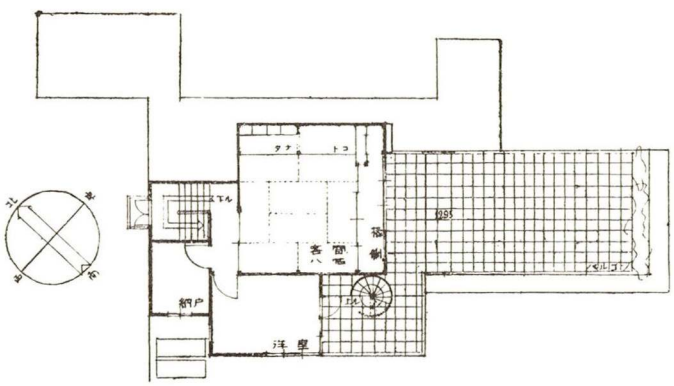


テ レ ー ス

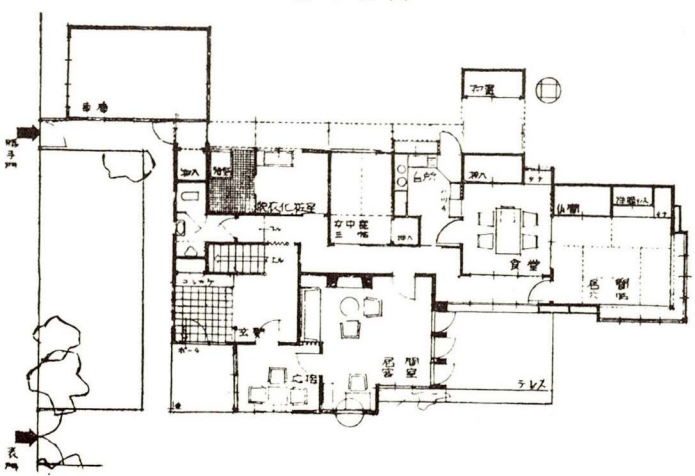
外　　觀



2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖



T・S氏邸　（阪神沿線　濱甲子園）

設計施工　　大林組住宅部

外觀でも、内容でも文化の閃きを多分に取入れて見度いといふ所謂モダン味タップリを現實化した家

木造洋風2階建　1階 32.42 坪　2階 13.75 坪

外　観

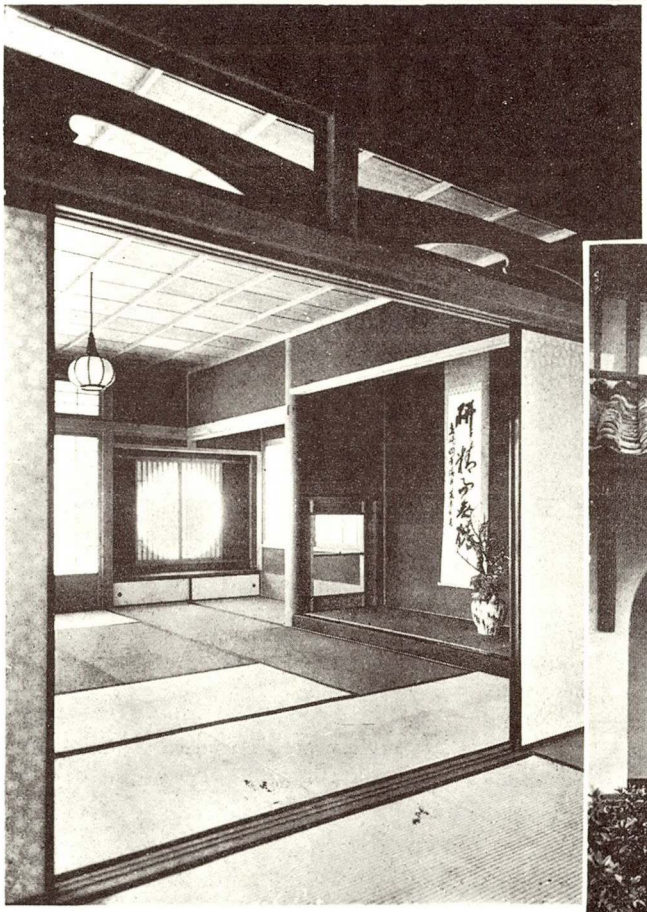


S・S氏邸　（阪神沿線　打出）

設計施工　大林組住宅部

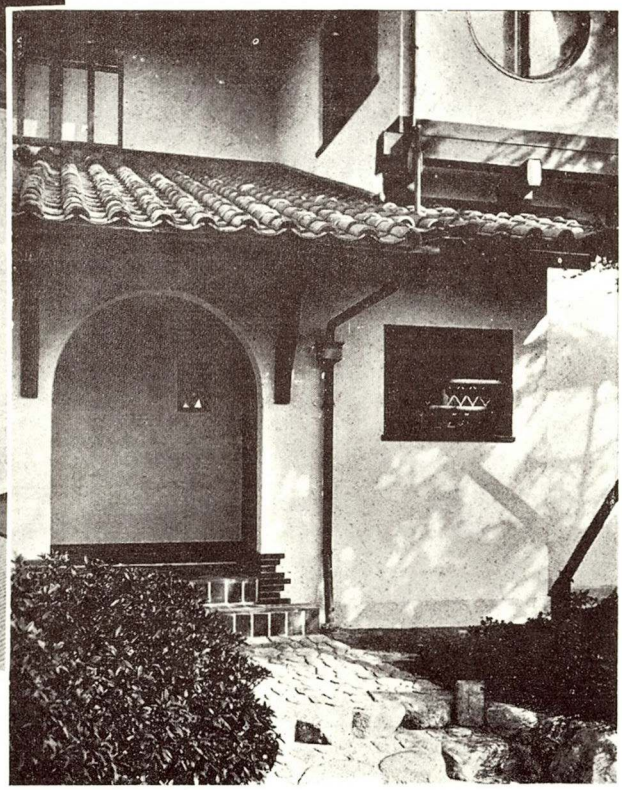
若いお醫者さんが病院から歸つての愛の巢として構へられた朗らかな家

木造洋風２階建　１階 41.20 坪、２階 20.60 坪

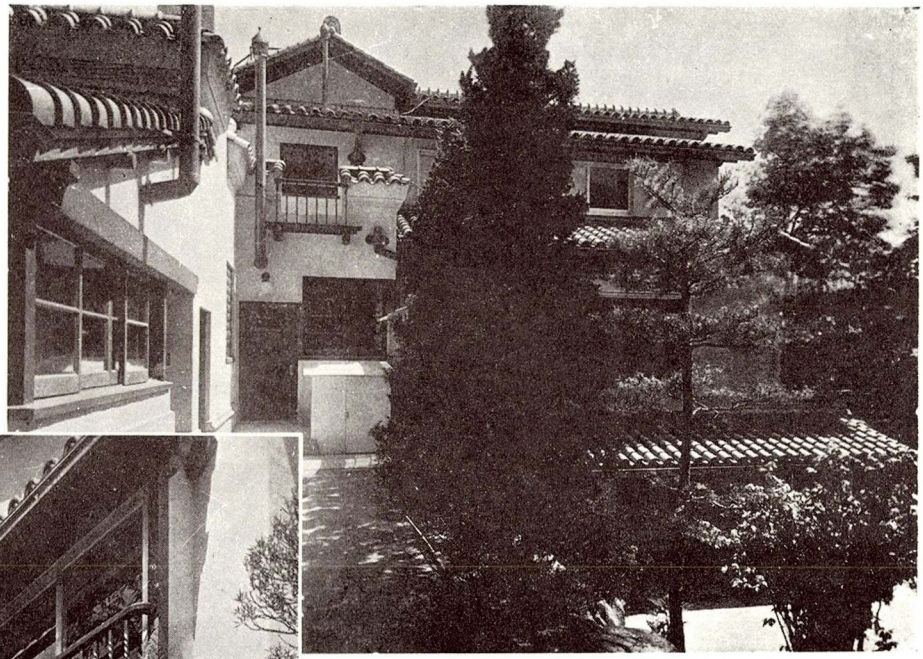


客　間

ポ　ー　チ



北面外観





西面外観

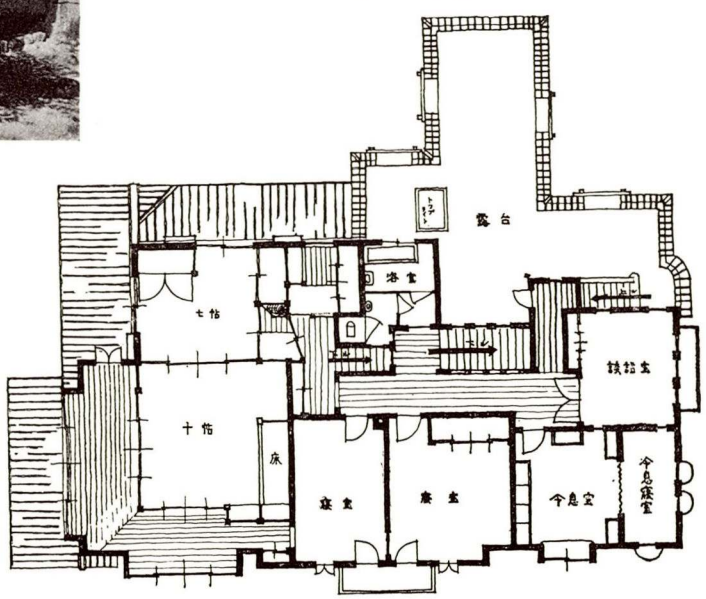
Y氏邸　（阪急沿線　御影）

設計　古塚正治氏

嘗つて何處かの席上で私は言つたことがある。關西の紳士が望まれる住宅と、關東に於ける流行型と云つた住宅建築との間には、趣味の上に大きな相違が劃然としてゐる。

關西地方では昔から住宅には落ちつきのある風が望まれる、

2階平面圖



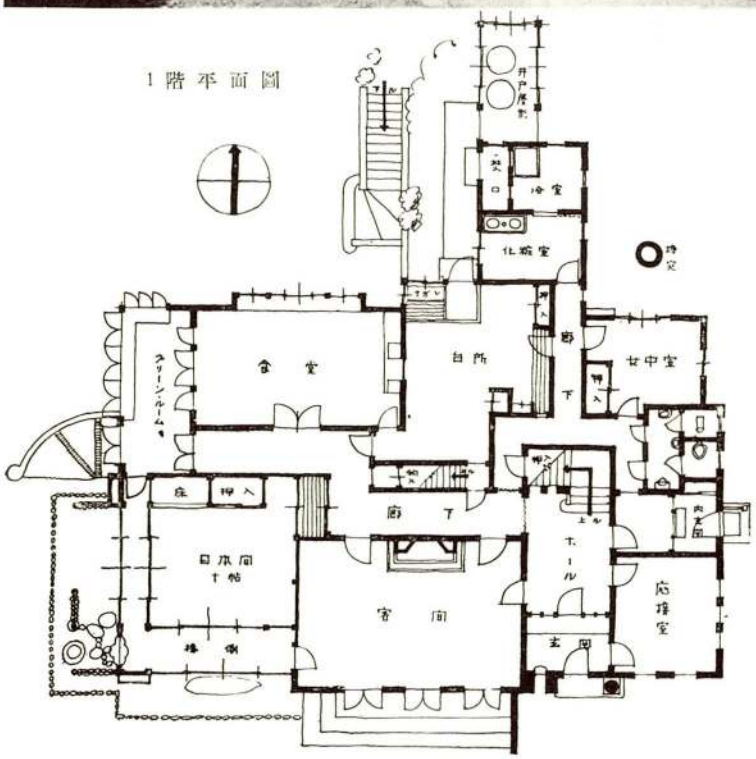
玄　　關





階　　段

1階平面圖



スパニツシユ、コロニヤル派の住宅建築、それは現代の關西に住む紳士の邸宅としての一般の傾向であると云つても差し支へはあるまい。今茲に掲作を紹介した邸宅も此の種の建築で、内部に純然たる日本間をとり、日本間に相應しい小庭園を置んで、然も外觀は純然たる洋式にマツチせしめた點が苦心の主なるものである。(古塚正治記)

木造一部鐵筋混凝土造2階建地階付

1階 77.1 坪、 2階 48.8 坪



外 觀（本 館）

2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖



伊藤氏邸（阪急沿線　岡町）

設計施工　竹中工務店

常緑の松林に南から西へぐるりと圍まれ東北二方道路に接して 2,000 餘坪の敷地の南を空け北寄りに建物を置き正門は東南に勝手口を北側にとり居間、應接、食堂、寢室を含む洋館の外觀は座敷、内玄關、勝手、女中室等を含む純日本家と餘りかけはなれない様に軒の深いスパニッシュ風なものとし、外壁黄色のリソイド仕上に屋根瓦はスパニッシュ型のイラボ釉掛を窯變物もとりまぜて用ひ多少の變化をつけました

木造洋風２階建　１階 149.9 坪

２階 81.2 坪　　（小林三造記）



外 觀（日 本 屋）

上田氏邸（阪急沿線　中山）

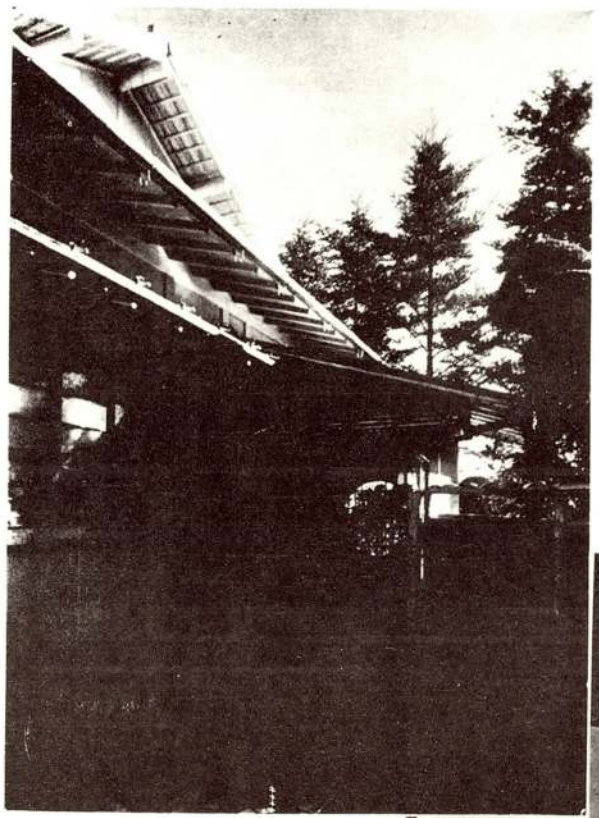
設計施工　竹中工務店

一木一石悉く時代のついた美しい庭園の一隅に主家と廊下で連絡された増築の離家。

立派に整つた和風庭園のおちつきを損なはない考から外観を数寄屋風にしましたが内部は椅子卓子を配する關係上日本趣味を基調として床、天井、壁面の取扱を洋風に致しました平屋建22坪（小林三造記）



白江邸外観



上田邸應接室外観

⬆白江氏邸（阪急沿線　夙川）

設計施工　竹中工務店

瀬戸産黄褐色薬拭S型瓦葺の屋根で薄いクリーム色の外壁を持つた洋館付住宅で建物坪数は

本家木造2階建　96.00延坪
土藏及下男部屋同上　19.00〃　} 115坪

此家のマスターは20数年も紐育にいられ非常な亜米利加通であるが建築に就いても相當趣味を持たれプランやエレベイションや門外塀装飾縁の面型に到るまでマスターの創意により出來た様なものである。（早良俊夫記）



應接室



正門よりポーチを見る

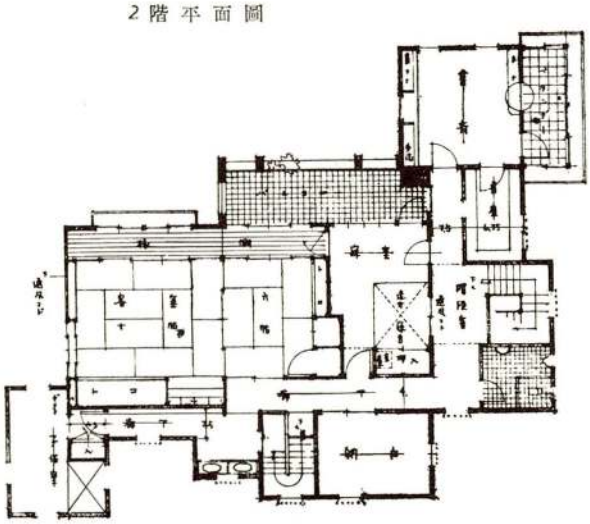


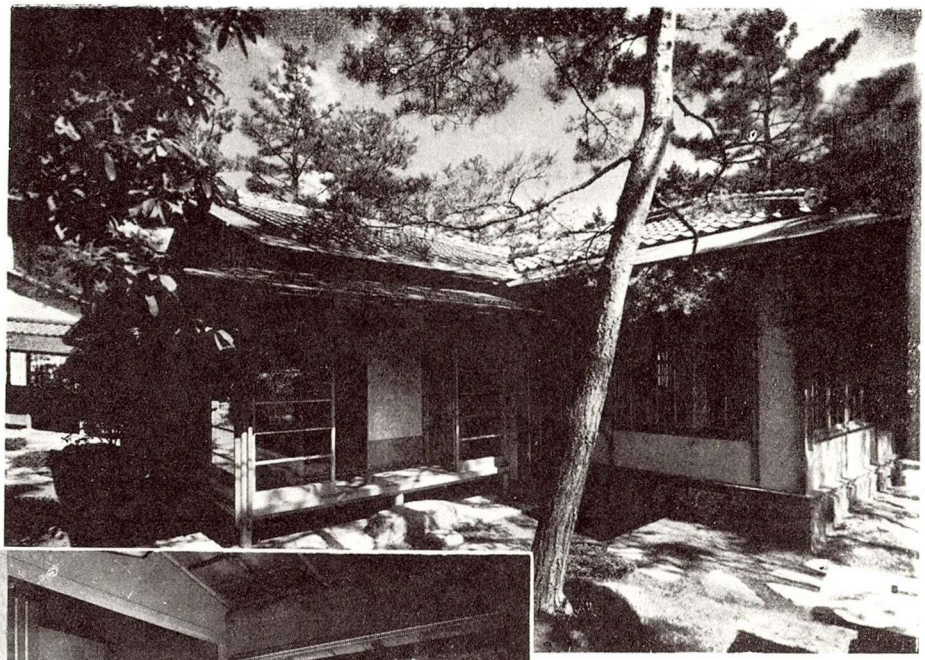
玄関ホール

居間兼食堂

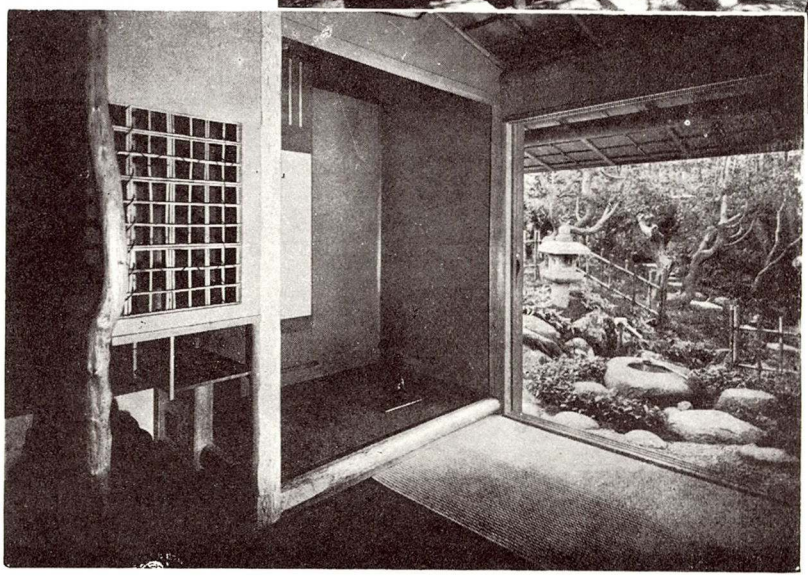


2階平面圖

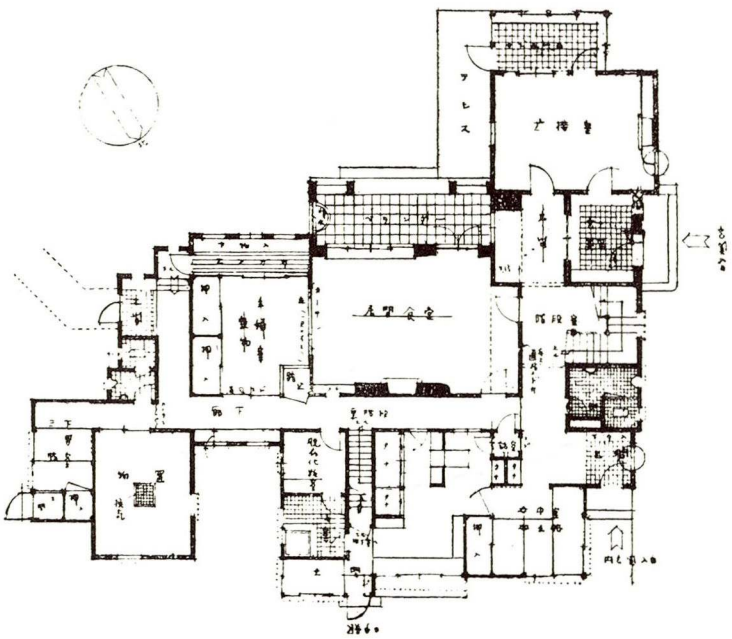




離屋茶室より庭園を見る



離家西南面外觀



F・T氏邸（阪急沿線　夙川）

設計施工　大林組住宅部

椅子式生活の反面には日本特有の華も茶も試み度いと云ふところから、スパニツシ式洋館の離家となつてゐる茶室

木造洋風2階建　延127坪、離家32坪

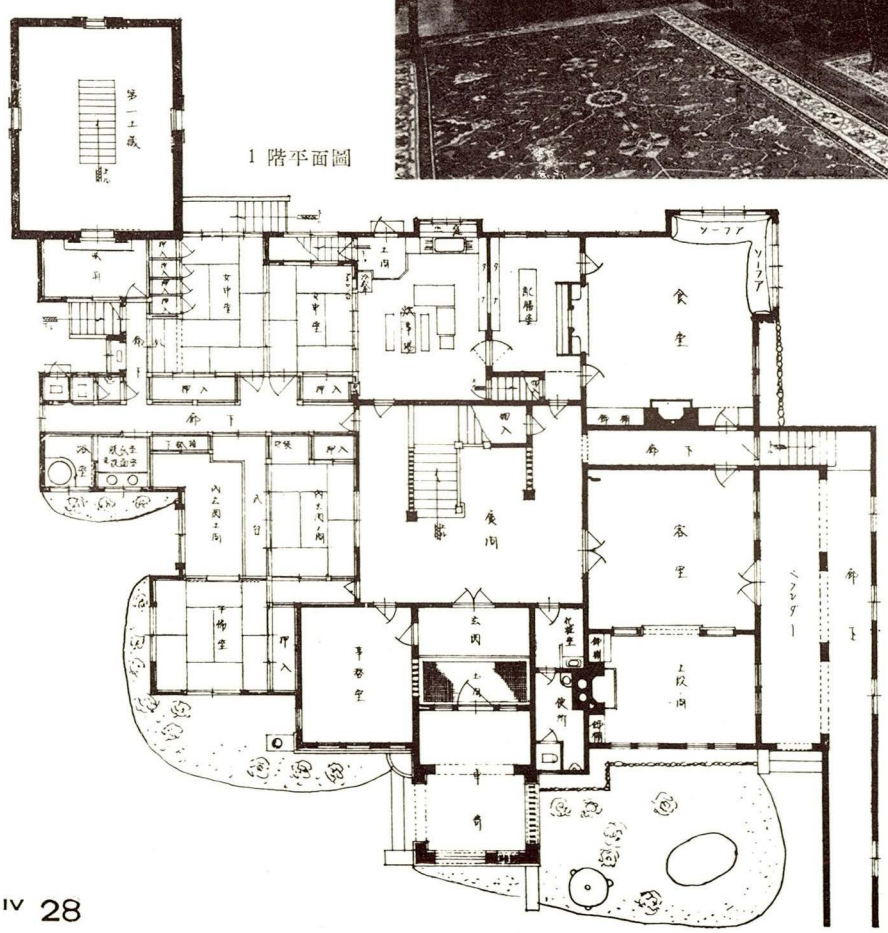


外　　観



ホール階段室

1 階平面圖



木原氏邸

（阪神沿線　灘住吉）

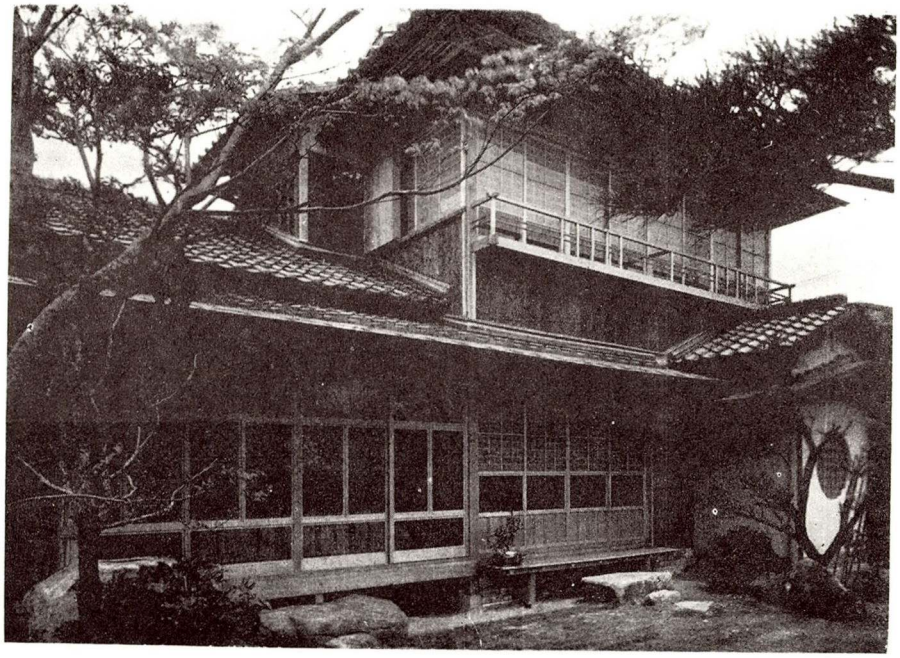
設計施工　岡本工務店

洋風２階建　地階付

地階　40.77 坪　延坪 235.28 坪

1 階 130.03 坪

2 階　64.48 坪



外　　觀

新莊氏邸　（阪急沿線　芦屋）

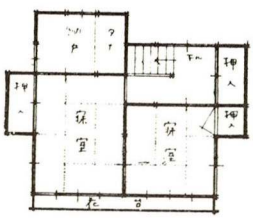
設計　南　信氏

この家に說明を書けといふ注文なれど、別に漬物が何處の何といふ漬物でもなし、澤庵でお茶漬を食べた様な家なれば、何も自慢は致しませんどうぞ御自由に御風味下さるやう。

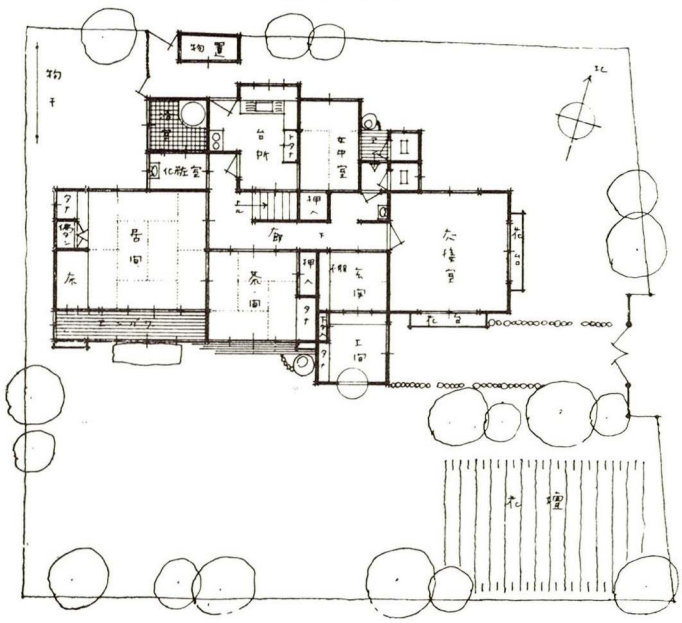
（南　信記）

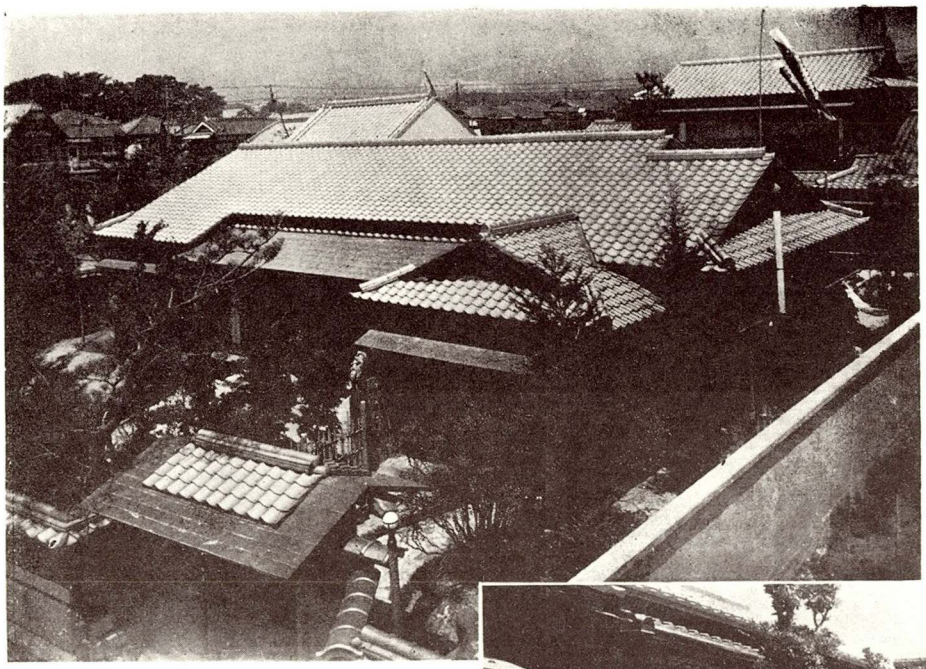
木造和風２階建　１階 24.5 坪　２階 9,5 坪

２階平面圖



１階平面圖



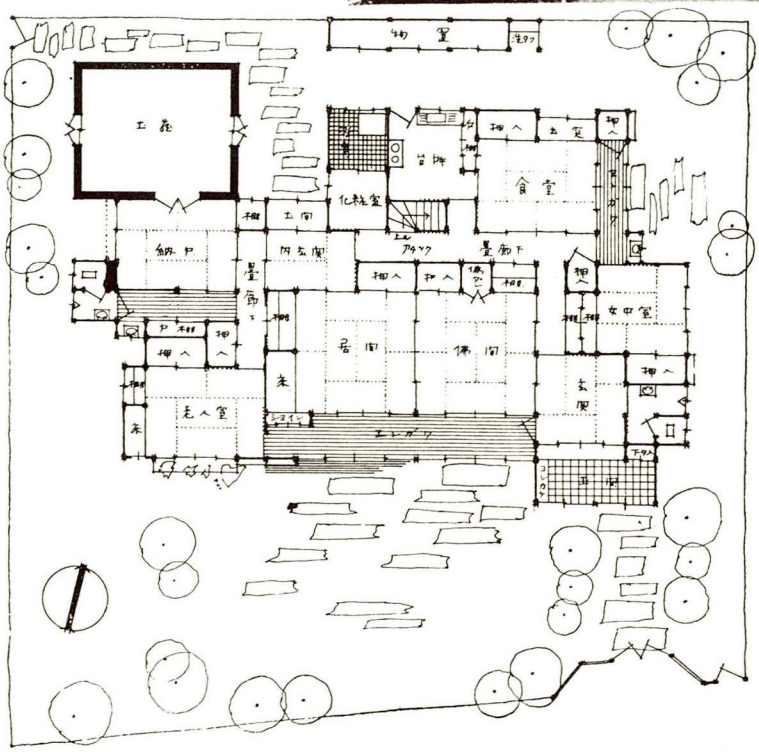


手前平家建 **吉岡氏邸**

後方２階建 **福永氏邸**



吉岡邸外観



同上平面圖



福永邸外観

吉岡氏邸（阪急沿線　芦屋）

福永氏邸（同　　上）

設計　南　信氏

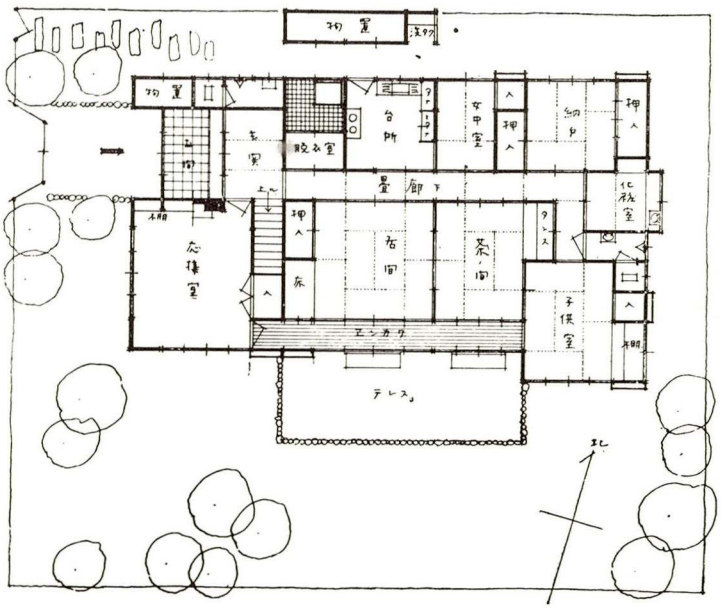
予時として洋食の營養價を論ずと雖、又時としてお茶漬の淡々たる味を好む。

盤敷の家、お茶漬の味あるや否やを知らず、時として斯の如き家を好む。

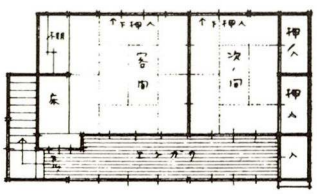
乞はるゝまゝに載す、別に自慢のつもりに非ず、吉岡氏邸、木造平屋建 52.56 坪、福永氏邸、木造 2 階建 1 階 38.25 坪、2 階 13.25 坪

（南　信記）

1 階平面圖



2 階平面圖

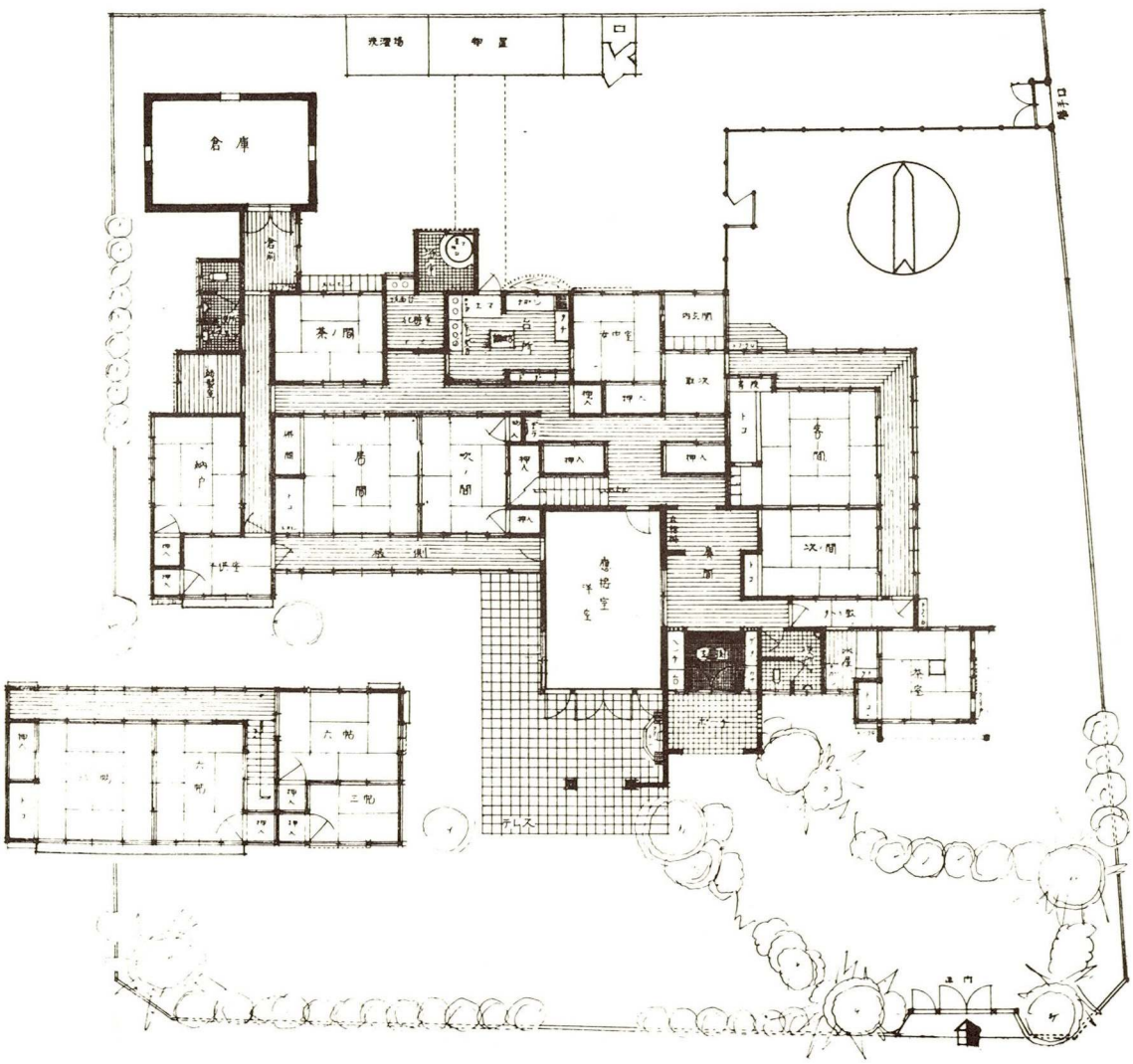




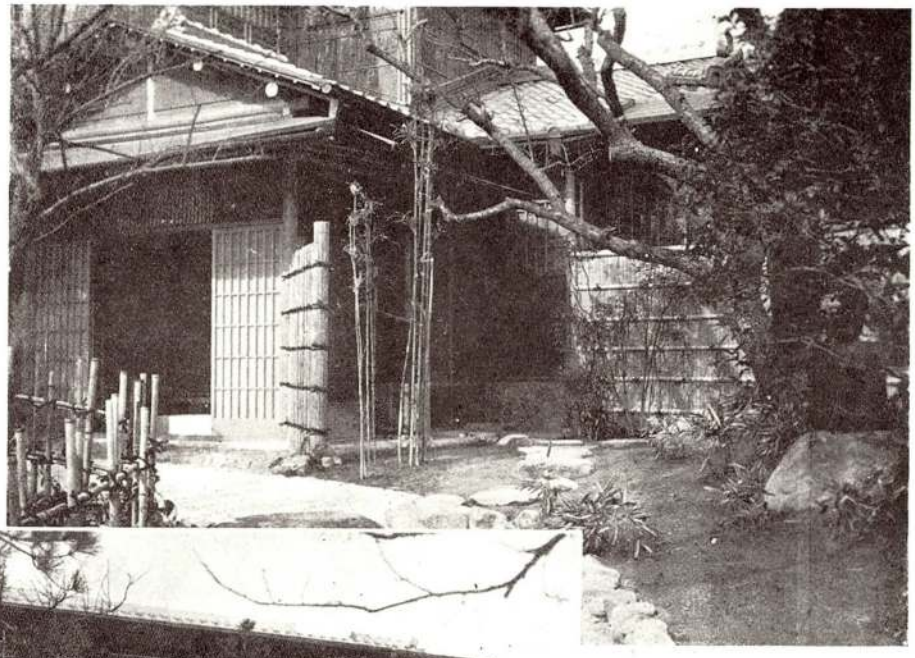
外　　観

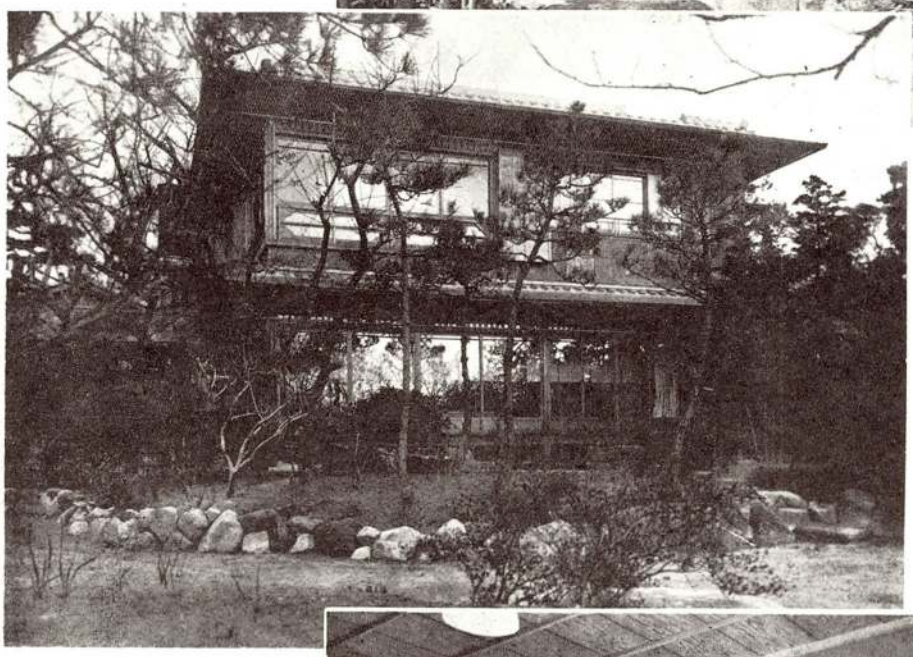
H 氏 邸　（大軌沿線　山本）　　**三 越 設 計**

木造和風２階建　１階 93.8 坪（倉庫テレスを含む）　２階 23.5 坪（倉庫を含む）



玄　關





南面外觀

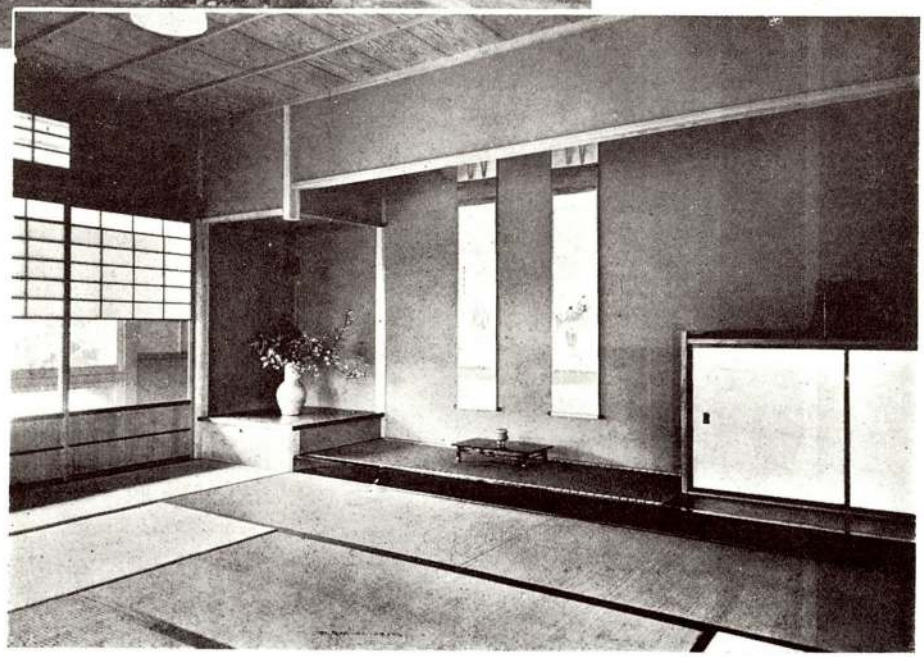
O氏邸　（阪急沿線　御影）

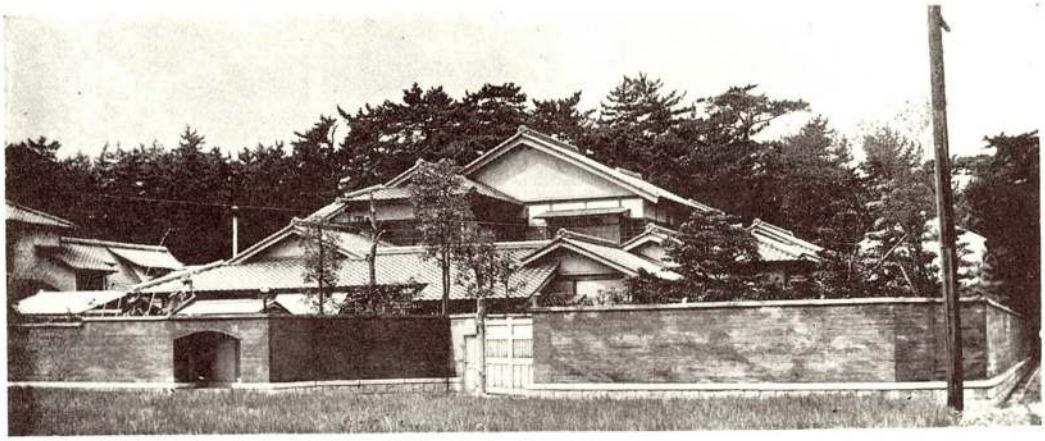
設計施工　大林組住宅部

輕快な和風趣味の家で生活を味いたいと云ふ出發點から建ち上つた家……

木造和風２階建　１階　64.9坪、２階27.8坪

２階座敷



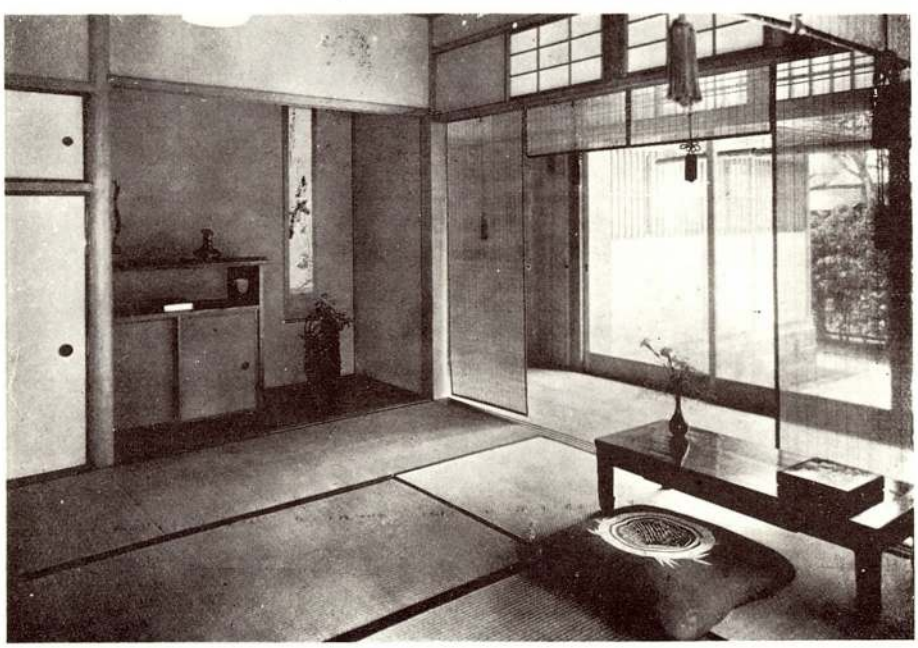


全　景

➡

奥庭から客間、主人室、夫人室、を見る。清澄な池水に映る黒き瓦の色、楚々たる馬酔木（アセビ）の花の白さ、初夏の氣分に滿てる檜造りの座敷！。



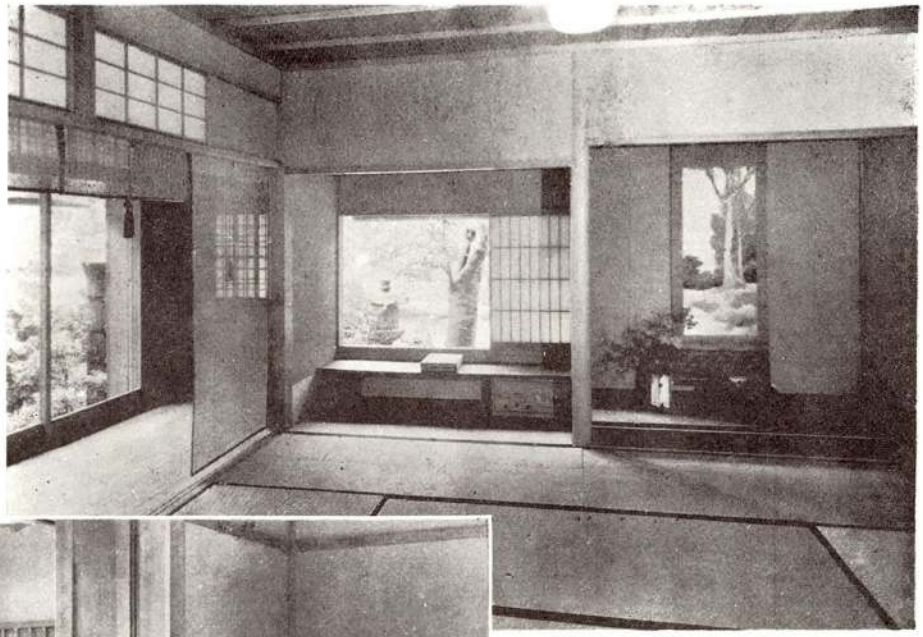


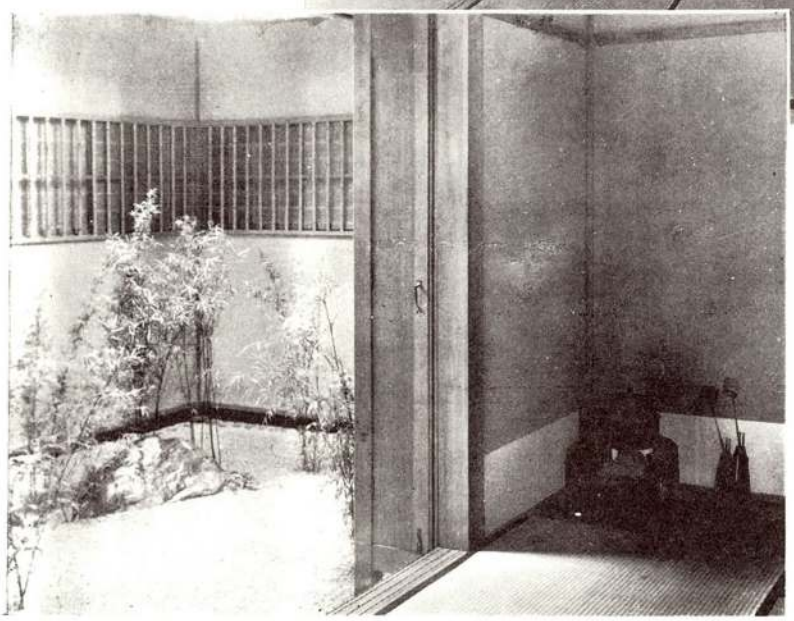
⬅

一間の床に地袋と棚を、肥松一切で巧に且小じんまりとした座敷、夫人室にふさはしい。

➡

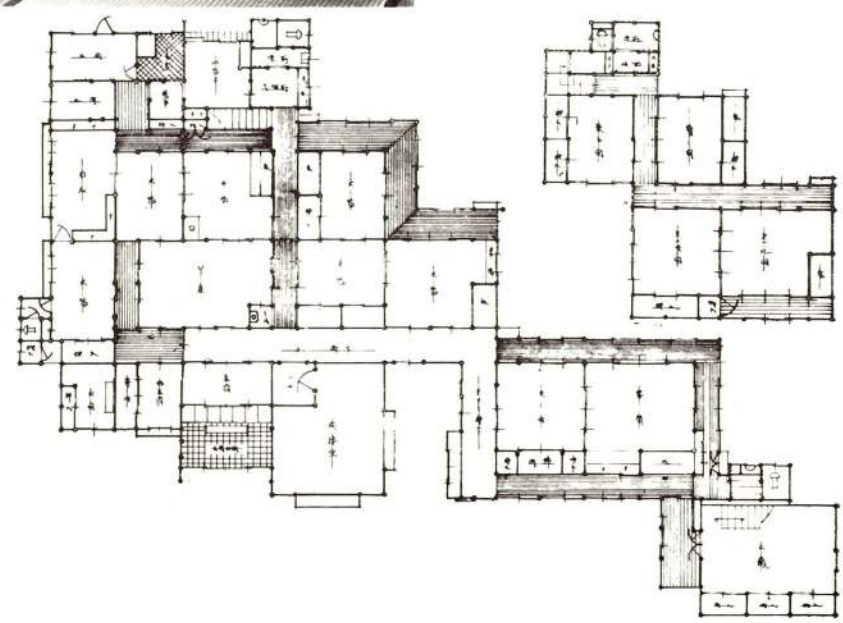
北山のシボ丸太、朧塗の框、杉柾の落掛も定石よりは細そりとし、机を兼たる脇棚は肥松の木目面白し、吉野杉の天井板は中杢の色鮮かなり。主人室





⬅

八畳の茶の間、一畳は簡素なる床とし、中庭に面する隅には地板を入れて爐を置き、道也の霰釜には常に松風の音絶へず、中庭の白川砂は小笹の露に霑れたり。



T 氏 邸 （阪急沿線　夙川）

設　計　池村元之助氏
施　工　徳政工務店

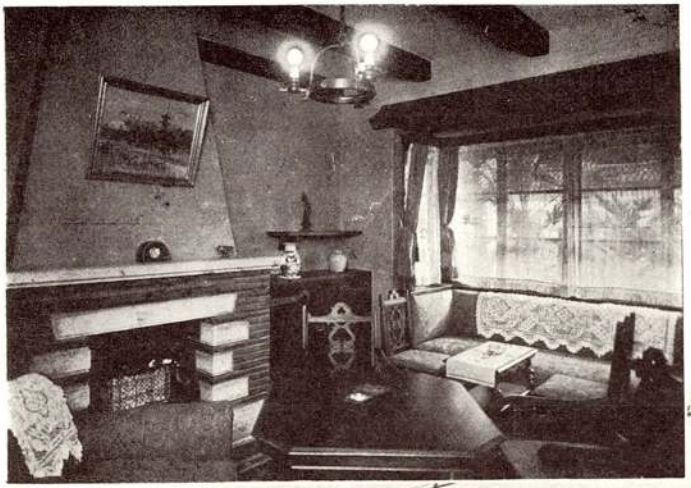
1 階　115.37 坪
2 階　29.61 坪
土藏　8.8 坪
木造和風 2 階建

N・N氏邸 （奈良市）

設計施工　大林組住宅部

寧樂の都に適應しい洋風構への家、お隣りは裁判所や縣廳の嚴しい家に圍まれながらも懷古的な土地の落付をみせ、內部はコンホタブルな家庭生活をもることに力めた家……

木造洋風2階建　1階 59.76坪　2階 43.72坪

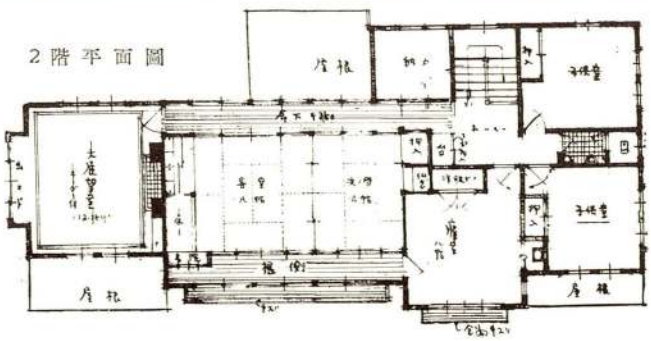


應接室

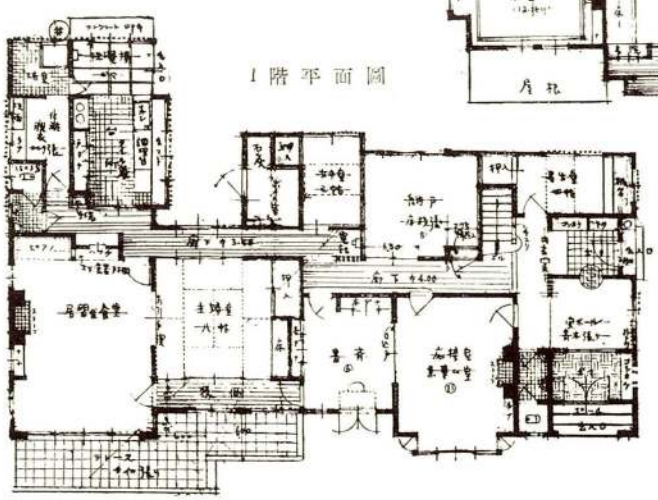


正面外觀

2階平面圖



1階平面圖



住宅地經營に就いて

松本儀八

◎緒　　言

混沌たる現下の經濟界に登場したインフレーションは少からぬ影響を各方面に齎した。株式市場に異常なる變動を起し、物價も著しく昂騰した、一種の社會不安は尙更募る一方であつた。そこへアメリカのパニツクである。アメリカの既に斯くなる事は識者の夙に認識して居た處であつたが、一般經濟界の人心の動搖は今更の如く一層拍車を加へた感がある。各方面より觀察して、アメリカのパニツクは我國に對して著しく惡影響を及ぼすとは思へない。寧ろ國內の一般の行詰りと、微溫的インフレーションの急激なる强化の不安（デフレーションの絕望）と、一般勤勞階級の厭世的觀念使嗾と、中流階級の現資本主義經濟規模に基く當然の沒落とは、我國は素より、如何にしてこの難局を打開すべきか。共產ロシヤを除く全世界の心痛事で、將來の推移、即ち好轉か、現狀維持か、不況激化か、1年後、いや1ヶ月後の見通しを付け得るもの、はたして幾人あるか頗る疑しいものだと思ふ。

斯かる情勢に際して住宅地の經營は!!如何に處すべきか。インフレーションに伴ふ所謂換物熱、殊に不動產への資本の移動は昨今目覺しい傾向だと聞く。なる程住宅經營地も其餘波を受けて？幾分かは立直つた感がある。だがこれは一時的ではあるまいか。一般經濟界が眞の好景氣に遭遇してこゝに始めて經營にも堅實なる發展を見るは勿論である。徒らに一時の小康に安んじて將來に備へず百年の大計を誤らば一度び不況激化せんか、その苦痛たるや火を見るよりも瞭かである。上述の見地に於て住宅地は如何に經營すべきか、以下少しく愚見を述べて見たいと思ふ。

○住宅經營地

先づ住宅經營地とは如何なる規範の下に定義せらるゝか之は種々の論議も生ずるであらうが、私個人としての見解を示すならば、

住宅經營地とは一群の住宅部落を一定の地域に集結せしむるを目的とする分讓地である即ち住宅街を建設すべくある地域を整地し、適當に分割の上之を分讓するものである。

狹義に之を解釋すれば不健康にして騷音激しき大都會を逃れて、安住の地を求めんとする人々の爲めに、主として郊外の地に住宅街を造成せしむべく分讓するものを稱するのである。故に次に示す樣な各種の條件を具備せなければ優秀なる住宅經營地とは見做し得ない。

○ 環　　境

住宅經營地はより良き環境に惠まれなければならぬ。

例へば四圍の風景に富むとか、又は眺望良き土地とか、四季を通じて氣候溫和で然かも都會の煤煙や塵埃の降下範圍外にあるとか、交通の便良く、保健に適し、子弟の教養上から見ても良好なる土地柄であらねばならぬ。

これを要するに住宅を郊外に求めんとする都會人の欲求の根本を究めて、其れに適合すべきよき環境を有する土地を選び經營すべき性質のものである。

○ 道　　路

郊外住宅經營地の道路は之を各經營地に付て調査して見れば、經營地全面積の1割4—5分が普通とされてゐる、中には2割或は夫れ以上も之に割愛して居る經營地もある。

道路網としての其形式は放射式、碁盤式、放射及碁盤式併用などがあり、其の地形に依つて停留所或は其他池等の目標に向つて放射式による道路を設けるのは各區劃が地相上所謂鬼門、裏鬼門に抵觸する事少く外觀も亦立派ではあるが、道路に要する面積が兎角不經濟に陷り易く、各區劃割も不規則となり平地では此式の適用は一考を要するものであらう。

更に規則正しい碁盤目式道路割は、一般に所要道路面積も經濟的で區劃も方形となり、賣り易く通行其他も却て便である、又全體を碁盤式とし其一部を放射式小區劃とした商業地區を擁せる所謂折衷式とも云ふべきものも面白い。然して普通道路を區分して主要道路(主幹道路)と補助道路とする。主要道路は經營地の主要部を貫通し、一つは經營地外との連絡道路にして、云はゞ經營地の大動脈であるが故に最も意を用ふべき道路で、其幅員も環境に依つて相違するのは勿論であるが、5間乃至15—6間を必要とするものである。歩道と車道の振別、街路樹、綠樹地帶、夫れに出來得れば相當なる鋪裝も必要である。然し歩道車道の調節宜しきを得れば、道路幅員必ずしも夫れ程廣からずして其の目的を達し得らるゝ。

即ち同じ6間幅の道路にしても自動車等の通行繁き所は歩道幅員を兩側に1間宛とし、車道幅員を4間とするも、商店街等の如く人の通行繁き所は歩道を1間半とし、車道を3間とするが如き例である。間接ではあるがドライブウエイ、或は產業道路に連絡した經營地はこれだけでも販賣政策上大きな武器となる譯だ。次に補助道路は2間乃至3—4間の幅員で充分で、成可く幾筋も敷設すればする程道路網はより良くなり、區劃に角地が增えて賣價に影響する處多大である。

何れにしても水排け良き側溝を必要とする事は論を俟たない。(水排けの良くない所では二重式側溝とするも可)。又各交叉點の隅切りも是非欲しいものだ。それに道路網を考查して要所要所には終夜街灯設備も亦必要である。

○ 區

區劃は各經營地で夫々標準を規めてゐる。例へば小住宅又は所謂勤勞階級向には百坪以下五六十坪を標準として居る所もある。又中流住宅、小別莊、或は田園趣味生活向には 100 坪乃至 300 坪位迄を標準として居る處もある。更に大邸宅向には 300 坪以上を規準とし 1,000 坪位迄區劃して賣出して居る所もあるが、之も經營地夫れ自體によるよりも環境に支配さるゝことが多い。

○ 衛 生 設 備

飲料水として水質良き井水の湧出は經營地にとつては大いした強味である。

上水道の設備は建設すべき家の豫定戶數、附近町村の關係等にて其の公的性質上地方廳の許可を要し採算上にも一定の限界があり、小規模の經營地では採算上敷設不可能で、井水が飲料水としての不適は確に經營地の致命傷である。上水道設備は源泉を河水、地下水等に求め自然濾過或は人工濾過をなし、自然又は人工壓力を加へ本管支管を通じ各戶に供給するのであるが、源泉より本管迄は大抵其工費を經營者側にて負擔し、本管よりの分岐を各戶にて負擔すべきが普通とされ、從つて資金の固定莫大なる爲め、完全なる設備をなせる經營地が少いのも無理はない。又各戶の負擔も都會と比し相當重荷されるので、上水道敷設上一障碍を醸生することは事實である。

下水設備は土地高燥で側溝のみで自然排水し得る經營地もあるが、平地では側溝は勿論下水管を敷設し、適度の勾配と完全なる溜桝(會所)を設け、其の解決を降雨多量の際逆流するが如き憂のない地點に求めなければならぬ。更に青葉を奪はれた都會人が如何にあの郊外の綠濃き景色の閃きに憧れて居るか、住宅經營地の適度の綠化は保健衛生上必須の問題であると共に精神的慰安である。平地に於ては無論のことであるが、海邊でも山の經營地でも樹木の爲に防火地帶を造る事にもなり保安の上からも結構である。

○ 文 化 施 設

電灯、電熱の供給は言ふまでもないが都會人として瓦斯施設の要求切なるものがあり、經營者側としては、多少の犧牲を拂つても施設し得る可能性あらば速に之れが促進に盡さねばならぬ。

○ 交 通 機 關

交通機關は經營地にとつては實に生命線に該當する。如何に土地が靜かで、健康地であり、風光明媚であらうとも交通の便に欠くる處があれば住宅地として理想的ではない。よし交通の便はあつても停留所から餘りに遠からず、夫れに運轉も可なり頻繁で所要時間も

數十分以內、然も都會との往復交通費が嵩まなければ中流向又は小住宅向住宅地としてはまあ適當だと言へよう。

○ 土地付住宅

從來小規模の土地付住宅の販賣政策をとつて居る所もあるにはあつたが、近來各地で繁々と住宅展が開かれるので其の成績に鑑み、所謂既製住宅（レヂーメードハウス）の土地付販賣は一種の流行となり、その手輕さと低廉さにすつかり近代人の欲求に適合して、可なりの賣行を示し、各經營地でも夫々珍趣味を凝らし血眼の有様である。

處がこの既製住宅が一つの標準となり、これを聚落散在式に建設すれば追々經營地全部の住宅が綜合的に表現せられて、統一ある理想鄉となる根源とも、導火線ともなり、經營者側も期せずして其抱負を實現せしめる結果となるのだから正に一石二鳥だ。

然しこれとても相當に定見がなければ多く建築に手を付けては失敗するものだ　最初に都會人の樂園だ、麗しき田園都市だと宣傳もし、期待もした理想鄉がいつかな之を裏切つて百鬼夜行式の薄つぺらな文化村になり勝だ。

○ 社會的施設

住宅地には其地方的情況に依り之に適合すべき各種の施設を持たねばならぬ。

例を擧ぐれば子弟敎養上幼稚園、小學校、遊園地等を始めとし日用品店、料理店、食料品店等、居住者相互の親睦、會合其他の爲の倶樂部ハウス、其他醫院、郵便局、理髪店、美粧院、保安上巡査駐在所、又は夜警常置、消防設備等々である。これ等の內經營地相應の適切なるものを大なり小なり設け、居住者の爲の便宜と保安を謀るべきである。

然し之等の施設は少からぬ投資を必要とするわけで充分實現し得られない場合が多いから、從來の經營地では居住者も日々其不便を感じ、永らく居付く人が少なかつたけれど、大規模な經營地では近來斯うした點に相當力瘤を入れる様になつて來た事は喜ぶべき現象だ

○ 物　　價

所謂郊外では一般に都會と較べて物價が高いと云ふ事を耳にする。然しそれは處に依りけりで關西方面でみても、同じ京阪間でも、阪神間でも安い處もあれば高い處もある。始めに經營者が夫々取締りをやれば或程度までかゝる心配はない。現に居住者各自の自覺と相俟つて不良商人を驅逐し好成績を上げてゐる處は幾等もある。だが物資の供給地と遠隔になる程自然高價になるのは當然で、經營者側も大いに心す可き事だと思ふ。

○ 建築業者の進出

こゝで若し建築を武器とする建築業者が自らその土地經營の陣頭に當るとしたならば、

其の完備せる設備と優秀なる技術を振かざしてスマートな間取、素晴しい外觀、然も工費の至廉さに自由自在の活躍をなすに相違ない。獨特の計畫に基く既製住宅の出現は基より社會の人々はより安んじて建築の依頼をする事が出來、移住者も激增するのは必然で、正に其の發展は刮目に値すべく、住宅地經營界の革命に相當する。

實際又そうなれば中流若は夫れ以下の階級の人々の受ける其の恩惠も多大であらう。

斯様な見地から建築業者のこの方面への新なる進出を歡迎しなければならぬ。

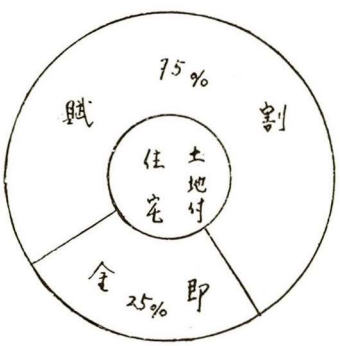
○ 賣 却 方 法

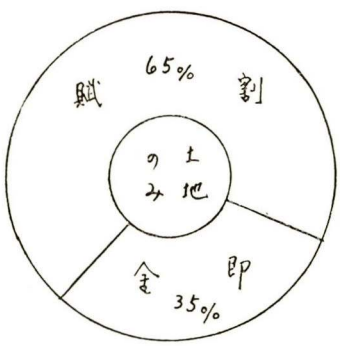
即金賣却と割賦賣却とに區別する。即金は一般に最初契約の際賣價の幾割かを（普通 2 割）手附として拂込み、殘額は所有權移轉登記の砌受渡をする。

割賦は同じく最初契約の際賣價の幾割(普通 2 割)を內入とし、殘額は 3 ケ年、5 ケ年、7 ケ年、10 ケ年或は 15 ケ年の半ケ年賦拂又は月賦拂とする方法で、年賦金に利息を付けら(年 8 朱乃至 1 割が普通である)れて居る。

其他特典として乘車券を出すとか、一年以內に建築すれば地價の何割を割戻しするとか、或は景品付賣出をやるとか、種々宣傳材料として一般の歡心を煽つて居る。

次に即金及割賦賣却の賣行成績を私共の直接關係せる經營地のものを參考として圖表に示せば次の如くなつてゐる。





○ 宣　　傳

住宅經營地の宣傳は、餘り派手な廣告は採算上の關係もあり度々出すわけに行かず、却つて効果が薄いものだ。

矢張り其の性質上絕對にインチキを排し、眞面目なる手段方法を選び、あらゆる機關、機會を摑み時折に趣向を變へて絕え間なく宣傳すべきものだと思ふ。

即ち其經營地の特徵、施設、特典、住宅展等を宣傳材料とし新聞雜誌の廣告、ポスターの電車內吊下、ビラの散布、バス內吊下げ、立札、看板等により少くとも其の經營地の存

在が一般の常識となる迄宣傳すべきである。但し其ねらいの的を外さない事が最も肝要だ

○ 原 價 と 賣 價

土地賣價は大體附近の時價其他の振合の關係で無暗な値段は付けられない。又一面採算に合はねばならぬ。其の算出方法は引受價格又は買收價格に道路敷代、道路築造費、區劃造成費、各種施設費、宣傳費等の經營見込額、金利、豫備費等一切を加算して原價とし之に相當の利益を見込で平均賣價を割出し、これを基礎として各階級に分けて決定する性質である。

所が所在地の場所柄にもよるが四圓、五圓などと桁の低い賣出し地がある、大概後から後からの負擔金責めに大抵の買主は參つてしまふし、結果高いものを買される事になるわけ、つまりは道路も上下水道も一切の施設を完備して、賣價に加味したる經營地を買ふ方が顧客に取つて差當り少々地價が高い様でもうるさくなくて其上負擔金などに煩はされる事もなく却つて安いかも知れない。

◎ 結　　論

これを要するに住宅地の經營なるものは社會的意義の重大性に立脚して取掛らなければならぬものだ。徒に採算を主とし、營利のみにあこがれる事は經營地の經營方針としては考ふべきことである。須らく何れの階級にもその樂園の地たらしめ、共存共榮の眞の實を擧げてこそ、住宅地經營者の上に大きな意義がある譯だ。（三月十二日稿）



某邸　茶室前栽の蹲　　（設計施工　大林組住宅部）

小住宅對策提唱

清水榮二

筆者の立場、中産階級以下によき住宅を提供したい技術者としての念願から、筆者は一昨年末以來中學時代の同級生を語らひ小住宅月賦提供の小會社を傍ら經營して居る。從て兩棲的の立場から所論は手緩い觀あるを免れない事を御斷りしておきたい。

現在の小住宅

日本の現在に就て中流以下の住宅を分類すれば、農家を別として大部分は在來の貸家型であり、一部分が所謂居宅(占有者所有の住宅)であり、極く一部がアパート型のものであると思ふ。公舍、社宅、等は經營の主體が異るものであつて型式は前三種の何れかに屬して居るものである。貸家はレデイーメイドであり、居宅は占有者の意圖に應じて建てられたものである。

現在の貸家

建物投資は國家的事業である位の觀念から、傳來の所有地に世襲的に貸家經營をやつて居る大中資本家も相當あるが、一方高利廻に採算して短期の投資をやる所謂小家主が非常に多い。殊にそれを見越して借地に建賣をやる投機者流の多いには驚く。

一方土地を貸せば借地法により殆ど賣つたも同然だと、土地を多く持つて居乍ら家屋も建てず貸しもしない頑迷な地主が居るかと思へば、地租を引いても地價の五分以上に廻ると云ふので前記の建賣屋に貸した揚句、地代の滯りを取りに行く先が分らないで困つて居る慾張地主も居る。中には思惑で土地を買込み、銀行利子を支拂はぬから貸す事も出來ないのもある。國家或は公共團體は宜敷高率の空地稅を課し、滯納者にはドシドシ土地を沒收して後段の小住宅經營の敷地に充當すればよいと思ふ。

短期高利廻投資の目的物たる貸家が住宅として論ずる價値のないは勿論であるが、最初に擧げた現在の眞面目な貸家經營と雖も、日本の銀行預金利率がまだまだ低下しない限りよき住宅を提供する投資採算に合はない事は識者の夙に熟知せられて居る事であらう。

中流階級以下の住居

月收の5分之1乃至4分之1を住居費として支出して居る現在の中流以下の無產俸給生活者は、この住居問題を果して自覺して居るだらうか。好景氣時代には將來の增收或は積

財に多少の望みがあり從つて現在の負擔は意に介して居なかつたかも知れぬが、前途に何等の光明を認めぬ今日恐らく止むを得ないから出すの一言に盡きるのではなからうかと思ふ。しかもその住居たるや他の衣、食と全然バランスがとれてゐない。むしろ住に對する不滿を衣食の上に爆發さして居る觀がある。これでは世想が日を追ふてウスツペラになるのも無理がないであらう。

建築家の責

學校出の建築家には由來所謂高踏藝術家型、或は純技術家型が多く、餘りに世俗に超然たりし結果が或る場合には個人の贅澤の手助けになつたり、又營利本位の事業の傀儡になつた傾向がなかつたとも云へぬ。近時諸種の社會問題が論議せらるるに至つて、民利增進施設の木鐸を以て任ずる建築家が相當現はれて來たのは喜ばしい事である。更に民衆愛に生きる若き建築家の多數出現を期待したいものである。

共同住宅、ジードルング等は何と云つてもやり榮へのある仕事である。又小住宅問題解決の方法として一番重大性のものである事は論を俟たぬ。しかし個々の小住宅の需要も又社會革命の行はれぬ限り永續するであらう。

この仕事は一見何と働き榮へのせぬ又、如何に多數建築家の手に俟たねば出來ぬ難事業であらう。阪神間の山手が如何に住宅樣式の展覽會を實現しても日本が世界の樂土である事を揚言出來ない。それよりも都市の近郊に存する芝居の書割か、ペンキ屋の看板然たる存在こそ我等建築家全部が責を負ふべき國辱ではなからうか。

小住宅對策

小住宅の內貸家型に屬するものは出來得る限り共同住宅、或はジードルング式のものとしこれを國營、公營、或は大資本の國家的永續事業とする事は先づ第一番の條件であるが、この問題に就いてはここには觸れない。次に個人小住宅問題である。

先づ土地經營は前同樣の諸團體の手で行ひ、これを區畫毎に希望者に分割拂で讓渡する。住宅は家族數に應じた幾種かの標準型を建築協會當りで研究して、標準仕樣書付で發表する。尙建築協會には常設相談所を設けて會員義務として交代に一定時間相談に應ずる。

資金は銀行、信用組合、保險會社等をバツクにする。大體本人の信用を基とし、場合によつては本人の勤務先に於てこれを保證する。この點に就ては日本の現在迄の銀行の多くは餘りに物的擔保に重きを置きすぎた結果俸給生活者の味方ではなかつた。先年のパニツクに際して物的擔保のみのたよりなさを自覺した樣であるが、未だこの方面まで進出して居ない傾がある。

小住宅需用者へ

最後に小住宅所有希望者に一言したい。月收の5分之1以上の住居費を終生支出して、

しかも衣食住の權衡のとれない生活を改めるのが目的であつて贅澤をする爲にでは斷じてないのである。先づどの程度の住居費經常支出で何年間に幾何程の分割拂に堪へ得るかを充分研究する必要がある。住居費經常支出は單に元利償還金のみではない。家屋稅も火災保險料も修繕費も要る。更に間接には電燈料も燃料費も場合によつては女中の給料支出にも影響する。それ等の豫算が出來て初めて敷地、間取、廣さ、構造、外觀等が決まる譯である。これ等について筆者は若干の意見を持つて居るが長くなるのを恐れてここには只元利償還期間を十五年位にすれば、現在の銀行利子を支拂つても可能性の充分ある事を附加して置くに止める。日本の現在の樣な目茶々々な生活狀態では個々の家庭に先づ生活樣式に對する根本方針を樹てなくては、中流以下の俸給生活は安定しない事は申す迄すないが、これが決まつてゐない人が住宅を所有しやうと云ふのは間違つてゐる。これが確立してゐる人程住宅は合理的に出來、又それに住む人に幸福を齎すものであるが、然らざれば反對に住宅を持つと云ふ事が往々にしてその人の生活經濟を破滅する原因になる事を申述べて置き度い。只人生如何なる人も將來の豫斷を許さないものがあり、萬一家庭大變動、轉勤、失職等の場合を考慮に入るる必要があれば成るべく平凡な、萬人向の住宅を建つべきものであらう。

結　　論

以上の趣旨のもとに實際運動を我々が主張してやり度いものである。これは我々だけでは無論やれるものではない。爲政者も資本家も一般大衆も總てが眞に社會の幸福の爲にガツチリ組合つてやつて行かなければならぬ。その一部が緒に付き出して現在の如き貸家ガラ空きの時代に實行されたならば如何に頑迷な地主、家主も必ず永い迷夢から目覺めて、幸い安普請の改築期は可なり早いものであるのがよい機會となつて、吾人の理想が着々實現する時代の近づく事を期待するものである。(終り)

住宅の經濟的な設計

建築費の上から見て、通路を少くし、不要なところを省き、押入をベツドにとるなど面積を狹くしてなるべく効果的に生かすことである、今までの一間に奥行半間の床などは時代遲れで、八疊以下の座敷なら奥行半間の床などは時代遲れで、八疊以下の座敷なら奥行1尺5寸の床で十分である。繼部床にすれば壁そのものを床に使ふことが出來る、日常生活の上から見て、通風のよいやう床下に金網を張り、床板をぴちつと張つておけば、大掃除の時下を掃く必要もなく、奥樣と女中だけで大掃除が出來るし便利である、それからなるべく部屋を小分けにしないで、まとまつた一つの部屋をさまざまに使ひ分けられるやうにすることである。(大阪市立都島工業學校　澁谷五郎氏談)

住宅經營地の種々相

矢田鐵藏

□

都市は原則として居住—勞働—娯樂—交通の四者が安全に行はれるべき處でなければならないが、最近の傾向として都市に大部分の時間をおくる人も、その居住地を郊外に求めむとしてゐるのである。從つて郊外の勝地はそこ〳〵となく開拓せられ、區劃せられてその處女地の上に各樣の家が建てられつゝある現狀から見ると、これらの經營地の中にアパートメントハウス或はジードルング等の集合家屋の出現するのも遠いことではあるまい。

住宅經營にはその土地と家屋の經營によつて、居住者に新鮮なる空氣と、明朗なる太陽を與ふるのみならず都市の人口を合理的に分散すると共に、家屋を合理的に集合すると云ふ重要なる意義があると思ふ。

□

住宅經營地內の道路は單に交通採光等の爲めのみならず、街路樹を植えることによつて路面に影を與へ、空氣を新鮮ならしめ且全體に壯麗の外觀を與へるものであるから、その幅員等もなるべく廣く採ると共に路面積の全地區に對する比率も理想を云へば 20% 以上をとりたいと思ふ。

次に道路の路線型にも色々の別があるが、普通行はれる整條型は宅地が整然としてゐるのと建設に技術上の困難が少いので普通に用ひられる型であるが、その主要なる道路は東西を避けて多少傾けた方が効果的である。放射型路線は交通運輸の經濟と美觀とを持つがそれと同時に、道路面として相當の敷地を要するから、經營地の地勢によつては極めて壯麗なものになると思ふ。

この外に環狀型及以上の折衷式の型があるが何れも利害がある。要はその營經地の特長——地勢のアクセントによつて決定すべきことであつて、海岸地ならば海岸線を生かしてそれに沿ふて主要道路を建設するのが普通であり、又丘陵地であれば或は放射型に扱つても面白いと思ふ。又同じ丘陵地でも段階狀をなした急傾斜の經營地は、敷地に高低ができるから居住の上に色々の問題を生じ易いため、なるべく避けたいと思ふ。

□

住宅經營地の內には、道路の外に自由空地を多分に持つことが居住者の保健、娯樂、保安上の立場からも必要なことである。家屋を密集して建てることは不快なことであるから經營地內の住宅はその建坪に於て敷地の 3/10 位に止めしめて、空地を充分に殘すことが

經營地全體をどれほど立派にするだらうか。それは音樂に於ける休止符の様なもので、家を一杯に建てない處に全體としての意義があると思ふ。

□

住宅經營地はその道路も共に全體を一つの美觀地區と考へて、そこに建つべきものについて全體の綜合的美を表現する様にすべてが計畫されることが肝要である。

居住者に不快の念をいだかしめる様な式のものは經營地の家として取締る必要があると共に、建物の階數も2階位に制限することが必要であると思ふ。

幸にして土地の經營者と、住宅のそれとが同一人である場合には比較的無難であるが、然らざる場合に於ては以上の事は全く正反對の結果を招くことがあるから、經營者はこの點に充分の關心をもつことが必要であると思ふ。

□

住宅經營地の設備としては上下水道を始め、塵埃處理、其他建築に關する附帶設備の一切が完備せるのみならずその外に居住者のための運動、娯樂、社交、修養、保健、保安、教育等に對する設備を具へることが必要である。

且市場其他の設備を通じて、日常の物資並びに都市の生産するものも簡單に居住者に提供されることが必要である。何となれば郊外の住宅經營地は都市に附隨して成長する衛星の様なものであるから。

□

以上は大體商品としての土地及建物への斷相であるが次に經營の目標である正當なる利潤を實現する手段として一般民衆をしてこれを購買せしむる技術即ち販賣方法に就いて考究し一定の主義政策を以て進むことは經營上極めて重要なる部分である。徒らに他を模倣することは經營上に於て成功を得る所以ではない、殊に現代の如く整備した經濟機構にあつてはその販賣方法もたえず變化發展しつゝある。例へば販賣形式についても支拂方法としては即金、月賦、年賦及無盡金融式或は住宅組合等のものある。又土地及住宅の紹介宣傳方法としては綠化田園都市、理想的健康住宅地、保健衛生的理想鄉等又住宅博覽會試作展等々猫の目の様に變轉反則してゐる、故に住宅經營に從ふ者はひろい眼界と慧眼なる先見及細密なる計畫とそしてこれを機會を捉へて熟慮斷行すべき熱意とが必要である。

□

住宅經營者が單に土地を賣却するのみならば丁度雨ふりに下駄だけを賣るのと同じで甚だ不親切なる方法と言はねばならぬ。即ち今一步進めて傘……等と云ふ具合に其第一義的住宅に就て常に親切に考慮を拂ふ必要がある。

故にたえず民衆の趣味の動向を察すると共にその時代の經濟狀態及民衆の購買心理をも研究して一般の需要を喚起してゆくことが必要である。殊に住宅に關する一般人士の趣味は或一定の週期を以て進轉してゐることは經濟統計或は試作展等によつても略その動向を觀察することができるのである。換言すれば人々は如何なる土地柄家柄を求めんとしつつあるかを先見洞察してこの欲求を充すべきものを調査研究してこれを低廉に供給することが住宅經營者として考ふべき原則の一つであると思ふ。　(8.3.20)

土地經營者の觀たる住宅

大阪近郊土地株式會社
專務取締役　篠原正雄

土地住宅の經營、施主の望む建築工費、樣式、間取り等に就て何か意見をとの仰せは有難く御受け致しましたけれ共素々技術家でもない私共に纏つた專門的價値ある意見のあらう筈のない事を御諒解願つて纔かに感し得た素人臭い執筆を齎す次第豫め斷つて置きます。

住宅は健康、活動、和樂、德性等家族全體の心身を支配し、延ては是が社會を支配すると迄も謂ひ得らるゝ極めて重大な意義あるにも拘はらず折角の勞資も、折角の化學も住いに適用された範圍は甚だ小さい。就中下層人士の住居は却て惡化の逆現象をなして居る。今日餘裕のある人の生活を見ると、食ふ事と衣る事に對しては贅の限りを盡しながら、住いに到つては全く無關心の模樣である。更に餘裕の少い生活の人を見ると必要の程度を超へて衣食にのみ重きを置き、生活の不足全部を住居に押し付けて、敢て心身を毒害する虞を意としない。素より住宅は他のものに比較して多額の經費を要する事から、先づ後廻しにされるのが普通ではあるが、住ひは單に寒暑風雪を凌ぐのみの用でない事柄を思へば、「眞の文化生活はより能く住む事」であらうと考へます。

◇

其住宅敷地の選定——は人の境遇や職業に依つて一樣ではありますまいが、一般的に御注意を喚起したいのは(1)近所に危險物はないか(2)衛生上有害なものはないか(3)近所が騷がしく、風紀が惡るくないか(4)交通の不便、道路巾の不足はないか(5)宅地として適當な面積があるか、濕度はどうか。

【註】住宅として何程の面積を要するかは一般的に餘程六ケ敷いが、東京市では1戶當て20坪以內、大阪でも25坪を出でないと云ふ事で誠に小さなものであります。農家などの實際を見ますと、地方によつて差はあるが200坪から400坪の間を上下して居ます。平均250坪位と見れば間違ひない樣です。敷地の餘り小さいのは誠に非衛生であり、不快であります。兒童の遊び場もない樣では思はしからぬと存じますが、又餘り大き過ぎても不經濟ばかりか外樣に御迷惑となる事もあります。歐米等に於ける田園都市の研究者や衛生學者等の一致した意見では、1人當り40坪位が適當だとされて居る樣です。先年英國政府が援助して500,000戶、總計1億5千ポンドの經費をかけて建てると云はれた住居は1エーカ(約1,200坪)に付12戶の割合に敷地を當てたと云ふ事ですから、1戶當り100坪になります。私共が實際に見る多くの御方の希望坪數も殆ど之と前後したものばかりで、出來上つたものに何の不始末も認められない點から押して、100坪前後

が標準として適當かと信じます。私共の經營地．阪和上野芝向ケ丘、霞ケ丘、葛の葉千枝の莊など總て此の標準に依つて、1地區60坪前後とし、2地區併せて100上下任意な御希望に添ふ様致して居ります。

(6)排水、飲料水、日當りの良否 (7)危險な位置でないか、固定しない埋地でないか (8)醫者．學校等の便不便。

等で經營者としての私共は叙上數々の事項を深く考慮に容れ全きを期して居ります。

◇

住宅の計畫——詰り「プランニング」と云ふ大體の間取、構造、設備等を極めるには、自分の家を建てようとなさるゝ御人自ら鉛筆を取つて碁板目の罫紙に書いて見らるゝが宜しいさうすれば自身の心持や希望を正しく極める事が出來、明瞭に現はす事が出來ます。豫算何程、總坪何程と凡その腹積りはあつても、自分の家に對する希望は誰しも不相應に大きくなるのが普通で、間取りや方向など色々の點に望みが盛んに矛盾するものでありますから、どうしても自身が鉛筆を持つて何分の一と言ふ縮尺の圖を書いて見ないと心持ちが定まりにくい。又定まつた考を持つて居られたとしても建築家や棟梁に口でばかり注文しても其の御考がなかなか明瞭に傳はり兼ねます。專門家に云はしめると素人の書いた圖を、其儘受け入れて設計を立てる譯には多くの場合出來ないそうですが、少く共建築主の書いた圖は其人の考へがハツキリする點に於て確かに有効であります、又それは專門家から新規な計畫を示された時、批判する丈の研究を積む事にもなります。

工事の中途で様々な行違ひから爭が起きる實例を澤山見ますが、之は前申した「御自身で圖を引いて見る」と云ふ事を閑却された様な事から、梁棟との間に理解の相違を來し「押入が付く筈だ」とか「材料は之では困る」とか「いや見積は之で出來て居るとか」甚しきは部屋の大きさ高さ迄問題になつて、結局は工費の追加となる。五割位の追加はザラに起つて居る様です。性質の悪い棟梁になると、初めに安い見積書を出してわざわざ誤解させ、後に手の切れぬ様になつてから追加、追加で詰りは豫定額の倍以上になる様な事さへあります。是等は約定の範圍が不明瞭で素人には書類が判り悪い事から起るのでありますから私共の支配する經營地では平素特に建築主の利益の爲め眞面目な專門家を二人御話相手に置いて居ます。

土地を求め下さつた御方が會社の世話にならず、御自分勝手に棟梁を選ばれた場合でも干渉釜敷い様だが設計を見せて戴き可成不都合のない様心行く迄御注意申し上げ、更に工事中も御本人に代りそれとなく監督させて居ります。是等は結果から見て大變建築主の御氣受けが宜しい様であります。

◇

序でに家の間取りと非常設備の事ですが、是迄坐式と椅子式はどちらがよいか等の御相談を度々御受け致します。處が其都度御本人の底意を逆に伺つて見ると十人十色で、詰り

は其の御意向を尊重した設計が工事完成後最も喜ばれる様ですから、「生活改善の目標は確かに坐式を廢して椅子式に在る」なぞ、新らしい理窟張つた嫌のある意見は申上げぬ方針でやつて居ります、處が特に一「日本家屋の大部分は木造低建築であつて非常設備が乏しいので內部的失火、其他最惡の慘禍例は飛行機からの爆彈投下と云ふ様な場合に備へる設計を相當考慮に容れて、極めて小さな一室でも鐵筋コンクリートで二重扉の密閉にするとか、敵機の襲來に目標とならぬ様可成鼠色の屋根にするとか、色々專門家の意見を徵しては如何です」と是だけを談笑の中にお進め致して居ります。

◇

それから家を建てるのに、易者や家相家なる者に色々設計上の意見を聞かれて、萬有事情の犧牲を拂つて彼等の說を加味される向を數々承知致します。是は實に滑稽の様ですが知識階級に少くないのが不思議で、近來ウツカリ理窟でも云ふものなら大變なお目玉を戴く事があります。そこで私の知つて居る易者等の云ふ最も忌む處の鬼門の說を申上げて見ませう。「東北の方向には鬼の住む石室があり其の前に門がある萬鬼此門に出入する。其所に青い火が燃へて居る。此故に茲に便所、土藏等置くべからず」又「東北隅は木火土金水の中の土に屬する由來土と火とは友としよからず、故に此の部分に水氣あるもの例は便所浴場等を置く事はならぬ、又茲に土藏を作る事は土の上に土を重ねるから土氣が强過ぎることになるから不可」等々。

敷地內には地勢に依て排水し易き位置もあれば易からざる位置もある。又土地には固有なる常風の方向がある。若し家が四角なら四角の隅は四隅の中でも最も溫度の低い處であり、西南の隅は最も溫度の高かるべき所である　室の排列は敷地の狀況及び方位と關係して定められねばならぬ事は申す迄もないが、それは陰陽五行筮竹を以てせば、時に滑稽な考を拂はねばならぬ事となる。

住宅、土地の經營を業とする私共は自然以上申上た様な數々の點に政策上少なからぬ留意をして科學に基礎を置かれぬ氣遣を忘れてはならぬと心がけて居ます。

住宅の衛生的な設計

1　空地を南にとり、家を南向きにして明るく、南北に窓を開けて通風しをよくし、殊にその地方の主風に向いた窓を開放すること。

2　家族の居間を日當りや通風の十分な主要な所に設けること、日本では三尺幅の緣と三尺位の庇の出が適度に日當りを調節してくれる。

3　排水設備を完全にし、床下は全部コンクリートにして床下からの濕氣を防ぐこと。

4　便所は完全に臭氣を防ぎ、黴菌の擴散しないやう、蠅などの湧かぬ様にすること、汲取式では大正式、內務省式、SO 式などあがよい。

5　浴室は小さくとも必ず設けることなどである。（大阪市立都島工業學校　澁谷五郎氏談）

土地經營に於ける分譲住宅地の一現勢

今　井　英　雄

近世の科學文明の進展は世界的に人口の都市集中を促し、產業、貿易、經濟、政治等の各中心都市は景氣不景氣を超越して、日々に刻々に膨脹發展を遂げてゐる。世界的の產業都市たる大阪市に於ては、特に其の傾向顯著にして、最近數年間の統計によれば、我國人口增加全數の約1割にも當る 7—8 萬てふ多數の人々が年々歲々大阪市域に集中し、自然市の周圍部及び郊外地は時々刻々住宅地化せられつつあるの現狀である。

斯く都市人口集中の傾向が景氣を超越して不斷に進展してゐるにも不拘、大阪市を中心とせる所謂分譲式經營の住宅地が其の二三の特種な住宅地を除き、他の多くは其の割合に發展もせず、又一般的な賣行漸減の傾向があるの實狀は一體如何した理由であらうか。

其の原因に付ては多方面から種々なる觀察をするの必要あるが、此處では單に住宅地の需給の二方面から見たる分譲住宅地不振の原因を擧げてみたいと思ふ。

1. 分譲住宅地需要の減少

久しく打續ける經濟界の不況に基き、一般國民所得の激減と地價の一般的低落は分譲宅地への需要が意識的にも、無意識的にも、阻止されつつある事は他の一般商品界に於ける取引不振の現象と同樣である。元來住宅地の購買者には其購買の目的より見て左の三つの型がある樣である。

1 將來の地價値上りを期待し、値上りの際他に轉賣の目的で即ち土地を投機的對照物として是を買ふもの。

2 不動產特に近郊住宅地の所有を安全確實な資產の保全法と考へ、又は貸地、貸家經營が比較的安全有利な投資法と考へ、そうした利殖又は保全の目的で住宅地を購入するもの。

3 自己の住宅、別莊、商店或は工場其他公私の建物を建築の目的で住宅地を買受くるもの。

而して是等三者の一般的に正確な統計的數字は諸種の事情により實際調査計出することは不可能であるが、今或小地域を限り且つ住宅地買受後實際住宅を建設するものと、然らざる買受人との概括的な比率を參考迄に揭出すれば下の通りである。

	大正14年		昭和7年	
	土地投資者	實需者	土地投資者	實需者
市內A住宅地	70%	30%	60%	40%
郊外B住宅地	60%	40%	40%	60%

前表によりて大體住宅地買受目的の變化、即ち住宅地買受層の變轉の一趨勢が觀取されるのである。大正 14 年と最近とは市内及郊外住宅地共土地投資家が夫々減少し、住宅の實需者が夫々比率的に增加してゐる。是の現象は地價の一般的低落に基き、土地投資熱が冷却してゐる事實を證明するものである。

尙住宅地の實需者が投資家に比し、比率的には增加してゐる事は前表の示す通りであるが、絶對的には如何なる傾向にあるかを見るに下表の通り、各郊外住宅地に於て新築住宅戸數の年々漸減の傾向にあるの事實は、明かに分讓土地實需者の減少を示す證左である。

郊外分讓住宅地の家屋建築趨勢表

	大正14年	大正15年	昭和2年	昭和3年	昭和4年	昭和5年	昭和6年
南海沿線（濱寺土地・高師濱・助松）	45戸	30戸	28戸	22戸	31戸	34戸	30戸
阪和沿線（上野芝向工・新町土地）				2	5	7	70
大鐵沿線（矢田・恵我荘・藤井寺・白鳥園）	40	30	50	110	142	91	50
大軌沿線（小阪・長瀬・瓢箪山・石切・生駒）	53	237	170	181	99	88	75
京阪沿線（森小路・香里園・千里山・高槻）	110	109	100	120	112	93	100
阪急沿線（豊根・岡町・豊中・石橋・櫻井・牧落・池田・箕面・翼ヶ丘・仁川・伊丹・甲東園・夙川・甲陽園・西宮北口）	405	274	218	251	182	91	73
阪神沿線（尼崎・甲子園・香櫨園・濱甲子園）	60	105	65	35	23	22	80
合　計	713	785	631	721	594	427	478

是れ連年の深刻なる不況により、都會人の住宅地購買力減退せる大勢的結果である事は前述の通りであるが、又一面大阪市の周圍部に個人經營の貸家住宅が急激に多數新築され、一般都會人は是等住宅を從來に比し、2－3 割程低廉な家賃で極めて經濟的に借受け居住し得ることになり、自然郊外地等に自己の住宅を求めつつありし人々も一時其計畫を中止せる向の可成多數にのぼれる事は見逃し得ない傾向である。

2. 住宅地の供給過剩

大阪市を中心とせる住宅地が、現在供給過剩の狀態にある事に付ては、種々なる觀點がある。

先づ郊外電鐵の運輸機關の整備改善—主としてスピードアツプと運轉隔離時間の短縮—は從來顧みられなかつた地點に迄住宅地地域を增大し、又現に其等地點に於て住宅地計畫が所々に試られてゐる。

次に電鐵線の新設は—新京阪、阪和、參急等—沿線の各停留所を中心として、夫々相當大地域の住宅用地を大阪市民に開放するに至つた。今假りに住宅地發展圈が停留所を中心として 5 丁以内と限定しても、各驛を中心として夫々 280,000 坪の大面積の住宅用地が新たに出現した事になるのである。現に是等新設沿線に分讓住宅地として經營されつつある土地は下表の通りにして、個人所有の貸地或は分讓宅地を計算すれば更に莫大なる面積が

地化の爲に提供され又は用意されてゐるのである。

新京阪沿線　343,000 坪　　阪和沿線　255,000 坪　　參急沿線　166,000 坪

尙最近各電鐵會社が其新設と云はず既設と云はず、凡ての沿線に於て運輸收入其他自社の業績增大を計らんが爲めに、積極的に沿線住宅地の開發に從事するに至つた事はさらでだに過剩せる分讓住宅地に更に一層の拍車をかけし感がある。今是等電鐵會社直營の住宅地を擧ぐれば次の通りである。

阪急電車	(服部•曾根•池町•豊中•稻野•櫻井•箕面•西宮北口•甲東園•池田•東豊中•仁川)	570,000 坪
京阪電車	(千里山•大學前•香水•神崎川•寺田•高槻枚方•香里•牧野)	560,000 坪
阪神電車	(甲子園其他)	300,000 坪
大軌電車	(小阪•長瀬•山本•花園•額田•生駒•あやめ池)	130,000 坪
阪和電車	(上野芝)	55,000 坪
大鐵電車	(矢田•恵我荘•藏井寺•吉市)	200,000 坪
南海電車	(中百舌鳥•西村)	100,000 坪

最後に今日住宅地の供給過剩を招來せし最も注目すべき原因は、大阪市の周圍部に計畫施行された土地區劃整理組合事業である。大阪市が其の必然的な膨脹發展に照應する爲、そして又其膨脹の秩序的な發展を計る爲め都市計畫法に基き、都市計畫地域內の土地に付き交通、保安、保健、衛生等の公共的施設計畫に立脚した宅地造成の土地區劃整理事業を助成奬勵するに至りたるは大正 14 年頃にして施行の當初は一般に其の主旨を理解せず、組合の設立せられし數も甚だ僅少なりしが、其後當局者の勸誘と地元地主の自覺とに相俟ち、昭和 2 年以後此種組合の設立相繼ぎ、今日右組合事業により造成された宅地は下記の通り實に 4,000,000 坪の大地域に達し、現在工事中又は計畫中のものを合すれば其面積 8,500,000 坪餘に及んでゐる。

摘　　要	組合數	面　　積
工事完成のもの	28	4,267,626 坪
工事中のもの	12	3,111,664 坪
計畫中のもの	2	1,187,868 坪

從來市の內外を問はず、住宅地と云へば土地經營業者か又は進步的な大地主に非ずんば何れの地域に於ても、計畫的な宅地造成事業にあたるものがなかつた。然るに此の土地區劃整理組合の設立普及に從ひ、一般地主が協同的な組合を通して政府の低利資金と技術的な援助を得て、比較的容易にそして低廉な費用で統一的に農耕地を住宅地化し得るに至つた爲め、是等多數の地主は一躍住宅地經營者となり、自己所有の造成宅地を或は貸地とし、或は是れに貸家を建て、又は希望者には夫々宅地を分割賣却しつつあるの實狀である。

而して是等土地區劃整理事業により造成せられし宅地は上表の通り、大阪市の人口增加數の所要住居用地以上に年々造成されし爲に、此處に住宅地は相對的にも絕對的にも供給過剩となれる事は明かな事實にして、是れが爲め土地經營を從來專業とせる各土地經營業者の住宅地が年々其賣行減少しつつあるは誠に當然の結果と云はざるを得ない。

小住宅プランの研究（1）

岡田孝男

日本建築協會は最近數度の小住宅懸賞募集をなし優秀なる設計案を數多く得、その一部は既に紀念出版として公表して居るところである。

これ等優秀なる數十案はいづれも延坪 30 坪内外と云ふ條件を附せられて居るから、これを通覽すれば、この程度の小住宅のあらゆる場合が解決されて居て、小住宅に關し現時の關西建築界の目指す所がほゞ明かに分ると思ふ。

小住宅案の募集は

1	生活改善健康住宅	昭和6年6月
2	メートル法による小住宅	昭和7年4月
3	綠ケ丘保健住宅	昭和7年8月
4	大美野田園都市住宅	同　上
5	實際に建つ住宅	同　上
6	阪和上ノ芝住宅	昭和8年1月

その他數度あつたが、本文を草するにあたり引用したのは以上の6設計競技の應募案中の40案である。

設計競技に當選した案は、應募者の優秀な技術に負ふ所は勿論であるが、これを選んだ審査員の理解力にまつこと亦多大である。如何に優れた設計案があつても、審査員にしてこれを理解することが出來なければ、當選することがなく、從つて公表もされずに暗から暗にほうむられることになる。世に云ふ千里の馬もこれを買ふ伯樂がなければ、遂に名を博することが出來ないと同樣である。千數百の應募案中には、或は非常に優れて居ながら審査員の眼にとまらず、無慘に落ちて世に出ないものが無いとは云へない。こうなると審査員たるもの甚だ責任が重いわけである。

こゝに引用した 40 案を審査した人々は次の諸氏である。

池田　實	石本喜久治	石川純一郎	今林彦太郎	岡田　孝男
小川安一郎	片岡　安	葛野壯一郎	加藤　源次	古宇田　實
酒井勇三郎	清水　榮二	濕谷　五郎	新名　種夫	武田　五一
瀧澤　眞弓	高橋　榮治	竹腰　健造	坪井　誠一	鳥井　信
中西　六郎	波江　悌夫	永澤　毅一	長谷部銳吉	日高　胖

古塚　正治　　藤井　厚二　　富士岡重一　　本間　乙彦　　松井貴太郎
松井清之助　　松本　儀八　　南　　信　　村野　藤吾　　本野　精吾
安井　武雄

の36氏である。これ等諸氏の選び出した案であるから、こゝに掲げた40案のうちのあるものは諸氏が責任を以つて推されたと云ふことになる。否ある意味に於ては審査員の提案ともみなすことが出來るから、この多數の審査員の推すものは、最近に於ける關西建築界の小住宅に對する答案とも見られるであらう。

以下これ等 40 案について種々の問題を歸納的に研究し、小住宅設計にあたつての一つの標準を作りたいと心掛ける次第である。

住宅の設計であるからには敷地を假定しなければならぬ。この敷地は道路に面するのであるが、その道路が北にあるか、南にあるかによつて先づ門の位置がきまり、從つて玄關の位置がきまる。小住宅に於ける玄關の位置は全體の室配置を支配するものであるから、道路と敷地の關係はきはめて重要である。……大きな敷地に建つ大住宅ではさまで重要でないが小住宅では直ちに室の配置に影響する……。

敷地と道路の關係には 10 の場合が想定される。即ち東西南北の何れか一方に道路を有する場合と、角屋敷で、東と北、西と南と云ふ様に直角な二方の道を有する場合と及、南と北、東と西と云ふ様に平行の二道路に面する場合である。

小住宅を計劃する郊外住宅地等にあつては、北又は南に道のある場合が最も多く、次は角屋敷で、東又は西の一方道路の敷地は比較的少ない。これは夏と冬に於ける日射の關係上、南側に庭を取るを最もよしとするので、土地區劃の際、南北に長く東西に短かい區劃とし、この敷地を脊中合せとして、北又は南に道をつけるからである。この場合住宅のプランに最も都合のよいのは北に道を持つ敷地である。

敷地のどちらに道路があるかによつて、小住宅では玄關の位置がきまる。玄關の位置は住宅の室配置の根本をなすもので、配置の大勢は玄關の位置によつて既にきまるものである。玄關の位置は道路によつて

1 北に道ある時

玄關は西寄りか又は東寄りにつける。西寄りは乾入口となり家相上にも最も都合がよい。これを A タイプとする。東寄りは鬼門にあたるので、あまり東の方へはつけない、寧ろ北入りとなる。これを B タイプとする。

2 東に道ある時

玄關は東の中央部につける。これを C タイプとする。北寄とすれば鬼門入となるので寧ろ北東の隅を廻り北入として B タイプとすることがある。南寄りとすれば

巽入となり家相上も都合がよいが、東南隅に室を取りたい關係上寧ろ南東隅を南に廻つて南南東入即ち D タイプとすることがある。

3 南に道のある時

玄關は東寄りにつけるか又は西寄りにつける。南の中央につけることは稀である。東寄のものを D タイプ、西寄のものを E タイプとする。但し E タイプは裏鬼門にあたり嫌ふ風習があるから西南の角を廻つて寧ろ西入即ち F タイプとすることがある。

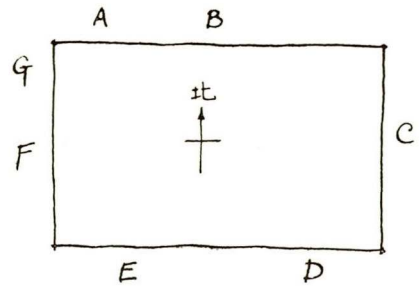
4 西に道のある時

北寄りにつけるのが最もよい。乾入となる。西の中央から入るものはよいが、南寄りとなると裏鬼門入となるから西南の角を廻つて南南西入即ち E タイプとすることが多い。

西の中央入を F タイプ、西の北寄入を G タイプとする。

即ち以上に書いたあらゆる場合を圖解すると第一圖の様になる。

第 1 圖



A タイプ	北北西入	B タイプ	北入
C 〃	東入	D 〃	南南東入
E 〃	南南西入	F 〃	西入
G 〃	西北西入		

これ等のタイプのうち室配置の最も都合よきは A, B, F, G の 4 タイプであり C, D, E タイプは劣るようである……Dタイプは大住宅に都合がよい……。

これは原則として北側に女中室、台所、浴室、W.C. 等。作業部室を取り、南側に居間茶の間、子供室等居間部を取り、玄關、ホール、廊下等でこの間を連絡するのであるが、この原則を實行するには北の方面に玄關を取るのが最も都合がよいからである。今 40 案のうちこれを玄關の位置により分類すると

A タイプ	2	4	6	29	30	38	39			
B タイプ	5	15	18	20	24	25	27	33	34	37

C タイプ　12　17

D タイプ　1　23　31

E タイプ　3　21　36

F タイプ　8　9　14　22　26　28　32　35　40

G タイプ　7　10　11　13　16　19

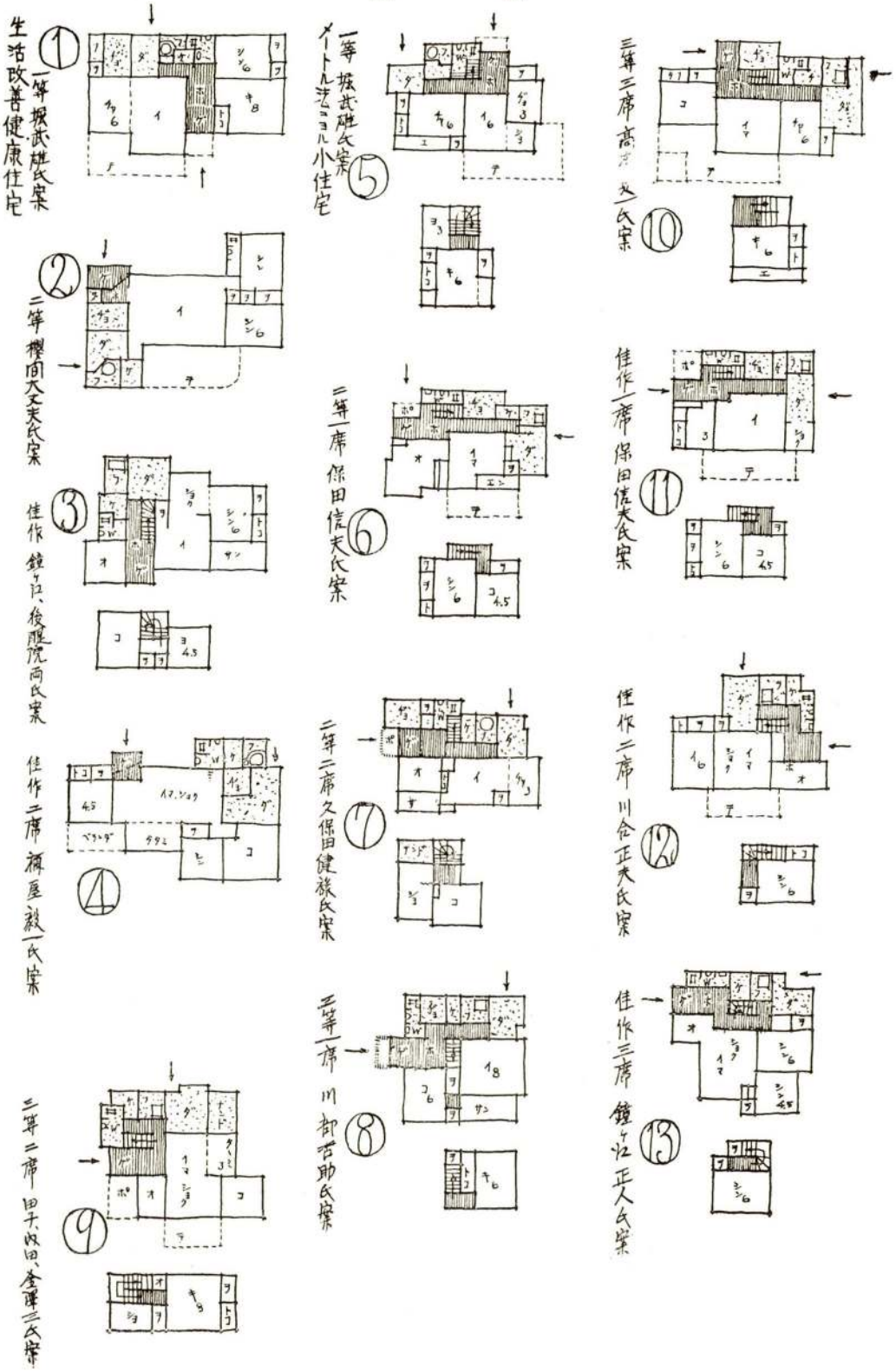
となる。

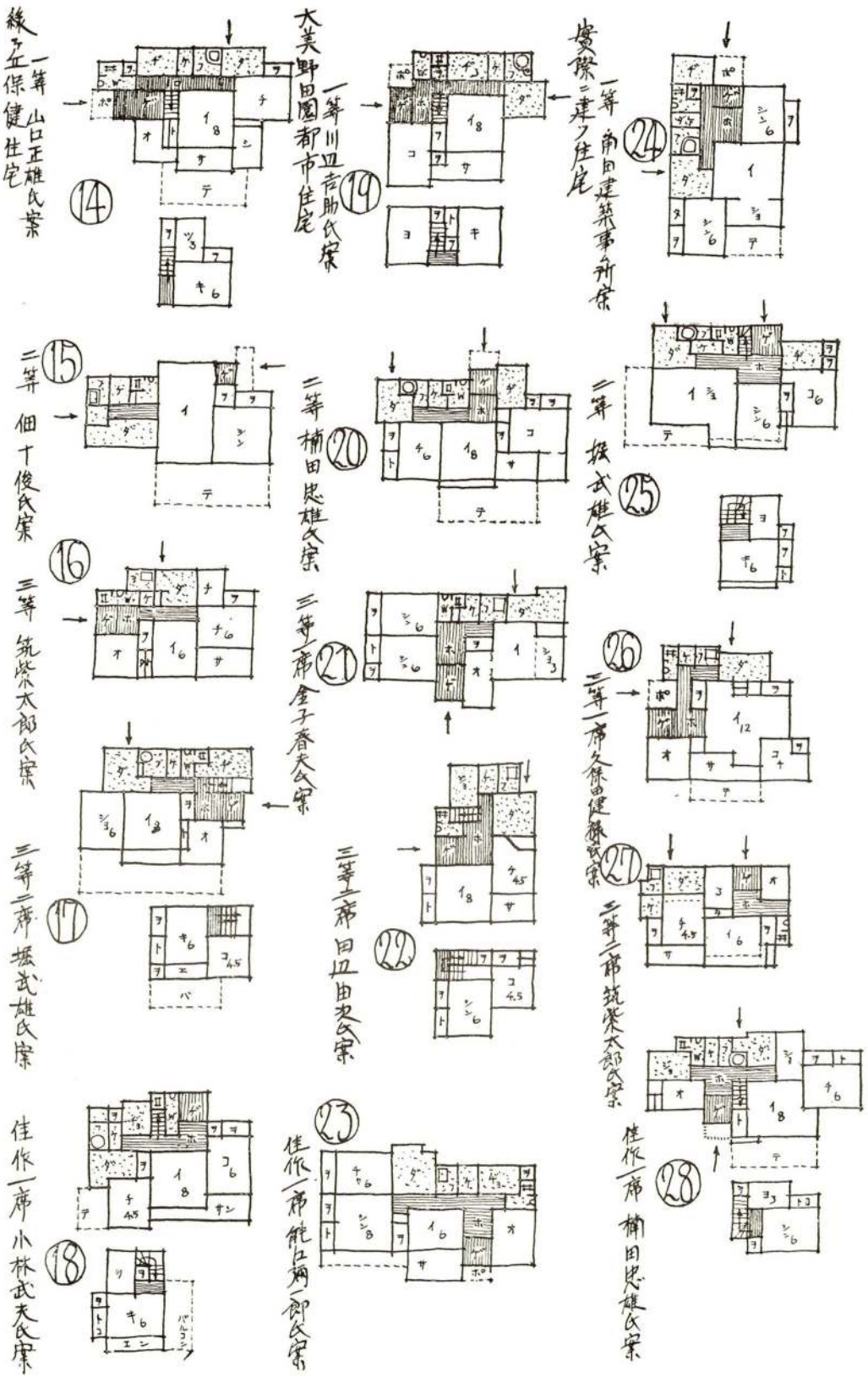
小住宅に於ては玄關の位置が定まれば、その各室の配列は必然的にきまると前に述べたが、今この A, B, C, D, E, F, G の 7 タイプにつき室の配置を吟味するとそこに必然的な配列を見出すことが出來る。

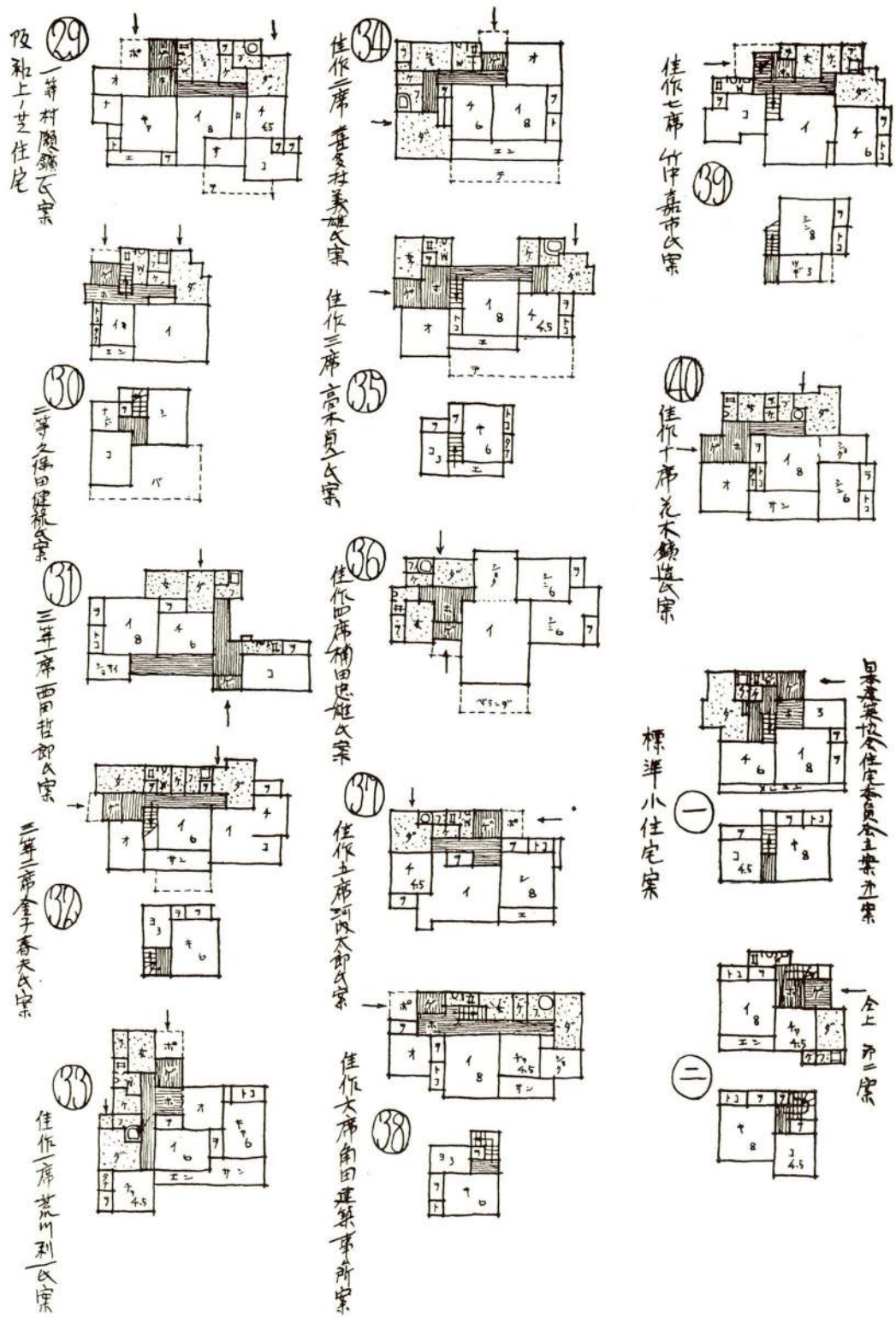
A, F, G, の 3 タイプに於ては、西及西北部に玄關がつくから、玄關をもととして右廻りに W.C. 女中室、化粧室、浴室、台所と作業室部が北側へならび、居室部は玄關をもととして左廻りに應接室、居間、茶の間と南側にならび、左廻りの終點台所と右廻りの終點茶の間とが連結する。そして玄關ホール、廊下がこの中間を走り台所と茶の間に終る。これが A, F, G, タイプの常石的配置である。試みに 6. 29. 30. 38. 39 の如き A タイプのものを見ても 8. 9 より 40 にいたる F タイプのものも、7. 10 より 19 にいたる G タイプのものを見てもいづれもこの配列法を採つて居るのである。ただ、玄關より、W.C. 女中室、化粧室、浴室、台所の順序が或は女中室、W.C. 化粧室と云ふ風に女中室と W.C. が先後することはあるが、上述の配置は確決的のものである。なほこのタイプの一つの變化として北側の作業室部を西か東に片寄せておき南側の居室部が北側へつきぬけたものがある。例へば 4 の如く居間兼食堂が北へつきぬけて作業部室を東北の隅にかたづけたものもあるし又 35 の如く作業部を西と東に分け、北側へ椽をとつたものもある。これは夏になつて南北の涼風ある所では賞揚すべきプランである。A, F, G のタイプは南側と北側に室を並べ便利ではあるが南北の風通しが悪く且つ家がまとまりすぎて窮屈の感があるが 4 や 35 の如き變化をつければ不便ではあるがのびのびした感を得るであらう。別莊などでは後者の方がよいと思ふ。

B 及 C の 2 タイプに於ては北及東に玄關を持つから玄關より左廻りに W.C. 女中室、化粧室、浴室、台所と作業室部が北側にならび、居室部は玄關より右廻りに應接室居間、茶の間と南側にならぶ、丁度 A, F, G タイプと逆の廻り方の配置をとるのである。これが B 及 C タイプの常石的配置である。B タイプのうちで入口がやや西寄となり A タイプに近い樣な玄關を持ちながらこの作業部左廻りの常石に從つたものがある。例へば 33 の如きものであるが、これは西側に作業室部がならぶからよくない。C タイプのうちで作業室部を北と東南に分けたものがある。例へば日本建築協會住宅委員會立案の第二案の如きものであるがこれは配置がよくないと思ふ。

第 2 團


①
一等 坂武雄氏案
生活改善健康住宅
②
二等 櫻間文夫氏案
③
佳作 鐘ヶ江、後藤両氏案
④
佳作二席 福屋敏一氏案
⑤
一等 坂武雄氏案
メートル法ヨル小住宅
⑥
二等一席 保田信夫氏案
⑦
二等二席 久保田健祓氏案
⑧
二等一席 川部吉助氏案
⑨
二等二席 田辺、保田、金澤三氏案
⑩
三等三席 高 久一氏案
⑪
佳作一席 保田信夫氏案
⑫
佳作二席 川合正夫氏案
⑬
佳作三席 鐘ヶ江正人氏案


(14) 一等 山口正雄氏案 綾ヶ丘保健住宅
(19) 一等 川辺吉助氏案 大美野田園都市住宅
(24) 一等 前田建築事務所案 要塞ニ建ツ住宅
(15) 二等 佃十俊氏案
(20) 二等 楠田忠雄氏案
(25) 二等 板武雄氏案
(16) 三等 筑紫太郎氏案
(21) 三等一席 金子春夫氏案
(26) 二等一席 久保田建築氏案
(17) 三等二席 堀武雄氏案
(22) 三等二席 田辺由次氏案
(27) 三等二席 筑紫太郎氏案
(23) 佳作一席 能仁岡一郎氏案
(28) 佳作一席 楠田忠雄氏案
(18) 佳作一席 小林武夫氏案


(29)
一等村屋鏑氏案
阪和上ノ芝住宅
(30)
二等久保田建筑氏案
(31)
三等一席西田哲郎氏案
(32)
三等二席金子春夫氏案
(33)
佳作一席荒川利一氏案
(34)
佳作二席喜多村義雄氏案
(35)
佳作三席高木良一氏案
(36)
佳作四席補田忠雄氏案
(37)
佳作五席河波太郎氏案
(38)
佳作六席角田建築事所案
(39)
佳作七席竹中嘉市氏案
(40)
佳作十席花木鏡造氏案
日本建築協会住宅委員会主案
標準小住宅案
(一)
(二)
仝上 第二案

D タイプは東南部に玄關を持つので家相上からは異入りとして賞揚されるところである。この配置は玄關より右に應接室又は子供室の如き居室部の一部を持ち、更に左に居間茶の間が南側へならぶ。即ち居室部を玄關と廊下で中斷して北側に作業部の W.C.女中室、化粧室、浴室、台所などが左廻りに配置され作業部の終りと居室部の終りがつながる様になる。小住宅に於ては日當の條件のよい南側に玄關などをつけるのは不得策であるし又居室部を玄關や廊下で中斷するのは使用上不便なことが多いがまた一面騒がしい居室部から離れて靜かな應接室なり書齋がとれるし、また子供室をその方へ持ち行くの便があるから一概には捨てがたい。なほこのタイプは東側に道のある場合に都合がよい、南側のみに道がある場合は、門から台所へ行くのに南東の角を大廻りせねばならぬからである。

E タイプは西南部に玄關を持ち室の配置は丁度 D タイプの逆を行くことになる。玄關で居室部を中斷し、作業部は右廻りに配置され居室部は左廻りに配置される。居室部を玄關で中斷することの利害は D タイプと同じことであるが東南の方向に主要居室を取ることが出來る點では D タイプに優る。但し玄關が裏鬼門にありとして嫌がられることがあるからその方の注意を要する。3.21.36 はこれに屬する。

以上の如く、30 坪前後の小住宅にあつては室の廣さも數もほぼ一定して居るからそのプランの優劣はただ室の配置如何によるし、又その配置には動かすことの出來ない定則があることを見出したが今一應室配置を別な方面から述べて見たい。

筆者は 30 坪前後の小住宅のプランを論ずるにあたり、その各室を次の三部分に分つことを便利と考へる。

イ、居 室 部　　居間、茶ノ間、寢室、子供室、サンルーム、應接室

ロ、作業室部　　便所、化粧室、浴室、台所、女中室

ハ、通路室部　　玄關、廣間、廊下、階段

この分類については、大住宅では以上の他に客室部、使用人室部、格納室部等が對立的に分類されるのが定則であるが小住宅にては客室部の應接室であつても、家族の人が通常使用して或は書齋と兼ね、或は居間と兼ねて居る場合が多いからこれは居室部の方へ入れられるし、又使用人室部としてもせいぜい女中室が一室であるから、これを作業室部の方へ入れる。格納室部は倉庫はないから押入は各所屬の室の部へ入れればよい。結局上記の三部に分けた方がよいと思ふ。

居室部は云ふ迄もなく最も重要な部分であるから原則として南側に配置せねばならぬ。

作業部は原則として北側に配置する。

通路室部は家に出入するに通る室で且つ居室部間の連絡、作業室間の連絡及居室、作業室相互間の連絡にあたるものであるからこの中間におく。

この居室部、作業室部、通路室部の相互間の關係を見ると（引用プラン參照すること、

圖中ハツチせるは通路室部、點點を打つは作業室部）

I　居室部と作業室部の間に通路室部あるもの

作業室右廻り居室左廻り配置……A, F, G, タイプ

作業室左廻り居室右廻り配置……B, C, タイプ

II　通路室部が居室部を中斷せるもの

作業室右廻り居室部左廻り……E タイプ

作業室左廻り居室部右廻り……D タイプ

III 通路室部が作業室部を中斷せるもの

IV　居室部が作業室部を中斷せるもの

V　居室部が通路室部を中斷せるもの

I の居室部と作業室部の間に通路あるものは最も便利なプランである。そのうちに左廻りと右廻りの相違はあるが通路部は最もよく役立ち小住宅に最も適當するから優秀なプランが多い。40案中の大半がこれである。

II の通路部が居室部を中斷せるものは1についで便利であるが、これは小住宅よりも寧ろ中住宅、大住宅に適する配置樣式である。便不便は D タイプ及 E タイプのところを參照されたい。

III の通路室部で作業室部を中斷せるものは甚だ便利が惡い。39, 35 及日建住宅委員會立案の第二案の如く玄關の左右に作業室の分れて居るものは甚だ使ひ勝手が惡く優秀なプランにはこの配置はない。當選案にこれが稀であるところから見ても劣ることが分る。

IV の居室部が作業室部を中斷せるもの及 V の居室部が通路部を中斷せるものは、普通ならば通路室部で連絡すべきところを、居室部が擴張して、通路室部の部分まで居室部に取り込んだものと解釋される。從つて當然通路部の面積は少ない。そして當然居間の一部が通路となるのである。大きな洋室の場合はよいが日本室では通行の人の氣はいを敏感に感ずるから不便である。ただ別莊などはかえつて面白からう。作業室中斷の例としては2、通路部中斷の例としては15があげられる。これ等は不便ではあるが小住宅では別の意味に於て捨てがたい配置である。

以上の如く居室部、作業部、通路室部の三部に分けてその組み合せ狀態を吟味すれば、小住宅に於ける室配置の優劣はたちどころに分明となるであらう。この際作業部に於て化粧室と浴室、浴室と臺所は離すべからざる關係にあり、又居室部の茶の間と作業室部の臺所とは必ず隣り合せることを忘れてはならない。

なほ小住宅のプランに關しては種々の方面から研究されねばならぬ。ここに以上述べたるはただその室の配置方法のみに關してであるが、なほ各室間の面積の比較、各室についての詳細の研究等から引出す結論があるから以下順を追ふて書くことにしたい。（つづく）



寫眞は座談會出席の方　（向つて左から今井・篠崎・中村・福田・（一人おいて）松本・池田・森本・西村・阿倍・篠原・高橋堀田・清水の諸氏）

住宅及土地經營に關する座談會

安倍親雄氏　今井英雄氏　篠原正雄氏　篠崎兼二氏
清水榮治氏　西村辰次郎氏　福田坦夫氏　松本儀八氏
森本喜太郎氏　（出席者五十音順）

池田實　高橋榮治　中村義雄　堀田獻次郎
鷹取陽

4月號の「住宅」に關する特輯にあたつて、所謂土地住宅經營者の觀たる住宅の意見を伺ふことにした、ところで3月16日天滿橋野田屋に會同を願つて座談會を催した。當日出席された方々は土地乃至住宅經營の權威者でこれ等の御意見は關西に於いて代表せられたる意見と見做していいわけである。

談は次の項目の順で進んだが時間の都合で全部を盡すことが出來なかつたのは遺憾であつたが、これは次の機會に讓ることにした。

1. 經營者の觀た住宅の傾向
2. 土地及住宅經營に立脚せる最も理想的住宅
3. 過去の實際に徵して最も賣れ易き住宅
4. 郊外中流住宅としての附帶設備に就て
5. 住宅地經營上住宅以外の建築或は施設の必要なる程度
6. 土地のみ賣却する場合と土地及家屋共に賣却する場合との賣行成績
7. 住宅の賣却方法に就て

池田―一寸御挨拶申上げます、今夕は御多忙の處未だ春寒と申しますかお寒いのに拘りませず御差繰下さいまして斯く多數お集り下さいましたことを厚くお禮申上げます。實は我日本建築協會は「建築と社會」といふ雜誌を毎月發行致して居ります、その4月號に特輯號として住宅に關するものを發行する計畫を持つて居ります、從來兎角餘りに學術的の方面に重きを置かれたのでありますが、その雜誌の名の示すが如く建築と社會との接觸を將來益々密接にして行きたいといふ考から致しまして、今日は住宅及土地經營に關する座談會を催しまして、實際に於て又その御造詣の深い方々のお話を拜聽しまして世間に發表することは非常に有益なことだらうと考へます、どうか御腹藏なくお話合ひになりまして御高見を拜聽することを得ましたならば誠に幸福な次第であります、座談會を進めて行きますことについて、擔任の高橋常務にお願して種々と順序立つてお話を進めたいと考へます、簡單でありますがお願旁々お挨拶を申上げます。

高橋―今度の雜誌は特輯として住宅號を出す計畫であります、從來も毎年住宅に關する特輯號を恒例にして居ります、時に年二回出したこともあります、主としてそれに載りましたものは建築家の住宅建築が主でありました、もうその材料は殆ど書き盡されたやうな感がありました、今度は一つ方面を變へて住宅經營をされて居る方或は土地の經營に關係の深い方のお話を聞かしていたゞくと吾々建築家の方にも仲々參考になるであらうと考へまして本日はお忙しい處を御依頼しました樣な次第であります、大體項目を茲に少しく書上げて見ましたですが、必ずしもこの順序に進むかどうか、その場の空氣と時間の都合による事でありますが、大體かういふ風な內容のことについてお腹藏のない御高見なり御經驗なり或は御感想なりをお伺ひしたいと思つて居ります、先づ第一の住宅の傾向といふのが擧げてあります、これは甚だ曖昧な書き方でありますが意味はこういふことであります。社會が住宅といふものに對する要求の變化を指したことゝ御了解願ます。十年前に社會はどういふ風な住宅を要求して居つたか、それが現今は斯ういふ風に變つて居る、將來或はかういふ風に變るんぢやないかといふ風なことを考へて見たいと思つて居りますことであります。先づ最初この項目についてお話を願ひたいと思ひます。建築協會は懸賞募集を屢々やつて居るのでありますが、それが櫻ケ丘で住宅博をやつた時と懸賞募集をしたものと現今のと比較して見ると大變變つて來て居る、それは矢張り社會の要求する處から來て居るものが一番大きい原因ぢやなからうかと考へます。

篠原―住宅は生活の要具であるといふ丈、生活の要件が變つて來れば自然その要具も變つて行かなければならないのが割合に變らぬ爲に、他のものに比較して幼稚な樣な嫌が見えます。私の方の經營地としては兩三年前に上の芝向ケ丘といふのに約 4―5 萬坪を初めまして、それ以來どういふのを好まれるかと申しますと、私は經營者といふ立場からして成可く自分の意見を立てないでその人の考へを簡單に圖にして貰ふことにしてそれによつて設計もしてやる、何かのお世話もして居るのであるが、結果から見ると非常に喜ばれて

居ります。

松本—私は一經營地に於ける住宅層といふのこはなくしてもう少し廣く種々な場合に私共が取扱つた範圍を眺めて見たのです。而も大體 150 圓見當、先づ 140 圓から 170 圓位までの程度のものをずつと統計に現はして見ました。坪數は區々でありますがこの程度では 20坪から 60—70 坪位の見當であります。(洋風建と和風建と)外觀から洋風の外觀を持つたものと和風の外觀を持つたものと之を % にして見ますといふと、この程度の家に於きましては洋風構の家は 56% となり和風構の家は 44%、つまり 6 分と 4 分といふことになります、更らにこの內容の方から見ますと、內外共純洋風といふ樣な家は私共の手にかけました家の內では一軒もなかつた、但し今申します樣な程度の家では洋風構であつて椅子式を主としてそれに若干疊の室を加へた程度のものが多いのです、それがこの次にお話申上げやうといふ外觀は和風であつて內部に若干の洋室を取つたものに對照しまして 13% になつて、外觀は和風であつて中は疊萬能といふ樣なのと、それから疊を持つて居て椅子の室を附加へたといふのと二つを % にして見ますと 33 と 54 とになり、之を前者の椅子式に以つて行つて疊の室を附加へたといふ 13% に比しますと 87% となります、つまり先づ一般中流階級に於ける今日の好みの流れの一端として、外觀は洋風であつて內部は和風のものが最も多かつたといふ樣な統計になつて居ります、大體之は 1 年半程の間に關係しました數多くの家に付ての統計の現はれでありますから大體この階級の方々の好みの流れを伺ふ事が出來はせんかと思ひます。

清水—私は建築家ですが最近住宅會社に關係いたしましてまだ日が淺いので經驗も極く淺い譯であります。私共のやつて居るのはつまり月賦の住宅です、借家住をして居るのはつまらないが一度に出す金もないから月賦で拂ひ乍ら自分の家にしやうといふ譯のものです、家は大體今松本さんの仰有つた樣な 150 圓程度、坪數は矢張り 20 坪前後から 50—60 坪までのものです、私が建築家の立場から見ますと、その家を建てる人は家に對して全然無定見であります、從つて建築業者として或程度までの忠言が是非必要だらうと思ふ、これは純然たる營利會社の立場を離れて考へて見て、これ等の人を、突込んでよく指導しなければならないと思ふ。尤もこれまで二三度も自分の家を建てたといふ人は無定見ではなく、大いに意見のある人もあるがこれも適當に指導しなければ變なことになり易い、だが月賦の方にはこの種の人は來ない。

篠原—私の方ではつまり家主が自由の心持を示して貰ふ爲に先づ圖面を書いて貰ひます處が專門家に見せるとなかなかその通りに設計が出來ぬことがありますけれども、結局、營業をするといふ點から見ますと、その人の意志を尊重した方が一番いゝ樣に思ふのです。從來世間では惡い棟領などになりますと、初めから不備な設計書を示してそれで建築に着

手してもう手の引けぬ様になつてしまつて後で追加々々でやられるらしいです。それで甚だ困るので私共の會社のお世話にならぬといふお方であつても無理に設計書を見せて貰ひます、さうしてこれはかういふ風になりますが、あゝ云ふ風になりますがといふので御注意を申上げる、後でなるべく不足の出ない様に、さうして現場でもお頼みを受けなくても勝手にこちらで技術家に監督をさせて居るのです、さうすると何日か日が經過して來ますと大變會社がよく監督して呉れるからこれは結構だといふので喜ばれて居るといふ實例もあるんです。

清水—最近雜誌等が書き立てる結果か知らんが世間の人は住宅に趣味を持つて居る、さうして小さな家に馬鹿に盛澤山な內容を要求する、私も以前に役所に勤めて居る時に低利資金を借りて九人許で家を建てましたが皆暇があると雜誌や本等を見て自分の思ふやうに建てられた家が今になつて持あぐんで居る、結局無理なことをやり過ぎたからです。

西村—流れといふことについてですが大體一寸私の店丈で見ると、尤も私共はあめりか屋といつてやつて居ります關係か、日本家は殆ど來ない、去年種々物價の安い時には、今まで薄暗い家に住んで居つた、南海沿線邊りの人で、行つて見ると上り框に腰掛けで話をする様な極く眞面目に金を殘したやうな人が多かつた、それで明るい家といふので外觀は洋式で、內部は疊敷は唯一室位椅子の應接室があるものが多かつた。處が去年の暮インフレーション景氣で新らしい人が金をすばんと握つた、さうすると南海沿線の方は少くなつて來て阪神沿線に仕事が多くなつて來る、さうすると洋館の方が多いです、五割以上は純洋式です、現に引續きすつとやつて居りますが。だから建築主の流れといふものを見ると非常に面白いものと思ふ。

高橋—次に皆様が住宅を建てて賣られる場合に、どういつた風な家が最も賣れ安いかといふことについてお話を進めて頂きたいと思ひます、細目について、地價との關係だとか平面はどういふ種類のものか、工費或は設備等と擧げて見ました。これは建築家の方には經驗が少く、皆様の方に非常に關係の深いことで御經驗の非常におありのことゝ思ひます。

松本—これは場所によつて違ひますね、都會を中心とした處と、幾らか離れて居る處とそれから惠まれた周圍の環境を持つて居る處等と種々の條件で異ります。まア私共の經營地で賣れるのは矢つ張り 200 圓以下 140—150 圓といふのが最も多いのであります、然して大きさも自然に今日まで種々なのをやつて見たんでありますが、矢張り自ら決つて來るやうです。

松本氏より一人づゝ順次に話を進めやうといふ提案あつて皆賛成す。

安倍—私の方は大體電車の沿線の開發といふことが主な目的になつて居りますから一般の住宅會社の經營とは又多少變つた點もあると思ひます、今やつて居ります經營地は十何ケ所ありまして、その場所々々によつて環境或は地理が皆變つて居ります、私共の方では

成可く早く住つて貰ふといふ考から各經營地に 20 戸或は 30 戸の家をその内に建てて居る譯で、賣れる度に新らしく建築して居ります、又どの位の所が一番賣易いかと申しまするとと、地價の高低によつてその建築費も大分變つて來ますが私共大體地價の約 3 倍に當る家を建てるといふことを標準として居ります。例へば西宮邊りでやつて居る土地は坪 30 圓です、さうしますと約 120 坪で 3,000 圓から 3,500 圓位の土地代金、それに對して 3 倍の約 1 萬圓近い建物を造る、つまり土地と家で一萬二三千圓位です、この程度のものが一番賣りよくはないかと思つて居ります、今そんな計算から考へて建築の費用も大體坪當り疊建具附 90 圓、120 圓、150 圓の 3 種類をその土地土地の様子に當はめて建てゝ居りますが成績は可成いゝ様に思ふんであります。

西村—今坪當りといはれましたがそれは 6 尺坪ですか。

安倍—私のは 6 尺 3 寸坪です。

福田—私のも 6 尺 3 寸坪です、關西の方は一般に 6 尺坪の觀念は少ない様ですが。

西村—これは最も困ることで御座いますから兩方で示して居ります。然し最近私共 6 尺坪を強く云ふのは建築協會の博覽會が大抵 6 尺坪でやつて呉れましたから、かういふ風に決まりましたといつて 6 尺延坪のを上げてゐます建築協會に權威を持たせて。大いに私はそれが爲に協會の御蔭で助かつて居るんです、私共は 6 尺 5 寸平均で割つて行きますから 1 割 7 分位違つて來ます。

今井—これは私の方の生みの親の博覽會をやつて頂いた時に大變高島屋で 6 尺を主張して頂きまして有難かつたんですが、6 尺 3 寸であれば丁度 100 圓が 6 尺であれば 90 圓といふ様な單價になつて安い様に思はれます、又加ふるに安いといふ點についてはなかなか博覽會は好評を博したやうです、私の方は大分あつちこつちに住宅、土地を經營して同時に家を賣るといふのをやつて居ります、一番初めに牧落に十年位前からやつて居りますがこれは現在では殆ど賣盡してしまいました戸數は約 180 戸、その内私の方で建てました家が 120 軒位ありますです、その賣れ易い傾向について申上げますと、先づ第一値段の點であります。十年位前の時は大變建築費が高かつた時代ですが疊建具附 130—150 圓位で殆ど劃一的に年々 10 戸乃至 15—16 戸建てたました、幸に 1 戸も殘らずに牧落のは賣れました、その内で洋風が僅か 20 戸位です、後の 100 戸は皆和風でありました、最近私共の經營致しました大美野の方では一番最初に經營に着手したと同時に 10 戸賣上げました、それは洋風 5 戸と和風 5 戸を一緒に建てたんでありますが、實際賣行は洋風の方が悪く 2 戸賣殘りましたが、和風はもうすぐ建てつゝある時に殆んど賣却濟になりました。2 階建と平家建とを比較して見ますと牧落の方では殆ど 2 階建ばかり建てました、而して間數は 6 室、2 階が 2 間、下が玄關を除いて 4 間、平家は僅か 2—3 戸しかなかつたんですが、大美野に於きまして平家建を多く建てましたがこれは案外賣行がいゝ様に思ます、次に此昨秋建築協會主催の下に行はれました住宅博覽會の經驗を考へて見ますと、先づ賣價の點

から云ひますと、この頃は購買力が減退して安ければ賣れるといふ人が多くありますけれどもあそこではさうばかりでもない様に思へます、會期中に賣れた家の土地と建物との値段は平均丁度4,900圓でありました、而して會期中賣殘つた家の賣價は平均4,500です、つまり300圓丈賣殘つた家が値段が安いんです、併も賣殘の内へ私の方で特に建てました7,000圓もするのを込めて居りますから之を差引くといふと更に200圓賣殘つた家の値段が安くなつて參りますから結局600圓位平均安い家の方が賣殘つた譯です、それから間數について申上げますと今度の博覽會で賣れた家は矢張り6室以上といふ家の方がよく賣れまして、それ以下のものは賣殘つた傾向にあるんです、賣れた家の平均の室數は5·36で、賣殘つた家は平均5室以下です、これはつまり今松本さんが先に申されました通りに經營地の場所によりましてお客さんの階級なり種々違ふ譯ですから一概には申されませぬけれども、大體郊外住宅地に來られるといふ様な方は中産階級以上で家内も5人位以上あるお方が殆どだらうと思ふんですから、かういふ點を考へる必要があらうと思ひます、而して地價との關係ですが、大美野に於きましては大體12—13圓といふ處ですから、家は坪100圓前後で、二三千圓、まア土地建物共5,000圓前後の家が比較的よく賣れます。

篠原—私の方は統計の出來たものは別にありませんですがね、只方針丈お話申上げます、坪數は大體東京坪を標準にして居りますけれども、都合によつては6尺3寸のものもあるです、まア私の方の沿線に來る人はさう餘り金持も少いと見えまして餘り立派なものも建たない様です。大體標準をとつて見ますと東京坪、そして概して土地の價格の2倍乃至3倍位の價格の家が一番多いです。

篠崎—私は茲で實際經驗といふことを申上げるのに何も過去を持ちませぬ、併し皆様の御經驗になつたことを第三者として種々拜聽さして頂かうとて出て參りました、先刻からの御話も結論が各違つて來るんですから、どうも原則的に且單一的に決まるといふことは實際上出來ないものだらうと考へて居ります。それから先程お話の建築費の坪當り單價の話題でありますが、これは結果から云つても專門家同志の間の取扱方であるんで、實際は總金額幾らの土地建物がお客さんに對する購買力の關係上標準になるんだと思ひます。それから坪數の標準の問題は私は甚だ古臭い様ですけれども矢張り關西は6尺5寸間を以て標準にして頂きたい、それは規格の統一も出來て居ないし又實際から考へて見ても6尺5寸によつてそれを標準にして建るんですから、それを6尺間として單價を引下げて表示するといふことは成程今日まで問題は起つて居らぬだらうと思ひますけれども、實際に當つて見ると6尺3寸の疊が入つて居ると思つて當つて見ると表示してある數字は本間の坪數になつて居る、その間に1割7分の開きがあるといふ様な一面規格統一の喧ましく云はれる時に、商取引の表示が二様に出て居るといふことは之は餘程考へ物ぢやなからうか5尺8寸の疊が入つて居つてもそれは成程それでいゝと思ひますが、實際關東の8疊は關西の6疊に必敵する位の利用坪數を持つて居るといふ様な觀念があるんで、矢張りどうも實際が

さういふ風に大きい建物なら單價の表示も大きくなつた方が簡單に判つていゝんぢやないか、尤も商略上單價を下げるといふ必要に迫られて居る營業上にも關係があるだらうと思ひます。もう一つプランであるとか樣式であるとか云ふことは大體施主の方には餘り大した考はないんだから極く無難であるといふことが云はれる、從來の日本建築は無難である、この單調を破つて行かうといふのは之をリードされる建築家の方々がおやりになつて居るんであつて、丁度呉服反物の流行を矢張り織元がやつて居るといふ樣な意味と同じやうな意味合で、今年はかういふ色が流行るといへば御婦人が矢張りそれを喜ばれると同じことであつて、どうも專門家がこの頃はかういふ傾向があるんだと二三追隨なさるとさうかと思つてやるんぢやないかと私は考へます、從つてどうも外部が洋風であつて內部が和洋折衷になつて居る、外部が洋式といふことは一般に受けられるんぢやないか、さういふことをおやりになることが建築家の御趣好上の御都合か乃至は御營業上の利益採算の關係上或程度までさういふ風な誘導方針が自然に決められるのであつて、果して保存上或は住つて居る人間の趣好上或は便宜の上から云つてそれが永續するものかどうか私は一考に値するものと考へて居ります。それから近來どうも非常に建築が進んで來まして大變能率の高いプランが非常に進んで來た樣に思ひますが、これは一面非常に結構ではありますけれども私はもう少し田舍じみた、のんびりとした間は抜けて居るけれども住んで見たら自分の憩ふ家として何となく氣がのんびりとしてゆつたりとした家といふ樣な方向に少し技術家の誘導方針を何か一つお加へになつたならば餘程よくなつて行くんぢやなからうか、現代の非常時としては失張り少し緩つたりとした氣分を起させるといふことが或は國家的に考へて見て非常に必要なんで、どうも臺所で一つ半圓式にぐるぐる廻つたら用事が濟んでしまふといふのは考へて見ると便利だけれども一向にのんびりしない、何だかオフィツスでやつて居る能率增進的のものである、建築費の制限といふ上から云つて已を得ないか知らぬが、矢張浴衣がけで親子 5--6 人夏になつたらごろねも出來ると云つたやうな間の抜けた處がちつともない樣な傾向をとつて居る樣ですが、これは少し例外的であるかも知れませんけれどもさういふ樣なものを少し試みた方が行詰りかけたものを轉回する一つの方法になるんぢやないか、そんな樣な意味から私は考へて住宅が餘り內部が洋式になるといふことは非常に變化が乏しくなつて來て、決してその特長を否定するんぢやないけれども餘りに進み過ぎて行くと結局合はぬ樣なものが出來て妙なものになつて來るんぢやないかといふ樣な氣分が致して居るんです。

清水—私は經驗のないものですから過去の經驗のお話は出來ませぬが、この御出席下さつて居る皆樣の中でどうも中產階級までの住宅を月賦で狙つて居るといふことは私の方丈の樣ですから、さういふことをやる動機といひますか、技術者としてさういふことをやつて見たいと云ふ考になつたことを少し述べて見たい、それが結局私の意見であり、或は少し理想に亘るかも知れませんが、私がこれから經營しやうと思つて目指します處は今お話

に出て居る様なものよりももつとつまり低級なもので、考へ様によりますとさういふ様な低級な家に住む人はその間借家をして居ればいゝぢやないか或はアパートに住めばいゝといふことになるかも知らんが、可なり日本の現代の社會層の中に私はサラリーマンを主として狙つて居りますが、其中には月收200圓止り位の人が澤山あると思ふ、さういふ人が何年間か家を建て住宅を造らうとして居つて結局は依然として借家住ひをして居るといふ様な人が隨分ある、それが而も晩年になつてさういふことを考へて結局住宅を持たないで仕舞ふといふ様なことが隨分ある、さういふ風な人達の住宅を何とかしてやつて見たいといふ様な考からさういふものを建築技術者として初めた譯です、私の申述べます意見は或は他さんの方にお差障りがあるかも知れませんがその點は御許し願ます。現在建築協會でやつて居る博覽會のものや、他の既成住宅は家をお賣りになる方は本當の目的ではなく土地を賣るとか或は地價を上げる所に狙ひがある、家は單にマネキンに過ぎない、從つて之は賣安いといふことではなく寧ろこんな家に住んだら面白からうと云ふ様な一時的の考で住む様な人を狙つたら一番いいんだらうと思ひます、自然そんな處から先程篠崎さんが仰有つた様に成可く間取をフリーにしておいて氣が向いたら又造りかへる、或は厭になつたらまア棄値で賣つても地所がその時分には上つて居るからいいぢやないかと云ふ譯です、だから技術者はもう少し調子を下してやつて見てもいゝと思ひます。又一方賣れ易い條件を考へて見ますと之はその人の住居費として出し得る生活費の％から割出してやつて行くべきであります。先づ150圓、200圓程度までの收入の人が普通家賃に支拂つて居ります％は生活費の5分の1乃至4分の1位です、それを月賦なり年賦なりの程度で行ける程度のものにして且將來家族が增した時に手輕に買換へ得る様な極くありふれたものにするといゝと思ひます。それから先程から大分坪問題があつた様ですが各、立場立場で色々でありませうが、どちらにしても不正確で困ります、思ひ切つてメートル法によつて統一をとつた方がよくはないか、それには建築協會等が中心となつてやるべきでしやう。

福田—最も賣安い住宅は結局需要する人が多いといふことになり、それは又様式金額に關係して來ます、先程も御話がありました様に土地と家とのひつくるめた値段が中心となります、大體私の方の經營地は地價に非當な上下があります、假りに芦屋の様に70圓の處もあり、瓢簞山のやうな12—13圓からの處もあるといふ様な具合ですが大體お客さんの希望する處は先づ3,000--4,000圓から8,000—9,000圓、平均して5,000—6,000圓といふ見當の處が一番賣れるやうに思ひます、土地の割合が住宅の割合よりも非常に少でそして先づ總金額5,000圓の家としますなれば、先づ1,500圓の土地に3,500圓のもの、この位の程度になります。

森本—今夕は出て參りまして皆様の御研究をお伺ひして有難う御座います。實は私は自分が餘り直接の衝に當つて居りませんので、細かい實驗上の話は實は持つて居らないのであります、先づ土地と住宅といふことに對する考を述べて見たいと思ひます。元來土地と

か住宅に關係して居りますものはどうも一般他の職業の人よりも非常に頭が遲れて居る様に思はれて居ります。不動産を持ち、借家を持ち、土地を持つて居る人が、食ふに不自由がない相當富裕階級の人であつたが故に、別にばたばたあせらいでも俺は食へるんだから、奇を好んで新らし味を出す必要もないんだ、まア綏くり構へてやつて居ればいゝぢやないかと不知不識の間に幾分時代から取殘されて行くといふ様な感じになつたんぢやないか、然し時代は何時までもさういふことを許さない譯であります。住宅といふことは國家の上から考へて極めて重大な問題であります。衛生上からもその他總てに亘つて氣分の朗らかな家に住んで居る人は何時も健康である、從つて精神も健全でありますが、陰鬱な家に住んで居る人には往々にして取返しのつかない様な不祥事が起つたりする様なことがあります。これは住宅のみならずその土地にも非常に關係があることであります、又住宅の設計には隨分注意を要するもので、よく昔から申すことですが家を轉つて來たら主人が病氣になり次々に病人が出來て具合が悪い、昔は家相が悪いとか云ふ一點で葬つて仕舞へばそれまでではありますけれども、私は必ずしもさうでない、その家は必ず風が通らないとか或は種々の方面に於て衛生上不適當の家であります。之は一個人の家でありますが大きく考へて行くと國家とか社會とかいふ上から考へて極めて重大な結果になるものでありますから土地や住宅の經營者は單に經濟的方面許りでなく總ての方面に考を巡らす必要があります、世の中は日進月歩刻々に進んで參りますのでありますが家は一旦建築しますと最早手輕に取替へる譯に行かない、その家はあらん限り一個人に害を爲し、惹いて國家の國運の進歩を阻害するといふ様な大きな問題になつて來るんぢやないか、だから先づ他のものよりも一歩先に進んで將來を見越して總ての施設を種々のことを考へて置かなければならぬ、先刻から皆様の御苦心のお話を承りましたが家を建てゝそのまゝ滿點といふことは絶對に不可能と思つていゝと思ひます、これは皆各々その好みによるものですから仕方がないんで、只要は住ひとして體裁を備へ衛生的で、大した不便の點がない程度でいゝんだと考へます、それでこの住宅の設計を爲される方でも、文化の進歩に應じて進み、段々と新味を出して戴かねばならぬ、時には捨石になる様なものもあるがこれは致方のない貴重な犧牲であります、建築家は社會を一歩見越してやつて貰ひたい。加ふるに色々の施設も經濟問題のみにとらわれずに完備を期してやりたいのであります。何にして土地經營といふことは原價の安い處を求め思ひ切つた設備をすべきである。

清水一今晩は家相の問題について話が一つも出來なかつた様ですが、實際問題にならぬ事かも知りませんが、私の處は非常に問題にして居ります、賣るといふ方面から行きまして、今でも社會に家相といふことは可なり根ざしが深く、建築家では葛野さん邊り可なり研究して居られる様ですけれども、住宅問題と關聯してこの家相について一遍座談會でもして研究して貰ひたい、單に科學的のもので無いといふことで一蹴して仕舞はんとこれに對して如何に處するかをよく研究して見る必要がある。

森本—家相の觀念はどうも社會から取去ることは未來永劫不可能のことである、それを前提として經營するものは考へて行くより仕方がない。

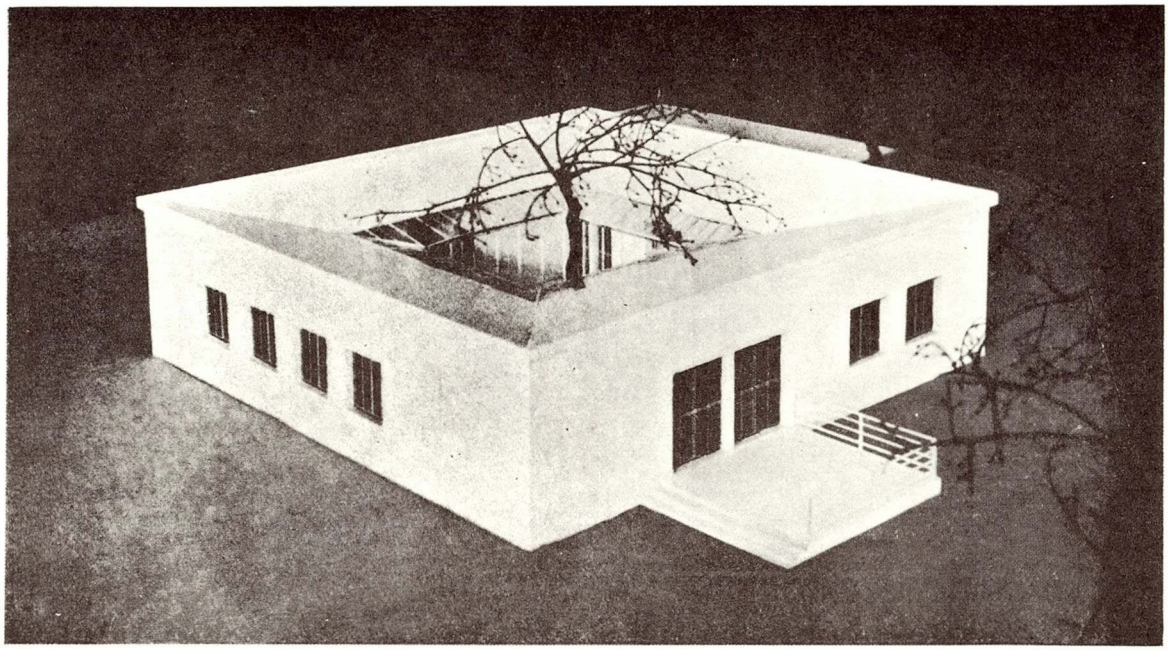
高橋—それではこの邊で速記を止めます、後は隨意に御話を繼續いたし戴きたいと思ひます、今晩は御多忙中御出席下さいまして色々と御研究の結果を伺ひましたことを有難く御禮申上げます。(終)

本號執筆者紹介

安倍親雄	慶大理財學部卒業、阪神急行電鐵株式會社地所課長、(座談會出席)
今井英雄	大阪高等商業學校卒業、關西土地株式會社勤務、「土地經營に於ける分譲住宅地の一現勢」の執筆者(座談會出席)
岡田孝男	工學士、京大建築學科卒業、三越大阪支店住宅部に在勤せらる、「小住宅プランの研究」の執筆者
篠崎兼二	早大商學部卒業、住友合資會社地所課長、(座談會出席)
篠原正雄	阪和電氣鐵道株式會社總務課長、大阪近郊土地株式會社專務取締役、「土地經營者の觀たる住宅」の執筆者(座談會出席)
清水榮二	工學士、東大建築學科卒業、清水榮二建築事務所主にして、大神住宅會社專務取締役、「小住宅對策提唱」の執筆者にして座談會出席)
西村辰次郎	東京高等工業學校卒業、あめりか屋社主(座談會出席)
福田坦夫	日本住宅株式會社支配人(座談會出席)
松本儀八	京都高等工藝學校卒業、大林組住宅部長、「住宅地經營に就いて」の執筆者(座談會出席)
森本喜太郎	株式會社六麓莊社長(座談會出席)
矢田鐵藏	工學士、東大建築學科卒業、大林組住宅部在勤、「住宅經營の種々相」の執筆者

正誤表

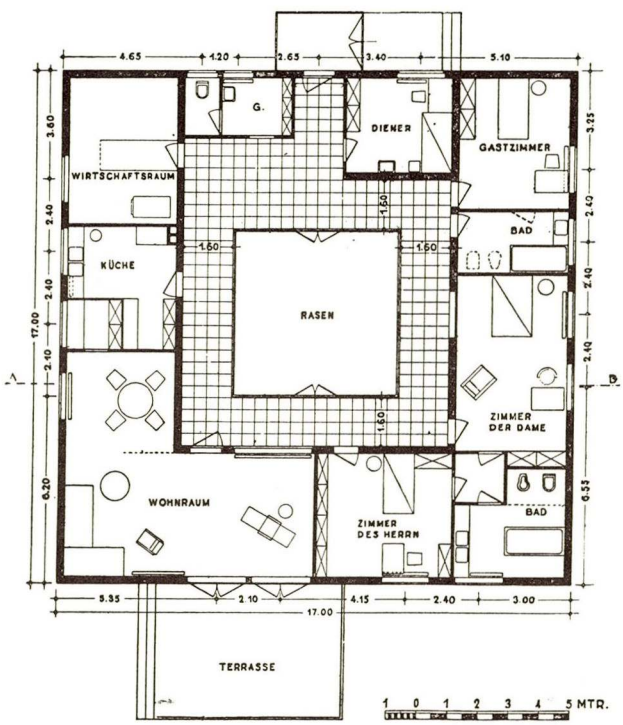
本誌第3月號(第16輯第5號)の松室重光氏執事「小野木君の面影」中の執掌は應渉の間違ひに付正誤す



中庭のある家

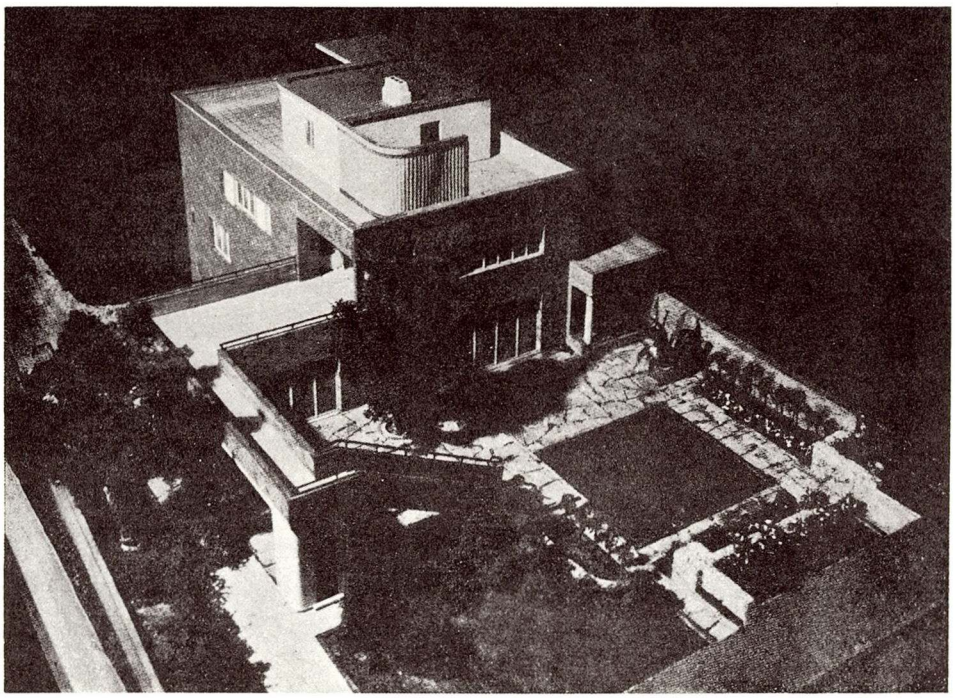
Gebhard Apprich 氏設計　　Der Baumeister 誌所載

一見宛も公館か事務所の如き大建築物を思ひ出させる平面をあらはして居るが、上揭模型寫眞に見られる通り、これは一階建獨立住宅の甚だ變つた興味ある一例である。平家とした所から推察するに多分郊外の地に建設する心算であらうが、相當の都市内に建てても、靜な中庭ある爲平和な家庭生活を營むに好都合であらう。



正面出入口に續いて直に居室——住宅の中最も樞要な室——あり、主人室・浴室（便所付き）・主婦室・浴室・客室・使用人室・裏出入口・便所・家事室・料理室と共に硝子張りの廊下を挾んで中央の芝生を取卷いて居る。建物は17米×17米即ち298平方米（約88坪）、その中25平方米は露天の中庭である。屋根は中心へ向つての片流れ。平面圖には詳細なる寸法の記入あり、家具の配置亦明白。依つてこれ以上の蛇足的說明は全く不必要である。

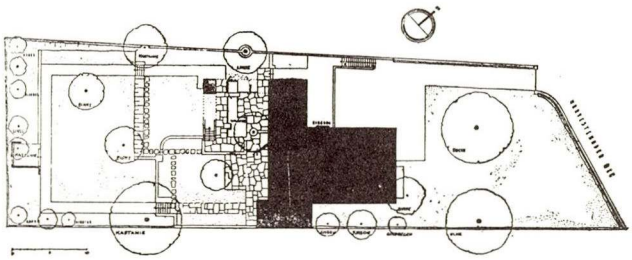
ポンペイから發掘した家又スペインにもこんな風な系統のものがある、多分その邊から暗示を得たものであらう、南國風のものを北歐に試みた點が變つてゐるといへやう。



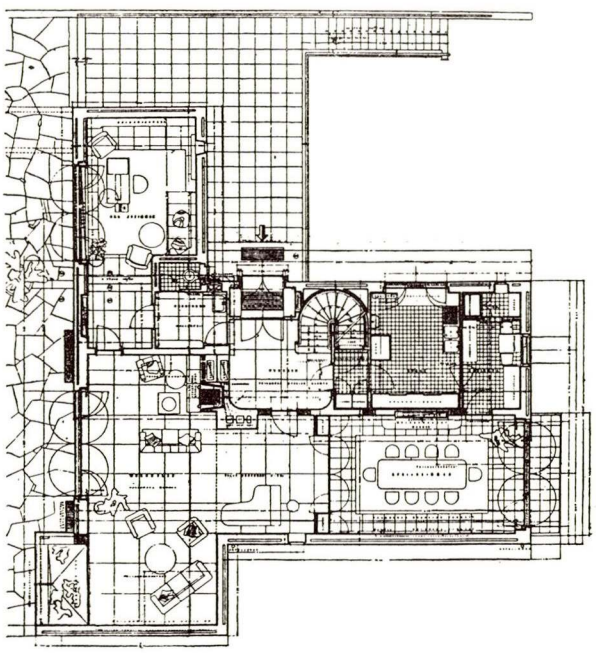
アルスター河畔の家

Emil Fahrenkamp 教授設計

Der Baumeister 誌所載



これは宏大な外庭を持つ從來の趣旨の下に設計せられた住宅例である。最も面白い特徴は建物夫自身と庭園が非常に密接なる相互關係を保ち共に相寄つて渾然たる一邸宅を形成せる點で、明快なる居室のフレンチケースメントを通じて屋外に歩を移し得るは勿論、有効なる階段及びテレースを經て第二階からも直に庭園に出られる樣になつて居る。位置はハンブルグ、エルベ支流アルスター河畔。敷地面積は75米×24米。左に揭げた平面圖の左上は書齋、左下は居室、右上は料理室、右下は食堂なり、と附記すれば大體の見當はつくことと思はれる。庭園には芝生・石・樹木を適當に配し、山毛欅・楡樹・エニシダ・菩提樹・白樺・栗・櫻・楓等を植込んで居る。田園風の氣持ちよい住宅である。

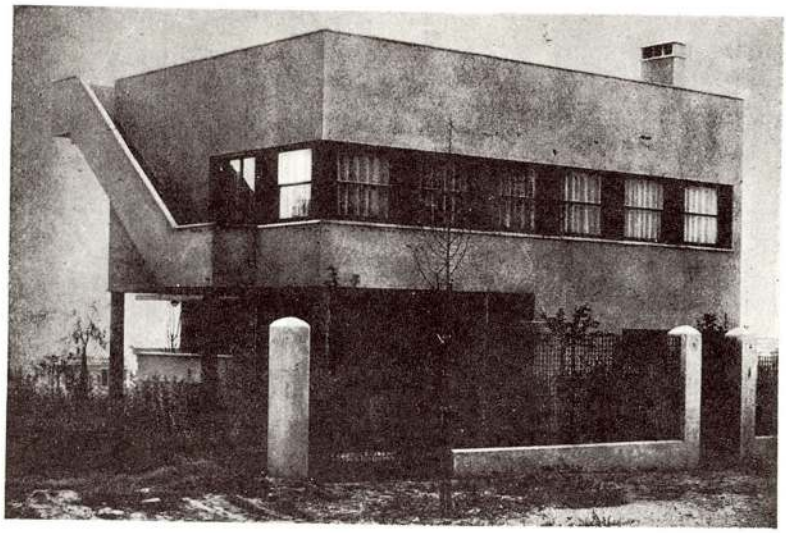


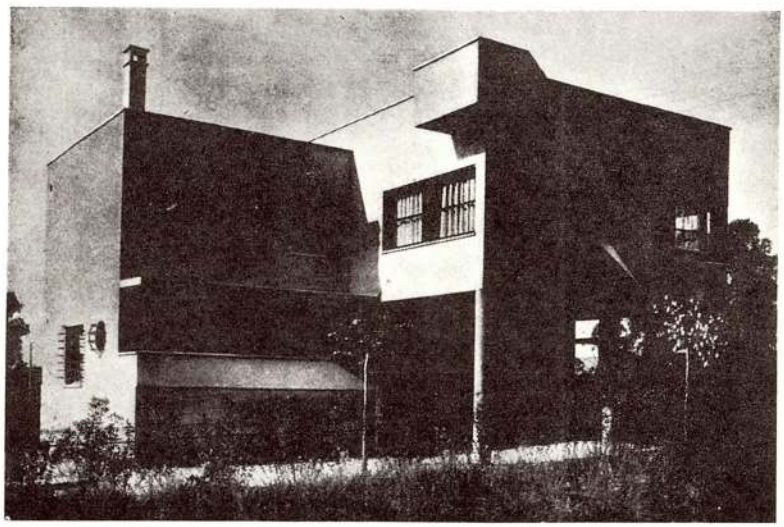
第二階本位の家

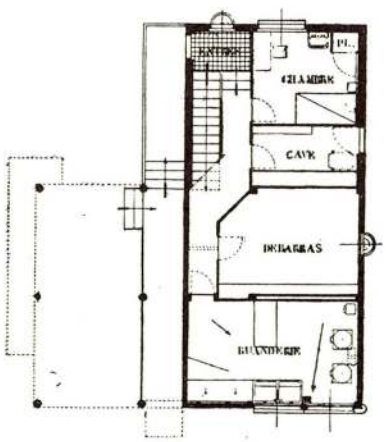
Robert Mallet-Stevens 氏設計

L'Architecte 誌所載

元來住宅に必要とせられて居る主要各室を第2階に取込んだ所が、この住宅の主眼點である。第2階に食堂兼居室寢室・浴室・便所・料理室を、第1階に寢室・倉庫・物置・洗濯室を配置し、特に、第2階の食堂兼居室は廣く明るく自由なる眺望を得べく細心の注意が拂はれて居りこの住宅の生命は專らこの室にありと云つても過言ではない。構造材は鐵筋コンクリート及び中空煉瓦窓は金屬製上下窓、煖房は中央煖房。尙、屋上及び周圍に充分なる庭園を配し、總てに健康と明朗を表現し、將來の住宅建築の一方向を暗示して居るかの觀がある。最近我國にもこの趣旨に立つ住宅が一二あらはれて來た。



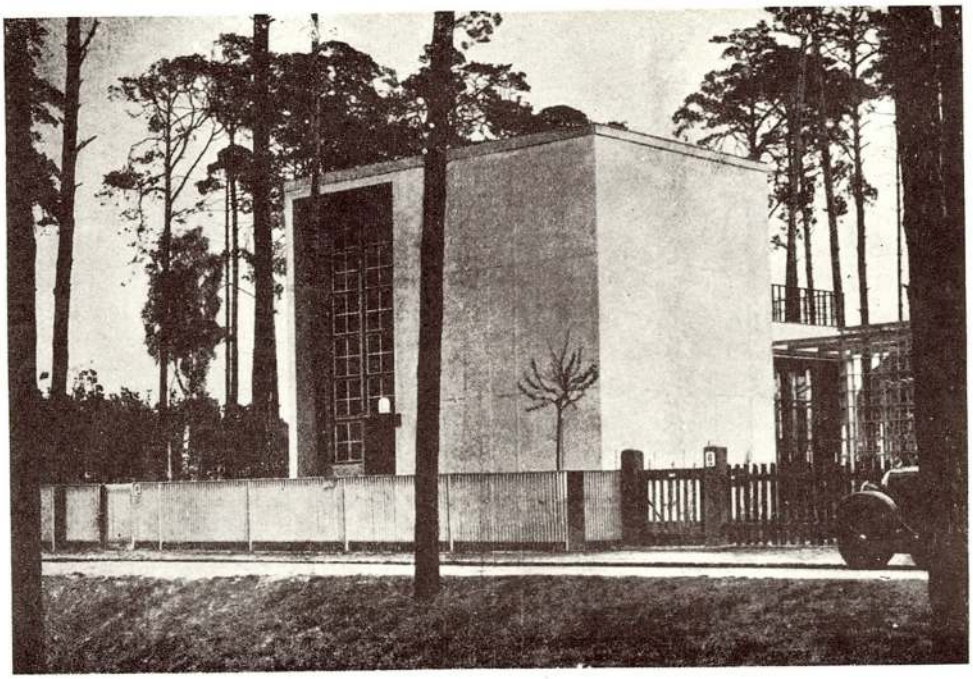


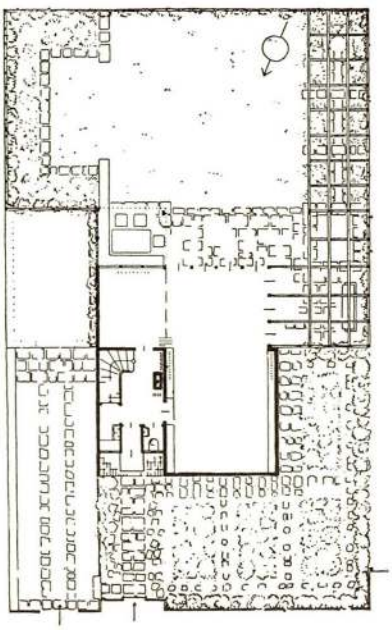


第 1 階



第 2 階







詩　人　の　家

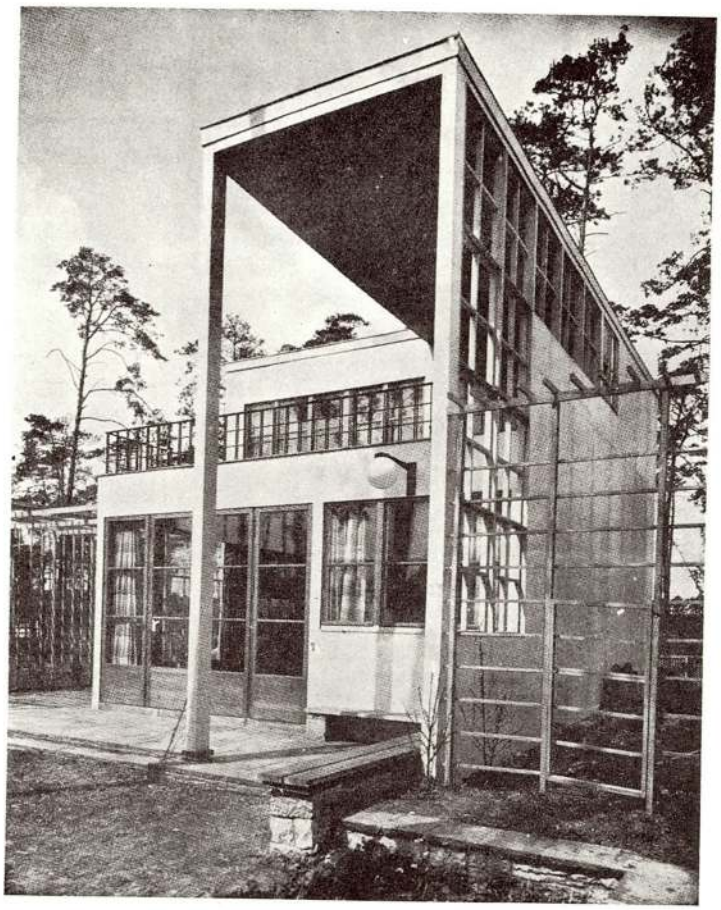
Harry Rosenthal 氏設計

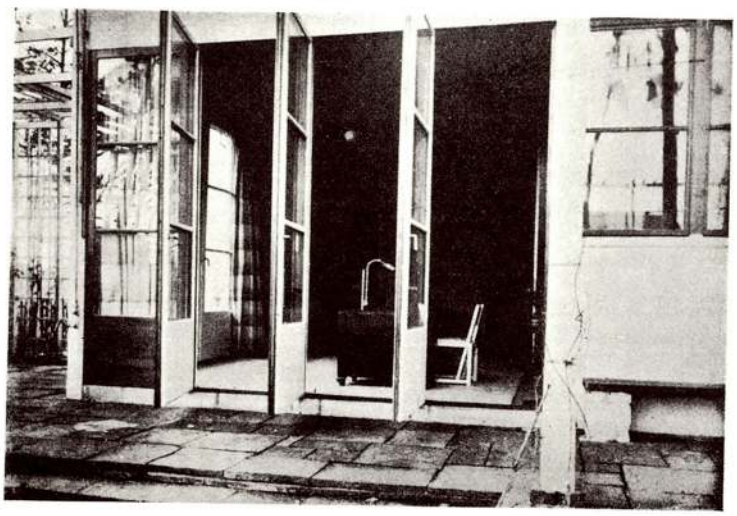
Baukunst & Städtebau 誌所載

26米×16米の敷地に整然たる庭園と共に建設せられペルゴラあり、卓子椅子あり、芝生あり、庭園は宛も各室の延張の如き役目をなして居る。階下には書庫・

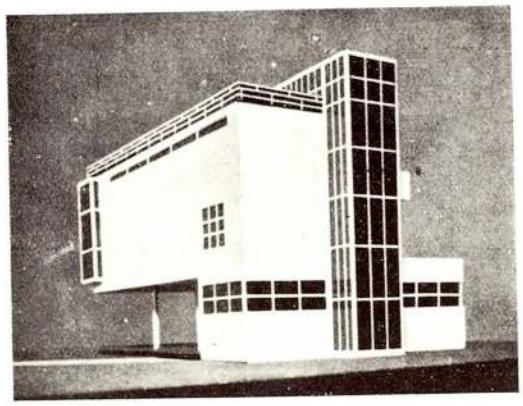
書齋·便所等、階上には寢室・客用寢室·料理場等あり、頗る單純で開放的である。

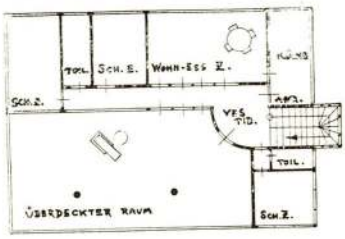
詩人の家は現實を離れたかの觀ある一寸突飛な住ゐである。流石に詩人の家らしくて面白い。世俗の一般人間生活方式と緣遠い風貌を表現することに依り自然に近い生活を發揮し得るものと信じて居る人々はそれが事實上却つて不自然を伴ふ場合あるとを知らない、建物を庭園或は其の他の自然に近い表現物に專ら相關連せしめんとして却つて住宅建築夫自身の機能を危ぶませる場合あることを知らない。要するにこの住宅は幻想的精神の充滿以外の何者でもないと言ふことが出來る。然し乍ら、茲に最も注意すべき事項は、一般に幻想を追つて始めて現實の進展を來すと云ふ原理を忘却してはならないことで、この意味に於て、この住宅も亦、夢の家の一表現として頗る興味深く且貴重なる例となる所以である。尙、本欄に紹介せる他の數種の住宅も、少くとも彼我氣候、風土の相違甚しい我國に對して、何れも、その儘有效なる參考物となり得るものなりやに就いては茲に論ずる迄もない。唯以上と同樣の見地に於いてその精神に於いて貴重なる資料として紹介に値するものと信ずる。

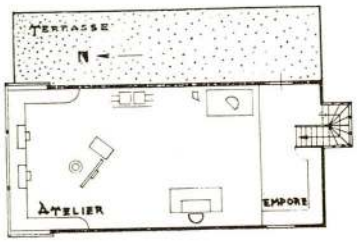


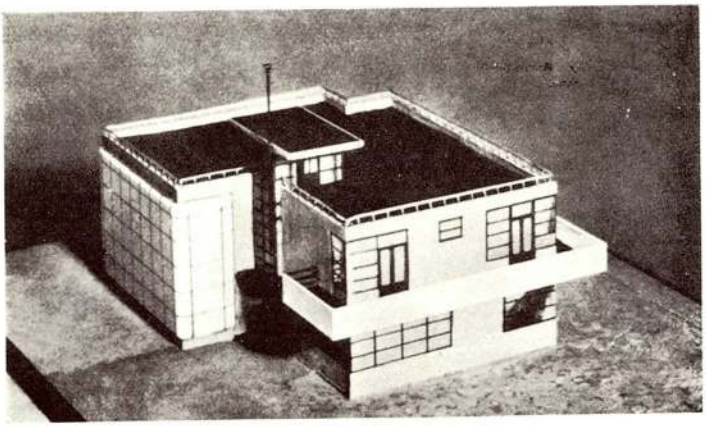


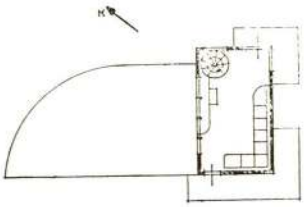
第 1 號 型

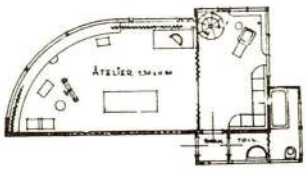




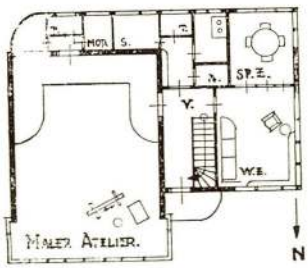


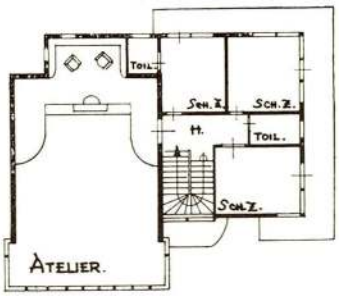




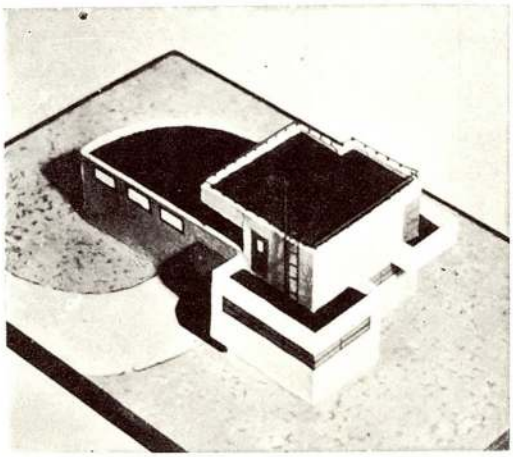


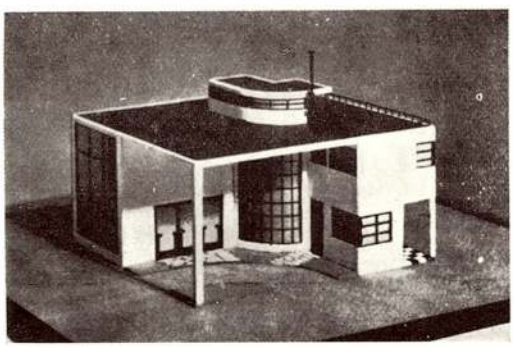
第 3 號 型



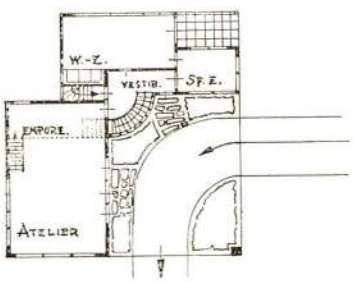


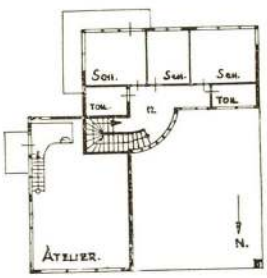
第 2 號 型

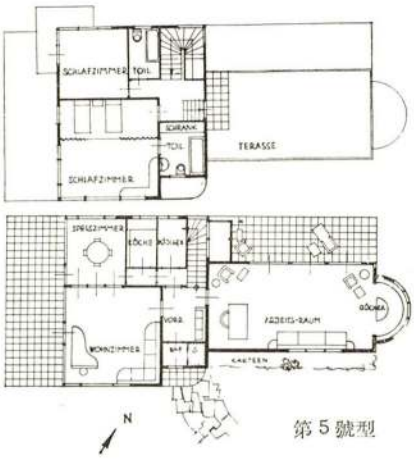




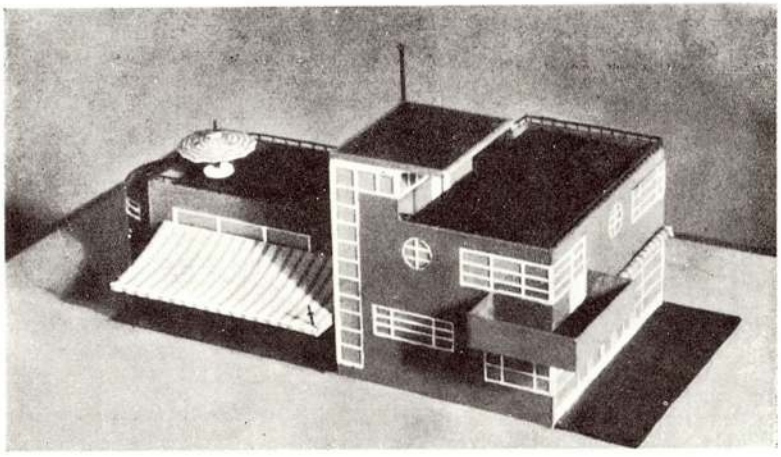
第 4 號 型

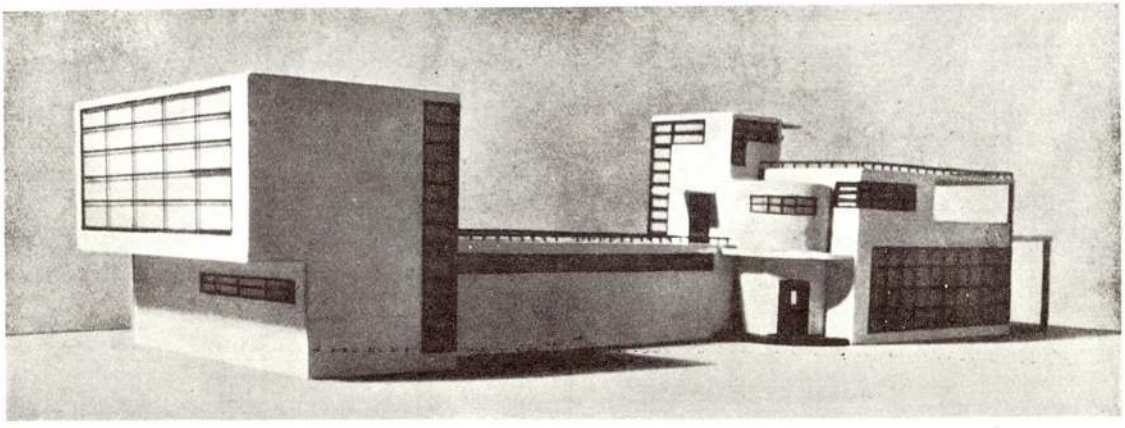






第５號型





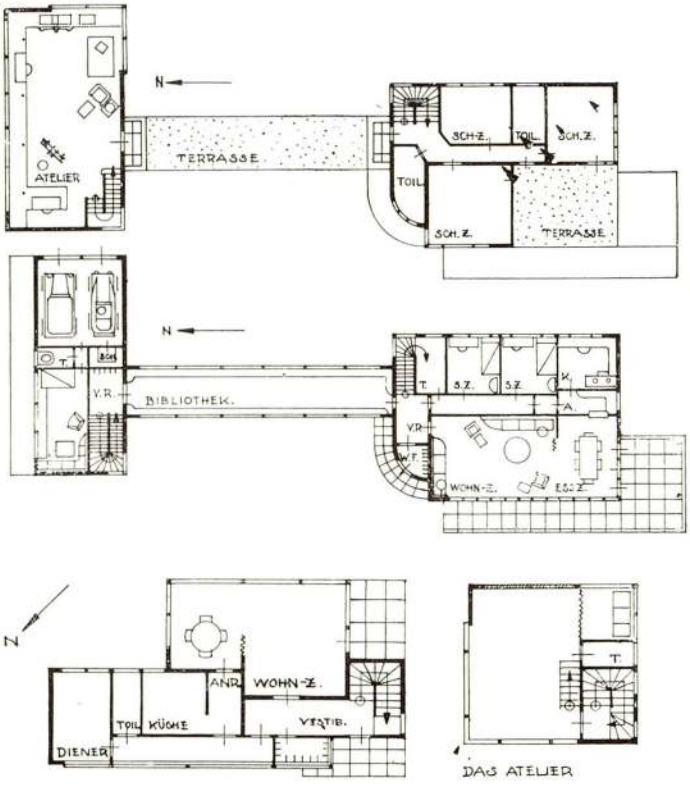
第６號型

藝術家の家

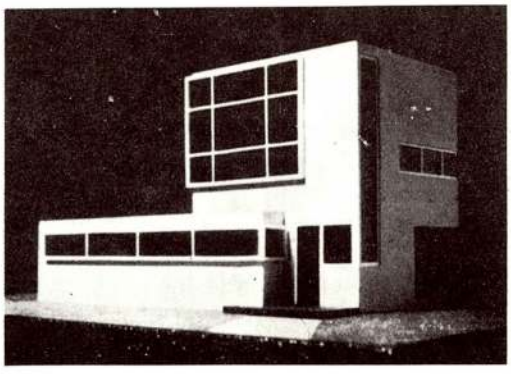
MA Roberto Davila Carson 氏設計
Moderne Bauformen 誌所載

此頁に掲ぐる第１號乃至第７號型の各小住宅はその中にアトリエを含む所謂藝術家向きの家である。『詩人の家』に比して現實的のもの。平面圖及び模型寫眞は雄辯にこれが說明を物語つてゐる故蛇足を加へまい。

（解說　吉田信武）



第７號型



（絶版）	關東震火災視察記	震災直後本協會員の視察報告集	定價 3.50 圓（送料12）
（絶版）	住宅懸賞圖案集	サンマーハウス、貸長屋の懸賞圖案集	定價 1.00 圓（送料10）
（絶版）	婦人の住宅知識	婦人に必要なる住宅の諸說を蒐集せるもの	定價 1.00 圓（送料10）
新刊	世界最近建築圖集	歐米尖端の新建築の寫眞集	定價 0 50 圓（送料 8）
三版	學校建築圖集	幼稚園、小學校より大學校に到る迄の諸種の學校を網羅す	定價 1.00 圓（送料18）
新刊	最近建築懸賞圖集	東京帝室博物館、東京美術館軍人會館、日本生命館等の東洋趣味を基調とせる大建築懸賞圖集	定價 0 70 圓（送料10）
（絶版）	記念出版 住宅圖案集	工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅懸賞圖集	定價 1.00 圓（送料10）
近刊	記念出版 大阪市地質調査圖表	大阪の地質を500箇所に亘り調査したもの	定價 3.50 圓（送料12）
近刊	記念出版 續住宅圖案集	工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅及同上の豪所圖集	定價 1.00 圓（送料10）

日本建築協會發行　大阪・北區・朝日ビル　振替口座大阪 39975

賣捌　柳々堂書店　丸善本支店

庭園の設計と施工

この技術と特長！

庭園の設計と施工は最も新らしき、造園學を應用して古き經驗と研究を凝らした、弊園獨特の設計と施工は、經濟的に實用的に眞に皆さんの戸外休養所としての御要求は完全に具備して居ます。

造園樹木の大栽培場を有つて各樹木を多く栽培して居ますから、主要造園材料たる、樹木が最も安く良い品が使へます從つて造園費用が尠くて完備した立派な庭園を造る事が出來るのです

この二拍子揃つた獨特の持術と特長、この魅力こそは……斷然他の追從を許しません。

「造園案內贈呈す」

養樹園に生産される品と販賣品

庭園用樹　街路並木
果樹苗木　觀賞樹木
花卉球根　種子
農藝器具　農用藥品

カタログ無代進呈

兵庫縣川邊郡山本
金岡養樹園
庭園工務部
電話池田一〇〇三番
（順路阪急電車山本驛下車一丁）

談話室

皮肉二片

ゆたか

■

紫外線を透過する硝子が發明されたが、單に光線だけなら直接窓を排して紫外線を吸收したらどうかと思ふ。

殊に大阪の様な工業的喫煙の旺んな都市に於ては、肝心な紫外線も途中で煤煙等のために幾分は吸收されるから、實際の透過率も甚だ貧弱なものになりはしないかと思ふ。

丁度月光によつて熱を求むる様な結果になりはしないか？

文明とは結局廻り遠いことの別名かプレーンソーダをストローで飲む近代人も、接吻にそれを用ふるの愚は行はないだろう。

■

イミテーション——世は滔々として、代用品横行の時代を現出してゐる。甚しきは代用品の方が天然材料よりも高價に取引されてゐることがあるが矛盾も甚しいではないか。

そんなら何を苦しんでまで模造品を使用せんやである。

さしあたり造化の神から特許侵害とでも訴へられる所である。

然し模倣は結局模倣であつて恰も造花の様なものであると思ふ。その榮光は到底野の花の一枝にだも及ぶまい。

そしてこのイミテーションの綜合によつて生れた建築に果して眞の美が表現されてゐるだろうかそれは天然の材料又は新に創造された材料によつて造られた建築には到底及ばない。

それは模倣と創造の世界の相違である。

面白い商賣

歐遊生

欵乃節面白く、靜なるキヤネルをゴンドラは滑る。岸に横付けになろうとすると、鍵を棒の先に付けて待構へて居る人が舟を引き寄せ乘客を陸に送る手助をする。そうして若干の心付にあづかつて居る。輻輳する場所では相當の收入になるらしい。（ベニス）

自動車が何かのはずみで衝突をする。故障の爲か、或は不注意なりしか、双方共に相當の理屈があつてのこと、併しそんな事を互に口論して居られては乘客は大迷惑。そこで附近にうろついて居る仲裁役を見付け一任して話しは後からと計りブーブー飛ばして仕舞ふお蔭で客は大助かり專門の仲裁を引受ける商賣は合理的である。（ベルリン）

汽車の中で食事時間に食堂車へ行くには荷物を其儘にして置くのは少々不安の様な氣もする隣りの人に依頼するのも何んだか氣の濟まぬような具合、そんな顏色を察してか餘り人品はよくないが兎も角態々やつて來て荷物の番をして居るからと親切そうに自分の座席に運ぶので安心して食事より歸つて來ると、當然謝禮の問題になる僅かの時間故 30 錢も呈すればよかろうと渡すと荷物2個の番には 50 錢が普通だと如何にも請求の權利があるようにブンブンして居るに少なからず氣を惡くしたが依頼せし弱身があるので 20 錢の追加を餘儀なくした。斯くして 5—6 人の番をすれば一寸小使錢になるような氣がする、尤も相手はエヂプト人であつた。（カイロ—カンタラ間）

60仙で何んでも腹一杯召上り次第と云ふ食堂がある、一寸客に利益がありそうで商賣になつて行く處を見ると別に損をする計りでもないらしい。人の食慾も大抵知れたもので、そこを狙つた處が面白い。（ニウーヨーク）

モン・マルトのセクレツカに行くには舊から舊式の水壓ケーブルがある、登りの賃金より下りは安い、之れは考へたもので、歸りは大抵散歩がてらぐるぐる廻りながら坂を下るので、賃金を勉强して居るものと思はれる商賣はむつかしいものである。（巴里）

タクシイの料金に町續きの公園でありながら歸りの客が少ない爲め倍額即ち往復の賃金を請求さるゝ處がある、ローマの公園、巴里のブローニーユの森、つまり割增と云ふ事になるが、地理に不案内のものには一寸高い支拂ひになる、歸りに甘く客を引掛ければ運轉手の利益とは、そこが商賣の面白い處であろうか。

ホテルに宿泊する人々の爲めに體操教師を雇ひ男も女も海水着輕るげに海岸の砂地に飛出し、教

官の號令に隨ひ規則正しい運動をして居るのは如何にも心地よげである。先生は流石本職丈けあつて皮膚は銅の如く、筋肉は逞しい商賣柄大切な資本はこれ肉體美豐なる點である。（カンノ）

ガタガタホテル

達　識　生

職業柄どこにいつても我國ほど構造のしつかりした處はないと信じ、又斯くある事を立證する。それは行く先々是非共厄介にならねばならぬものに「ホテル」がある、假令防火構造にはなつて居つても粗惡な煉瓦或は石積、假令コンクリート構造でも電車の往復トラック通過の度毎にガタガタ震動を感ずる處に飛込んだら旅で受ける印象は人一倍不安を增す事になる。

上海、香港の安値な建物に營業して居る旅館は薄氣味の惡い程貧弱極まる且つ亂法の構造で、若し地震があつたら一たまりもあるまいと、はらはらするのは專門家は元より素人でも同感であるらしい、最も一流の歐米式に出來上つて居る堂々たるホテルはそんな心配は無用であるが。

「ヘーグ」の D•V•D• ホテル格式は先づ五流以下であらう。ガタガタの標本よろしく前と横町を通る電車の爲め到底安眠出來ない、のべつ幕なし地震同然、よくあんな不安な建物に生活して平氣で居られるものとつくづく其の呑氣さ加減に敬服する。「ロサンゼルス」Mホテル5階建外觀は如何にもハイカラに見ゆるが、之れも電車の通行にしかも大形の車臺の運轉さるゝときは部屋には居られぬ位のがた附きである。地盤の軟弱は最大の原因でもあらうが、之れに對する構造の不備もある事であらう。木造建築に馴れて居る吾々は火災の危險は別として 2—3 階同程度の震動なれば只壁が若干厚くとも割栗同然の石を積み上げ、粗造煉瓦、しかも砂やセメント、石灰の調合煉り方に迄疑問を起し、結局丸てが怪しいものでないかと考え始める時、遙かに木造の方が安心である。梁の强度不足の爲め、床の震動器具のガタ付くのもあり勝ちで不快なもの德富氏著「日本から日本」にある「ナポリ」の「ホテル」で天井の漆喰が落ちた爲め行く先々のホテルで先づ天井を眺めて一安心をするとは如何にも當然らしく同じ手法で自分はホテルに着、先づ電車線路の有無とガタガタに注意するにはある丈けの神經を非常にとがらせて居る。そうして歐米に隨分ガタガタホテルのある事を紹介する次第である。

見　學

M　E　生

ある病院の落成した案內を受けてかたの如く數時間を費し、設備、完全、立派な病室を始め看護婦室其他を見學、最後に地下室の禮拜堂に至る先着の甲、乙の會話、之れは便利だ、病室でいよいよ息を引取つて親戚、知已と此處で告別、禮拜を濟ませ火葬場に送られるかな、までよ、いつそ一思ひに電熱で燒いて貰えば萬事解決する前の部屋に爐があるようではないか。乙曰くあれは爐でないよ。通風、機關室の一部だよには四五の見學者連大笑ひ、外國にお寺の地下室に火葬場の附屬するのはいくらも例があるが、何れ其の內病院にもそれが出來る事であらう。

競技結果發表前

逸　名　氏

熱血を沸かす懸賞競技發表の日を一日千秋の思ひに應募者は待焦がるゝ、締切後色々の方法で雲行を探る節に掛けられ殘つた第1日は50、幾日を經て 25 になつたそうだ、イヤ今日 A 審査員は最後の入選數を決定に出掛けた、それからそれと特種は飛ぶ何處から何通、あすこから幾通、發送したそうだ、1 週を過ぎ 2 週間となり發表の期日も愈々迫つて來る、B 自分の分はどうしても當選の豫感 100 パーセント、C 若しをれのが落ちる様では建築界は闇だ、D は祝賀會はどこにしようか、モー電報の通知がありそうなもの、甲、乙、丙、丁、夢中になつて鶴の首以上に待ちあぐんで居る苦しい時ものをいはぬ神や佛を敬遠して平素、易を親の敵位に思ふて居る人、こそこそ易者の門を潜り竹庵先生に伺ひを立てると、さんぎをがた付かせ殘念ながら貴公の分大抵落選だらうとの宣告にうつぷんを晴らすべく、恐しい顏色に變じ忽ち思召の見料は最低限度に影響、直に飛出しどうもこれはいかん。E は左の耳が馬鹿に昨夜より痒い確かに少なくとも選外、佳作位迄には漕ぎ付けて居るだらう。かくして最後の開票迄多くの人々を心配させて其の結果は果して滿足なものが得らるゝのであらうか、一面からはある丈けの智能を絞り上げ榮冠を夢み、鎬を削る事は勇ましい事であるが、他面僅かの賞金と名譽の爲め釣られる多くの犧牲者を出す事は罪な事であるまいか。嗚呼、生存競爭の世の中いきて行くには決して樂な事ではない。

會　　報

役　員　會

常　務　會

時　　昭和8年2月20日午後6時—同8時50分
所　　建築協會別室
出席者　理事　池田　監事　松室　主記　阪口
丹藤　伴野　富士岡　主計　浦　清水
八木　編輯　今林　堀田　中村
議　事　1 2月例會に關する件
1 會員增加に關する委員會設置の件
1 請負契約書改正聯合調査會開會に付委員出張並旅費支出に關する件
1 設備委員會より委員會開會に關し指示方並豫算要求の件
1 法制委員會より外國建築法規購入方要求の件
1 人事(給仕採用)に關する件
1 災害强度委員會よりボーリング表を委員に寄贈方要求の件
1 會員詮衡
報　告　1 常設委員會中都市計畫、法制、災害强度設備、住宅各委員會經過報告
1 百貨店建築委員會經過報告
1 阪和上野芝、京阪住宅博委員會經過報告
1 今村博士より地震研究に付昭和7年度業務報告

常　務　會

時　　昭和8年3月6日午後6時—同8時30分
所　　建築協會別室
出席者　理事　片岡　竹腰　監事　德政　松室
主記　阪口　丹藤　伴野　主計　浦
八木　編輯　高橋　堀田
議　事　1 3月例會に關する件
1 春季大會に關する件
1 見學委員會より報告に係る見學計畫に關する件
1 常設法制、住宅委員會より報告に係る研究事項の件
1 會員增加に關する委員會委員選定の件
1 職員增俸に關する件
1 出版委員會より報告に係る出版計畫に關する件
1 「スチールサッシ」規格案を材料委員會に附議の件
1 昭和8年度雜誌請負に關する件
1 會員詮衡
報　告　1 常設　都市計畫、法制委員會報告
1 特設　百貨店建築委員會報告
1 記念　見學、出版、阪和上野芝住宅博瑞光住宅博委員會報告
1 2月例會終了報告
1 2月分會計報告及會計檢查報告
1 建築學會より竣功建築物表送付の件

臨　時　常　務　會

時　　昭和8年3月11日午後5時—同6時
所　　建築協會別室
出席者　理事　片岡　池田　監事　德政　松室
主記　阪口　伴野　主計　浦　八木
編輯　中村　堀田
1 工事請負契約書並規程改正案に關する件
1 「スチールサッシ」規格案及之に伴ふ硝子の大さ等に關する件
1 災害强度委員會より要求に係る三陸地方災害視察の爲委員派遣の件

常　務　會

時　　昭和8年3月20日午後6時—同8時30分
所　　建築協會別室
出席者　理事　池田　竹腰　監事　德政　松室
主記　阪口　丹藤　伴野　主計　浦
清水　八木　編輯　今林　中村
議　事　1 材料委員會研究事項の件
1 見學委員會提出西部日本見學計畫案の件
1 大阪電話番號簿に協會名記載の件
1 請負契約書改正案に關する件
1 次回常務會開催日取の件
1 內外經濟雜誌資料展覽會に四月號會誌

一部寄贈出品の件
1 定款改正に關する件

報　告　1 春季大會委員會經過報告
1 3月例會終了報告
1 常設　法制、材料、災害强度、設備、住宅委員會經過報告
1 特設　百貨店建築委員會經過報告
1 記念事業　阪和上野芝住宅竣、見學委員會經過報告
1 建築學會會長佐野利器氏就任の由
1 ブルノー・タウト氏4月20日ウラジオ着の由
1 會員詮衡

例　會

時　昭和8年3月11日午後3時—同5時
見　學　大阪瓦斯株式會社新建築（大阪市東區平野町5丁目）
出席者　220名

入　會　者

會　員

岡田大三郎君　府下中河内郡八尾町佐堂846（奥工務店）
萩本　泰一君　京都市右京區花園藪ノ下町16（京都府工營課營繕係）
藤原　吉三君　京都市東山區東福寺境内通天町（京都市營繕課）
綿貫　保之君　北區堂島濱通2ノ6（武智事務所）
鹽見　清君　府下三島郡吹田町1461（特許武智式基礎工事務所）

同（地方在住）

正岡　隆市君　愛媛縣今治市黄金通（今治市役所土木課）

特別賛助員

森田　友造君　住吉區北田邊町216
筧　文五郎君　東區横堀1ノ24（鐫工事請負）
田中　作次君　港區東田中町108（土木建築請負業）
三藤　多市君　南區東販町15（三藤電機工場主）
西野　義三君　浪速區木津川町1（材木商）
遠藤　隆君　兵庫縣武庫郡今津町字高潮68（株式會社 東洋空 中索 道製作所 支配人）

普通賛助員

荒木安太郎君　堺市中之町東2丁55（土木建築請負業）
神山　秀一君　東京市本郷區弓町1ノ8羽山方（建築綜合社）
小林　龜男君　此花區上福島北1ノ25（前川建築事務所）
中村宇之助君　堺市錦之町東1丁13（土木建築請負業）
久森　茂君　府下中河内郡堅下村大字高井田大阪府立修德館建築場
堀口　芳男君　堺市櫛屋町大道12（建築設計業）
山田　軍三君　兵庫縣武庫郡大社村中字蓮葉（竹中工務店設計部）
王　山水君　神戸市葺合區坂口通4ノ10
戸田　和夫君　呉市本通7田島アパート17（呉海軍工廠）
澤田庄三郎君　浪速區大國町5ノ17（大阪府廳建築課）
武部　爲三君　東區北濱2ノ90片倉ビル・ヂヨイント商會大阪支店
間宮　益二君　港區八幡屋元町2ノ215近藤方（波根田工務店）
水谷　延三君　府下泉北郡信太村字太41ノ26（西原衛生工業所大阪支店）

轉　勤　轉　居

會　員

時岡　好三君　旭區生江町626
竹末　英雄君　尼崎市東難波732
吉田　昇郎君　東淀川區元今里北通3ノ20
柴田　四郎君　大阪鐵道局改良課兼保線課（北區大深町）
高橋喜平太君　神戸市灘區永手町2ノ50
井上　麟一君　港區富島町60富島組工務部
西田　義雄君　天王寺區大道3ノ6

會員（地方在住）

小林　一夫君　東京市蒲田區小林町33
上東　辰澄君　神奈川縣足柄上郡南足柄村狩野
中山　定雄君　東京市大森區入新井3ノ1416
村田　俊郎君　大牟田市榮町14三池土木株式會社
谷川勝次郎君　名古屋市中區丸屋町5ノ41



終身賛助員

故森下新造氏肖照

森下新造氏の略歴

本會創立に當り終身賛助員として大なる貢献のあつた株式會社森下組社長森下新造氏は心臓性喘息に狭心症併發のため1月1日逝去された、洵に痛惜に堪へない次第である。

氏は土木建築業界に於て長者の風あり、その業界に盡したる功績に於ても偉大なるものがあつた即ち大正12年9月には大阪土木建築請負業組合長に選任せられ、昭和3年10月には日本土木建築請負業者聯合會副會長に選擧され土木建築界の發展に努力された。また大正10年3月大阪商工會議所議員に當選し、爾來三選せられ現職のまゝ逝かれた。其他種々なる名譽職に在りて本業以外の餘力を以てその材腕を振はれたのである。氏に俟つべきもの多き秋、業界から氏を失つたことは業界の一大損失である。

高橋　君三君　愛知縣額田郡岩津町郡是製糸株式會社岩津乾燥場
萩本　泰一君　京都府與謝郡宮津町大久保296

普通賛助員

伊東　和雄君　住吉區帝塚山994
安井　芳治君　廣島縣佐伯郡大柿町大君鴻池組出張所内
荒井　龍吉君　下關市外彦島町迫區八幡宮前
田原三千男君　東區釣鐘町2ノ29 大倉土木株式會社大阪出張所
佐野　公夫君　港區夕凪町3ノ42
佐藤　佐七君　京都市上京區賀茂玄以町35ノ1
林　力造君　堺市松屋大和川通2ノ45 （松岡織江方）
中村　忠司君　神戸市須磨區戸崎通3ノ118ノ1(大野琴方)
藤平　正雄君　北區堂山町4
本莊　光和君　神戸市湊區梅元町116ノ1
山村　彼面君　北區宗是町10中之島ビル 内山村工務所
横田清三郎君　北區樋上町85
井上彌太郎君　京都市上京區塔ノ段上神與町260
高瀬　吾郎君　横濱市神奈川區鳥越26
伊東　一市君　廣島縣佐伯郡大柿町大君鴻池組出張所
甲斐　郁郎君　西成區粉濱中之町1ノ28
大倉　荒吉君　兵庫縣武庫郡魚崎町魚崎小學工事場大林組内
吉田　榮吉君　尼崎市寺町20
井口　一郎君　北區澤上江町8ノ4
東　具君　港區千代見町4ノ8　河田重雄方
折田　義雄君　兵庫縣明石郡垂水村鹽屋273
武井　德松君　東成區南中濱町1ノ8
櫻間大丈夫君　府下泉北郡高石町南467

退會者

會員

大倉直三君　松井英一君　佐藤清八君
宮川豊藏君　毛利泰三君　山下　純君

普通賛助員

中津定吉君　宇野　勇君　苅郷　實君
笠岡辰造君　鹽崎俊一君

日本建築協會役員及委員

（昭和八年）

役員

安實造吾光郎信雄三一助二二郎治雄郎治藏三郎實郎助知男則郎吉二郎郎安良郎生夫二次尾造吉治郎信郎雄郎一雄三一二郎郎忠助清二正夫三一道武
片池竹德松阪鳥丹伴富浦清八今高中堀秋井石今池岩浦大岡岡岡落川河河片小阪作新清末鈴竹高高鳥中中中永丹伴富藤藤堀牧松增八呼新東內本吉
長長長事事記記記記計計計輯輯輯輯員
會會會議
副副監監主主主主主主主編編編編評同同同

「建築と社會」定價表

毎月1回1日發行

册數	定價	郵稅
1册	50錢	2錢
12册	6圓	24錢

廣告掲載料金

普通	1頁	1回	15.00
普通	½頁	1回	8.00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附第一及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	½頁	1回	20.00
表紙2	1頁	1回	60.00
表紙3	1頁	1回	45.00
表紙4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係業者案内）	1欄	1回	5.00

御注文

御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます郵券代用は一割増、代金引換はお斷り致します。

昭和8年3月25日印刷
昭和8年4月1日發行（第16輯第4號）

發行・編輯
印刷人　鷹取陽
兵庫縣武庫郡今津町浦風56番地

印刷所　大阪活版所
大阪市東區内淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人 日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル
電話長本局(23)4500番(6)
本局(23)5470番(5)
本局(23)5540番(3)
振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋北
電話土佐堀2440番
振替口座大阪2084番

禁轉載

本誌に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

編輯後記

□陽光に滿つ大氣、地には爛熳たる櫻花、空には悠々たる白雲、春である。冬眠から夢覺めて活躍の時になつた。協會も昨年暮から一寸鳴りを靜めてゐたが漸く記念事業第二期の活動に移つた、博覽會、見學、出版と華々しい

□本號は住宅特輯號としても例年とは少し趣を更へて見た。觀察點を改めて住宅を眺めた。記事としては住宅や土地の經營に關係ある士を網羅した。且つ座談會もそれと基調を共にしたもので、建築家に新らしい警告を與へやう。

□阪和の住宅懸賞當撰案を先づ卷頭に揭げた。第四回目として當然といへば當然ながら、質の進步實に愕くべきものがあつて審査員を喜ばせた、數も從來の例の數倍に及ぶ。春らしい情景であつた。紙數に掣肘されて入撰案と佳作數案のみしか載せ得なかつたが目下編纂中の續住宅圖案集には選、佳作は全部入れられる筈である。

□最近實施された住宅中手近なものゝ寫眞を豐富に入れて本號の骨子とした。最初は妙味のある寫眞を集めやうとしたが、どうしても思ひ通りに運ばず結局單なる住宅紹介の寫眞集になつてしまつた。

□海外の住宅の變つたものを過去數年に漁つて數種を得た。これは皆頗る暗示的のものと謂へやう。撰擇は新名氏を、解說は吉田氏を煩はした。

□記念出版の第二の大阪市地質調査圖表は仲々手間取つて申譯ない次第であるが目下漸く印刷するに至り、第三の續住宅圖案集も編纂中で、近く相次で現はれるであらう。諸兄の御後援を切望いたします。

□春。花の吉野へ、本會春期大會も行く。北九州へ、湯の別府へ、本會見學團も旅立つ。春である。　（高橋榮治）

建築博覽會

住宅設計圖案懸賞募集規定

近代人は近代生活に叶つた住居を要求して居ます。住宅建築の研究は不斷に續けられねばならぬものと信じます。本協會は今回建築博覽會開催を機として近代住宅の設計圖案を左記規定により募集致します奮つて應募あらんことを希望致します。

規定

一、募集圖案ハ左ノ三種トス

甲、建築費壹千圓程度　三人家族向（夫婦及子供一人）

乙、建築費貳千圓程度　六人家族向

（夫婦及子供二人、老人一人女中一人）

丙、建築費參千圓程度　九人家族向

（老夫婦及子供二人、若夫婦及其兄弟二人女中一人）

但シ敷地、面積位置等任意、右建築費ニハ附帶設備費ヲ含マズ

二、所要圖面

平面圖　各階　立面圖　二面以上（縮尺五十分ノ一）

但シ圖面ハ原圖紙ニ墨仕上トシ陰影着色等任意、配置圖、配景圖、說明書添付差支ナシ

三、賞金（甲、乙、丙各種ニ就テ）

壹等　各百　圓　各一名

貳等　各五十圓　各一名

參等　各三十圓　各一名

佳作（十圓）　若干名

四、締切期日

昭和八年四月卅日正午（到着）マデニ左記宛ニ提出セラレタシ

東京市京橋區銀座西三ノ一

建築會館內

建築資料協會

五、發表

審査ノ結果入選者發表（昭和八年五月五日）

應募圖案ノ全部又ハ一部ハ五月二十二日ヨリ開催ノ建築博覽會會場ニ暗號ノマヽ陳列展覽ス

尙刊行物トスル事ヲ承諾スルモノトス

六、選者（五十音順）

今井兼次　川喜田煉七郎　櫻井博

新名種夫　鈴木好助　永井孝直

平林金吾　松本儀八　前田健二郎

橫河時介

七、應募心得

一、各圖面ニハ暗號（文字）ヲ附シ別ニ暗號竝ニ住所姓名ヲ明記セシ紙片ヲ封入シ表面ニ暗號ノミヲ記載シタルモノヲ添附スル事

一、審査ノ結果ニ對シ說明ヲ求メ又ハ異議ヲ申立テザル事

一、應募圖案全部ハ本協會ノ所有ニ歸屬スル事

以上

昭和八年三月

建築資料協會

建築博覽會

商店設計圖案懸賞募集規定

本協會は今回建築博覽會を機とし商店建築の設計圖案を左記規定により募集致します。

規定

一、建築ノ設計條件ヲ左ノ通リトス

イ、貸事務室又ハアパートメントヲ有スル商店トス

ロ、構造　鐵筋コンクリート造又ハ鐵骨鐵筋コンクリート造

ハ、敷地　別圖參照

ニ、階數　四階以上トシ更ニ地階ヲ設ク

尙ホ商店ノ種類ハ任意トシ、之ヲ第一、第二階ニ設ケ貸事務室又ハアパートメントハ第三階以上ニ之ヲ設クルコト

二、所要圖面

各階平面圖（縮尺百分ノ一）

立面圖（正面）（同　上）

縱斷面圖（同　上）

配置圖（第一階平面圖中ニ記入ノコト）

透視圖（大サ及視點ノ位置等ハ任意）

但圖面ハ製圖原紙三枚以內（巾約四五糎、長約六五糎）ニ墨入仕上トシ陰影着色等任意トス、又所要外ノ圖面及說明書ヲ添付スルモ差支ナシ

三、當選者ニハ各左ノ賞金ヲ贈呈ス

壹等　金二百圓　一名

貳等　金百圓　二名

參等　金五十圓　三名

佳作　金二十圓　若干名

四、締切期日

昭和八年四月卅日正午（到着）迄ニ左記宛ニ提出ノコト

東京市京橋區銀座西三ノ一

建築會館內

建築資料協會

五、發表

審査ノ結果當選發表ハ昭和八年五月上旬トス

應募圖案ノ全部又ハ一部ハ五月廿二日ヨリ開催ノ建築博覽會々場ニ暗號ノマヽ陳列展覽スルモノトス

尙ホ應募圖案ハ刊行物トシテ發表スルコトアルベシ

六、審査員（五十音順）

岸田日出刀　佐藤武夫　谷口吉郎

前川國男　矢部金太郎　渡邊要

七、應募心得

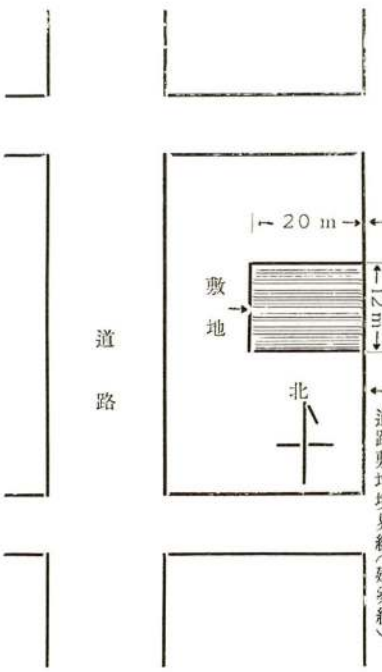
イ、各圖面ニハ暗號（文字）ヲ付シ別ニ封筒內ニ暗號並ニ住所、姓名ヲ明記セル紙片ヲ封入シ表面ニ暗號ノミヲ記載シテ添付スルコト

ロ、審査ノ結果ニ對シ說明ヲ求メ又ハ異議ヲ申立ツルヲ得ズ

ハ、當選圖案ハ本協會ノ所有ニ歸屬ス、其他ノ圖案ハ博覽會閉會後本協會ノ費用ヲ以テ應募者ニ返送ス　以上

昭和八年三月

建築資料協會



敷地ハ東京市內ノ商業地域內ニ在ルモノトシ左圖ノ通リトス

建築と社會第16輯第4號

廣告索引

ア　旭硝子株式會社……31
　　淺野スレート株式會社……16
　　淺海商店……22
イ　岩元商會建材部……22
ウ　宇野洋瓦株式會社……34
エ　榮進社……15
オ　岡山建材社大阪出張所……34
　　大阪窯業セメント株式會社……表紙 3
　　大阪伊丹商店……12
　　大野製作所……表紙 1
　　大阪電氣商會、大阪暖房商會……28
カ　勝田製作所……表紙 4
　　金岡養樹園……中挿
キ　木下謹三商店……12
　　桐田商會……29
ク　黒川化學工業所……10
　　久保商店……17
コ　工材社……40
　　金剛商會スレート部……30
サ　佐久間パブコ工業株式會社……9
　　笹岡家具裝飾店……18
　　三稜社……27
　　佐渡島商店……44
ス　須賀商會……35
タ　太陽社書店……5
　　田中タイリング……6
　　高松菊治郎商店……37
ダ　ダンロップ護謨株式會社……表紙 3
チ　重寶商會……44
ヂ　ヂヨイント商會大阪支店……7
テ　寺井洋家具部……36
ト　東洋リノリーユウム株式會社……33
　　東洋工業株式會社コルク部……20
　　東亞鐵工所……41
ナ　内外土本建築材料合資會社……32
　　南滿鑛業株式會社……18
ニ　日本ペイント株式會社……23
　　日本建築紙工抹式會社大阪支店……27
　　西原衛生工業所大阪支店……19
　　西孫南店建築金物部……21
　　日本エレベーター製造株式會社……42
　　日本パイプ製造株式會社……39
　　日本ドアーテエツク製作所……35
　　日本生命……36
　　日本鋼鐵家具……38
ノ　野澤幸三郎商店……26
ヒ　ヒーロー化學工業所……6
　　日置合名會社……44
フ　藤田商會……14
　　福原商店大阪支店……38
ヘ　ベニス工房……20
マ　マルエス工業株式會社……11
ミ　ミナト製作所……10
　　三井物產株式會社……13
　　三木商店……8
　　宮島康夫商店……43
ヤ　矢橋大理石商店……14
　　山本窯業商店……40
ヨ　横河橋梁製作所……24
　　米本榮商店……43
レ　玲光社(木内眞太郎)……30

「建築と社會」昭和七年特輯號

1 月號　高層建築

2 月號　最近建築研究 I
　　朝日ビルデイング
　　阪急ビルデイング

3 月號　國防と建築

4 月號　最近世界建築論說

5 月號　建築法規

6 月號　實用小住宅

7 月號　最近建築研究 II
　　大阪城天守閣
　　第四師團司令部廳舍
　　日本綿業會館

8 月號　鄉土建築

9 月號　建築構造

10 月號　創立滿十五年記念號

11 月號　最近建築研究 III
　　大阪歌舞伎座
　　南海ビルデイング

12 月號　常設委員會昭和七年度調査研究報告

日本建築協會發行圖書

關東震火災視察記
　定價 3.50圓 (稅12)

住宅懸賞圖案集
　(絕版) 定價 1.00圓 (稅10)

婦人の住宅知識
　(絕版) 定價 1.00圓 (稅10)

世界最近建築圖集
　定價 0.50圓 (稅 8)

學校建築圖集
　(三版) 定價 1.00圓 (稅18)

最近建築懸賞圖集
　定價 0.70圓 (稅10)

市街地建築物法令
　定價 0.50圓 (稅 4)

住宅圖案集
　(三版) 定價 1.00圓 (稅10)